

石綿健康被害救済制度における  
平成 18～24 年度被認定者に関する  
ばく露状況調査報告書

平成 26 年 6 月

独立行政法人環境再生保全機構

# 目 次

## 1. 調査概要

1-1. 調査目的	1
1-2. 調査内容及び方法	1
1-3. 石綿による健康被害に係る専門家からなる委員会の委員名簿	5

## 2. 調査結果

2-1. 平成 24 年度	6
(1) 被認定者及び調査対象者	6
(2) 年齢別集計	9
(3) ばく露分類別集計	12
(4) 職業分類別集計	14
(5) 産業分類別集計	21
(6) 住所別集計	26
(7) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計	45
2-2. 累計（平成 18 年度～平成 24 年度）	48
(1) 被認定者及び調査対象者	48
(2) 年齢別集計	52
(3) ばく露分類別集計	55
(4) 職業分類別集計	57
(5) 産業分類別集計	65
(6) 建設業における特定の職歴がある者についての集計	71
(7) 住所別集計	73
(8) 尼崎市の詳細集計（ばく露(エ)分類）	110
(9) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計	118
(10) 生年別集計	121

## 3. まとめ

3-1. 平成 24 年度	124
3-2. 累計（平成 18 年度～平成 24 年度）	128

アンケート票	134
--------	-----

## 1. 調査概要

### 1-1. 調査目的

本調査は、石綿による健康被害の救済に関する法律（以下「救済法」という。）の衆参両議院における附帯決議において「政府は石綿による健康被害の実態について十分に調査・把握し、本制度の施行に反映させるよう努めること」と定められていることから、救済法に基づき石綿を吸入することにより指定疾病にかかった旨の認定を受けた者及び当該指定疾病に起因して死亡した者と認められた者（以下「被認定者」という。）の職歴や居住歴を把握して、全国的な石綿ばく露の実態を把握し、制度運用に役立てるための調査である。

### 1-2. 調査内容及び方法

#### (1) 調査内容

独立行政法人環境再生保全機構（以下「機構」という。）は救済法第3条に基づく救済給付を行うための認定を行っており、認定の申請・請求時に居住地や職歴に関する任意のアンケートを実施している（アンケート票は巻末に掲載）。アンケートに記載されている職歴・居住歴等に関する情報を分類・集計するとともに、全国及び被認定者の多い地域での居住歴の分布状況を把握した。

本調査の実施に当たっては、石綿による健康被害に係る専門家からなる委員会（1-3参照）を設け、その助言を受けたものである。

#### (2) 被認定者について

被認定者は、給付の種類によって以下の3つに分類される。

##### ① 医療費の給付に係る認定を受けた者

療養中に認定の申請を行い、日本国内において石綿を吸入することにより指定疾病にかかった旨の認定を機構から受けた者（以下「医療費被認定者」という。）。

##### ② 未申請死亡者に係る特別遺族弔慰金・特別葬祭料の給付に係る認定を受けた者

日本国内で石綿を吸入することにより指定疾病にかかり、認定の申請を行う前に指定疾病に起因して救済法又は改正政令施行後に亡くなられた者のご遺族で、未申請死亡者に係る特別遺族弔慰金・特別葬祭料の請求を行い、認定を受けた者（以下「未申請弔慰金被認定者」という。）。

##### ③ 施行前死亡者に係る特別遺族弔慰金・特別葬祭料の給付に係る認定を受けた者

日本国内で石綿を吸入することにより指定疾病にかかり、指定疾病に起因して救済法又は改正政令施行前に亡くなられた者のご遺族で、施行前死亡者に係る特別遺族弔慰金・特別葬祭料の請求を行い、認定を受けた者（以下「施行前弔慰金

被認定者」という。)

上記②及び③の場合、認定を受けたのは指定疾病に起因して亡くなられた者のご遺族であるが、本調査は石綿ばく露の実態を把握するものであるため、本報告書において「弔慰金被認定者」と記すとき、それは指定疾病に起因して死亡した者を指すものとする。

### (3) 実施方法

#### ① 被認定者リストの作成

救済法の施行から平成 24 年度末まで（平成 18 年 3 月 27 日から平成 25 年 3 月 31 日まで）の被認定者について、認定年度、アンケート回答の有無、性別、年齢（医療費被認定者は申請時、弔慰金被認定者は死亡時）、支給種別（医療費、施行前弔慰金又は未申請弔慰金）、疾病別（中皮腫、肺がん、著しい呼吸機能障害を伴う石綿肺（以下「石綿肺」という。）、又は著しい呼吸機能障害を伴うびまん性胸膜肥厚（以下「びまん性胸膜肥厚」という。）、中皮腫の疾病部位（胸膜、その他）、労災保険法等のその他の法令による石綿健康被害に関する給付に係る認定の有無、等の情報を含んだ被認定者リストを作成した。

被認定者リストでアンケート回答がなかった者にはアンケート票を再送し、それに回答があった場合は被認定者リストに反映した。

#### ② ばく露分類

アンケートの回答内容から被認定者の石綿ばく露状況について 4 つの種類に分類した。分類は「平成 21 年度被認定者に関する医学的所見等の解析及びばく露状況調査事業」を踏まえ、下記（ア）～（エ）とした。

（ア）「直接石綿を取り扱っていた職歴がある者、及び直接ではないが職場で石綿ばく露した可能性のある職歴がある者。」（職業ばく露）

石綿を含んだ製品の製造加工等の作業に従事した者や、建築・建設関係作業や造船所内作業など石綿を使用した者、石綿が使用された現場での作業に従事した者を分類した。

（イ）「家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者が作業具を家庭内に持ち帰ることなどによる石綿ばく露の可能性のある者。」（家庭内ばく露）

家族に石綿ばく露の明らかな職歴がある者や、石綿製品の作業が自宅であり本人が従事したか定かでない者を分類した。

(ウ)「石綿取扱い施設に立ち入り等により、石綿ばく露の可能性が考えられる者。居住室内や事務室等に吹き付け石綿が使用されており、屋内環境で石綿ばく露の可能性が考えられる者。」(施設立ち入り等ばく露)

荷物の運搬等で石綿取扱い施設に出入りがあった者や、吹き付け石綿のある建物に立ち入った経験がある者等を分類した。

(エ)「(ア)～(ウ)のいずれにも該当しないため、石綿ばく露の可能性が特定できない者(居住地や学校・職場等の周辺に石綿取扱い施設がある場合も含む)。」(環境ばく露・不明)

(ア)～(ウ)のいずれにも該当しなかった者を分類した。この中には、石綿工場近くに居住地や職場等があった者も含まれている。

(ア)～(エ)の複数に該当する場合は、(ア)(イ)(ウ)の順で優先して1つに分類し、(ア)～(ウ)いずれにも該当しない場合は(エ)に分類した。

### ③ 年齢別集計

被認定者についての年齢別集計を支給種別(医療費、未申請弔慰金、施行前弔慰金)に行った。医療費被認定者は申請時の年齢を、弔慰金被認定者は死亡時の年齢を用いて集計した。

### ④ 職業分類別集計

アンケート票の職種についての回答内容から、従事した職業別に分類を行い、支給種別(医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金)に集計を行った。

疾病(中皮腫、肺がん、石綿肺又はびまん性胸膜肥厚)の潜伏期間を考慮し、医療費被認定者については申請時の10年以前、弔慰金被認定者については死亡時の10年以前の職歴のみを集計対象とした。

転職等により被認定者が異なる職業に複数従事した場合には、それら全てを集計した。同一の職業に複数回従事した場合には、重複を除き1回として集計した。

### ⑤ 産業分類別集計

アンケート票の所属事業場(企業)についての回答内容から、産業別に分類を行い、支給種別(医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金)に集計を行った。

疾病(中皮腫、肺がん、石綿肺又はびまん性胸膜肥厚)の潜伏期間を考慮し、医療費被認定者については申請時の10年以前、弔慰金被認定者については死亡時の10年以前に所属した事業場(企業)のみを集計対象とした。

被認定者の転職等により、所属事業場(企業)が複数あった場合、それが異な

る産業に分類される場合には、産業ごとに1件ずつ計上した。

なお、平成18年度から平成24年度までの累計（以下「累計」という。）においては、建設業に従事歴のある者を抽出し、はつり・解体、左官等の特定の職歴について集計した。

#### ⑥ 住所別集計（居住歴に関する情報の集計）

アンケート票の住所（居住地）についての回答内容から、昭和20年～平成元年（1945年～1989年）の期間に最も長期間居住した市区町村及び政令指定都市を支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計した。

また、②のばく露分類で（エ）に分類された者についても同様の集計を行った。

#### ⑦ 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別居住歴の集計

昭和20年～平成元年（1945年～1989年）の期間に環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者について、②のばく露分類別に集計を行った。環境省石綿健康リスク調査関連地域は、横浜市鶴見区、岐阜県羽島市、大阪府泉南地域等、兵庫県尼崎市、奈良県王寺町及び斑鳩町、北九州市門司区、佐賀県鳥栖市の7地域とした。

#### ⑧ 尼崎市の詳細集計（ばく露（エ）分類）

累計において、②のばく露分類で（エ）に分類し対象期間である昭和20年～平成元年（1945年～1989年）間に尼崎市に居住歴がある者について、行政地区、時点（昭和30年、40年、50年、60年）によるクロス集計を行った。

行政地区は中央地区、小田地区、大庄地区、立花地区、武庫地区、園田地区の6地区とし、記述不十分等により分類できない場合は地区不明とした。

なお、集計は最長居住歴と対象期間居住歴を用いて行った。

#### ⑨ 生年別集計

累計において、②によりばく露分類された胸膜中皮腫の被認定者について、医療費被認定者は療養開始年齢を、未申請弔慰金被認定者は死亡時年齢を行いて生年別に集計した。

また、ばく露分類で（ア）に分類された者、（エ）に分類された者についての同様の集計を行った。

※ ②～⑨の分類・集計において、未申請弔慰金アンケート回答者は医療費アンケート回答者とまとめて集計等を行った。これは「医療費及び未申請弔慰金の認定等決定においては、環境大臣の医学的判定を必ず経ることとされており、その全て

の対象者が一定の医学的判定基準を満たすものとして一様に考えることができる。」との考え方による。

なお、肺がんを除く中皮腫、石綿肺及びびまん性胸膜肥厚に係る施行前弔慰金対象者については、死亡診断書若しくは死亡検案書又は請求に係る疾病に起因して死亡したことを証明することができる診療録の写しに、死亡の原因として指定疾病の記載があれば、法又は改正政令の施行前に死亡した者が石綿を吸入することにより指定疾病にかかり、これに起因して死亡したものと判断しており、医学的判定を経ることなく、弔慰金等の支給を受ける権利の認定を行っている。そのため、医療費及び未申請弔慰金アンケート回答者とはまとめて集計を行っていない。

### 1-3. 石綿による健康被害に係る専門家からなる委員会の委員名簿

区 分	氏 名	所 属
委員長	森永 謙二	独立行政法人 環境再生保全機構 石綿健康被害救済部 顧問医師
委員	三浦 溥太郎	横須賀市立うわまち病院 副病院長
委員	神山 宣彦	東洋大学大学院 経済学研究科 客員教授
委員	高田 礼子	聖マリアンナ医科大学 予防医学教室 教授
委員	篠原 也寸志	独立行政法人 労働安全衛生総合研究所 環境計測管理研究グループ 上席研究員

## 2. 調査結果

### 2-1. 平成 24 年度

#### (1) 被認定者及び調査対象者

##### 集計方法

平成 24 年度の被認定者について、支給種別（医療費、未申請弔慰金、施行前弔慰金）、性別、認定疾病別（中皮腫、肺癌、石綿肺、びまん性胸膜肥厚）、アンケートの有無別に集計を行った。中皮腫については、疾病部位別（胸膜、その他）に集計を行った。

##### 結果

#### ① 被認定者（表 I-1-1）

平成 24 年度の被認定者の総数は 1,138 人であった。支給種別にみると、医療費被認定者が 703 人、未申請弔慰金被認定者が 118 人、施行前弔慰金被認定者が 317 人であった。

認定疾病内訳は中皮腫が 992 人、肺癌が 116 人、石綿肺が 14 人、びまん性胸膜肥厚が 16 人であった。さらに支給種別の認定疾病内訳をみると、医療費被認定者 703 人のうち中皮腫 584 人、肺癌 98 人、石綿肺 7 人、びまん性胸膜肥厚 14 人であり、未申請弔慰金被認定者 118 人のうち中皮腫 100 人、肺癌 16 人、石綿肺 1 人、びまん性胸膜肥厚 1 人であり、施行前弔慰金被認定者 317 人のうち中皮腫 308 人、肺癌 2 人、石綿肺 6 人、びまん性胸膜肥厚 1 人であった。

性別内訳は、男性 874 人、女性 264 人であった。男性の認定疾病内訳は、中皮腫 735 人、肺癌 109 人、石綿肺 14 人、びまん性胸膜肥厚 16 人であり、女性の認定疾病別内訳は、中皮腫 257 人、肺癌 7 人であった。

#### ② 調査対象者（表 I-1-1、表 I-1-2）

他法令による給付に係る認定があったことを、被認定者、ご家族又は他法令による給付の実施機関からの連絡等により平成 26 年 1 月 7 日時点で機構が把握していた場合、以降の集計対象から除外した。他法令による給付に係る認定を受けたことを確認した者を除く被認定者（以下「調査対象者」という。）の総数は 973 人であった。支給種別にみると医療費調査対象者が 555 人、未申請弔慰金調査対象者が 108 人、施行前弔慰金調査対象者が 310 人であった。

調査対象者について認定時の疾病別にみると、中皮腫が 856 人、肺癌が 89 人、石綿肺が 13 人、びまん性胸膜肥厚が 15 人であった。さらに支給種別にみると、医療費調査対象者のうち中皮腫 460 人、肺癌 75 人、石綿肺 7 人、びまん性胸膜肥厚 13 人であり、未申請弔慰金調査対象者のうち中皮腫 94 人、肺癌 12 人、石綿肺 1 人、びまん性胸膜肥厚



1人であり、施行前弔慰金調査対象者のうち中皮腫 302 人、肺がん 2 人、石綿肺 5 人、びまん性胸膜肥厚 1 人であった。

③ アンケート回答者（表 I - 1 - 2）

調査対象者の総数 973 人に対し、アンケート回答者の合計は 768 人、回答率は 78.9%であった。支給種別にみると、医療費調査対象者 555 人のうちアンケート回答者は 435 人（回答率 78.4%）、未申請弔慰金調査対象者 108 人のうちアンケート回答者は 79 人（回答率 73.1%）、施行前弔慰金調査対象者 310 人のうちアンケート回答者は 254 人（回答率 81.9%）であった。

なお、平成 24 年度被認定者のうち申請又は請求時にアンケート回答がなかった者に対し、同内容の再アンケートを送付した。再アンケートの送付対象者は医療費被認定者 168 人、未申請弔慰金被認定者 40 人、施行前弔慰金被認定者 72 人で、そのうち医療費 74 人、未申請弔慰金 13 人、施行前弔慰金 17 人から回答があった。再アンケートに回答があった者は、アンケート回答者として集計対象に含めた。

④ 疾病部位別集計（表 I - 1 - 2）

平成 24 年度の中皮腫調査対象者は、その発症部位が胸膜の者 640 人、その他の者 216 人（腹膜、心膜、精巣鞘膜ほか）であった。うち、アンケート回答者は胸膜の者 504 人、その他の者 169 人であった。

対象者概念図

平成 24 年度被認定者 (1,138 人)	
調査対象者 (973 人)	
他法令でも認定 (165 人)	
アンケート回答者 (768 人)	アンケート 未回答者 (205 人)

表 I-1-1. 平成24年度被認定者数及び調査対象者数

(人)

疾病		医療費			未申請弔慰金			施行前弔慰金			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	合計
中皮腫	被認定者数	456	128	584	75	25	100	204	104	308	735	257	992
	調査対象者数	340	120	460	70	24	94	198	104	302	608	248	856
	調査対象者率	74.6%	93.8%	78.8%	93.3%	96.0%	94.0%	97.1%	100.0%	98.1%	82.7%	96.5%	86.3%
肺がん	被認定者数	91	7	98	16		16	2		2	109	7	116
	調査対象者数	69	6	75	12		12	2		2	83	6	89
	調査対象者率	75.8%	85.7%	76.5%	75.0%		75.0%	100.0%		100.0%	76.1%	85.7%	76.7%
石綿肺	被認定者数	7		7	1		1	6		6	14		14
	調査対象者数	7		7	1		1	5		5	13		13
	調査対象者率	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%	83.3%		83.3%	92.9%		92.9%
胸び膜まん厚性	被認定者数	14		14	1		1	1		1	16		16
	調査対象者数	13		13	1		1	1		1	15		15
	調査対象者率	92.9%		92.9%	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%	93.8%		93.8%
合計	被認定者数	568	135	703	93	25	118	213	104	317	874	264	1,138
	調査対象者数	429	126	555	84	24	108	206	104	310	719	254	973
	調査対象者率	75.5%	93.3%	78.9%	90.3%	96.0%	91.5%	96.7%	100.0%	97.8%	82.3%	96.2%	85.5%

表 I-1-2. 平成24年度調査対象者数及びアンケート回答者数

(人)

疾病	部位		医療費			未申請弔慰金			施行前弔慰金			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	合計
中皮腫	胸膜	調査対象者数	305	95	400	62	17	79	116	45	161	483	157	640
		アンケート回答者数	238	68	306	48	13	61	100	37	137	386	118	504
		回答率	78.0%	71.6%	76.5%	77.4%	76.5%	77.2%	86.2%	82.2%	85.1%	79.9%	75.2%	78.8%
	その他	調査対象者数	35	25	60	8	7	15	82	59	141	125	91	216
		アンケート回答者数	27	21	48	4	6	10	62	49	111	93	76	169
		回答率	77.1%	84.0%	80.0%	50.0%	85.7%	66.7%	75.6%	83.1%	78.7%	74.4%	83.5%	78.2%
	計	調査対象者数	340	120	460	70	24	94	198	104	302	608	248	856
		アンケート回答者数	265	89	354	52	19	71	162	86	248	479	194	673
		回答率	77.9%	74.2%	77.0%	74.3%	79.2%	75.5%	81.8%	82.7%	82.1%	78.8%	78.2%	78.6%
肺がん	調査対象者数	69	6	75	12		12	2		2	83	6	89	
	アンケート回答者数	55	6	61	6		6	1		1	62	6	68	
	回答率	79.7%	100.0%	81.3%	50.0%		50.0%	50.0%		50.0%	74.7%	100.0%	76.4%	
石綿肺	調査対象者数	7		7	1		1	5		5	13		13	
	アンケート回答者数	7		7	1		1	5		5	13		13	
	回答率	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%	
胸び膜まん厚性	調査対象者数	13		13	1		1	1		1	15		15	
	アンケート回答者数	13		13	1		1	0		0	14		14	
	回答率	100.0%		100.0%	100.0%		100.0%	0.0%		0.0%	93.3%		93.3%	
合計	調査対象者数	429	126	555	84	24	108	206	104	310	719	254	973	
	アンケート回答者数	340	95	435	60	19	79	168	86	254	568	200	768	
	回答率	79.3%	75.4%	78.4%	71.4%	79.2%	73.1%	81.6%	82.7%	81.9%	79.0%	78.7%	78.9%	

## (2) 年齢別集計

### 集計方法

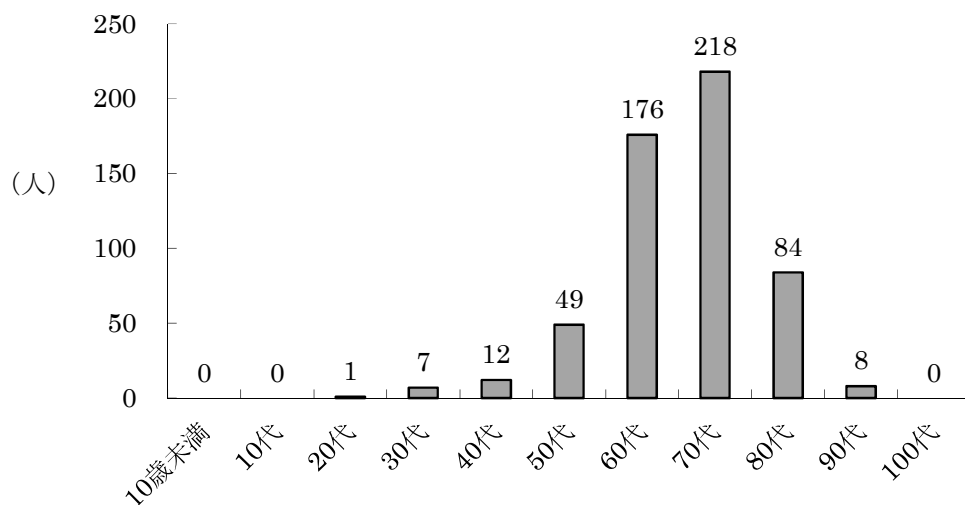
平成 24 年度調査対象者についての年齢別集計を支給種別（医療費、未申請弔慰金、施行前弔慰金）に行った。医療費調査対象者は申請時の年齢を、弔慰金調査対象者は死亡時の年齢を用いて集計した。

### 結果

#### ① 医療費調査対象者の申請時年齢（図 I-2-1、表 I-2-1）

平成 24 年度の医療費調査対象者の平均申請時年齢は 69.9 歳（中央値 70 歳）であった。疾病別では、中皮腫平均は 69.3 歳（中央値 70 歳）、肺癌平均は 72.9 歳（中央値 73 歳）、石綿肺平均は 72.6 歳（中央値 71 歳）、びまん性胸膜肥厚平均は 71.4 歳（中央値 74 歳）であった。

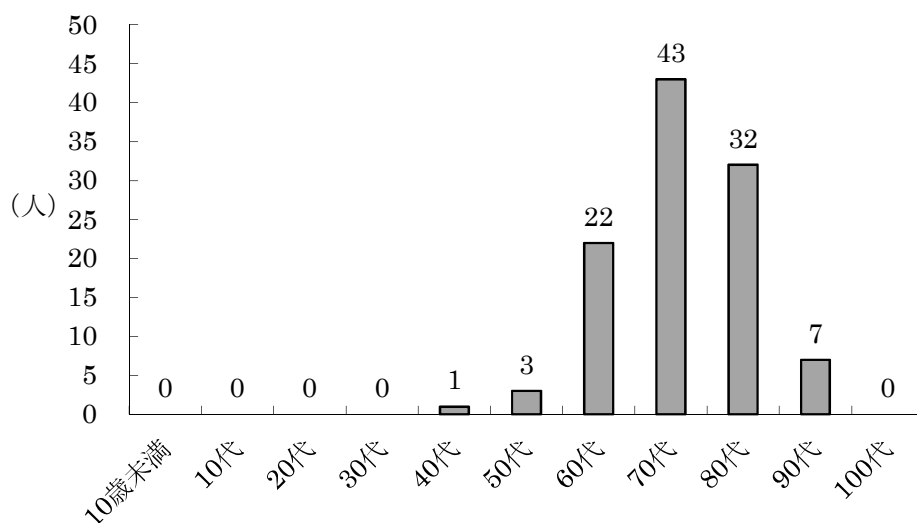
図 I-2-1. 平成 24 年度調査対象者の申請時年齢分布（医療費）



#### ② 未申請弔慰金調査対象者の死亡時年齢（図 I-2-2、表 I-2-2）

平成 24 年度の未申請弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は 76.0 歳（中央値 76 歳）であった。疾病別では、中皮腫平均は 76.0 歳（中央値 76 歳）、肺癌平均は 76.1 歳（中央値 77 歳）、石綿肺平均は 83.0 歳（中央値 83 歳）、びまん性胸膜肥厚平均は 65.0 歳（中央値 65 歳）であった。

図 I - 2 - 2. 平成 24 年度調査対象者の死亡時年齢分布 (未申請弔慰金)



③ 施行前弔慰金調査対象者の死亡時年齢 (図 I - 2 - 3、表 I - 2 - 3)

平成 24 年度の施行前弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は 67.6 歳 (中央値 69 歳) であった。疾病別では、中皮腫平均は 67.4 歳 (中央値 69 歳)、肺がん平均は 60.5 歳 (中央値 60 歳)、石綿肺平均は 81.7 歳 (中央値 84 歳)、びまん性胸膜肥厚平均は 81.0 歳 (中央値 81 歳) であった。

図 I - 2 - 3. 平成 24 年度調査対象者の死亡時年齢分布 (施行前弔慰金)

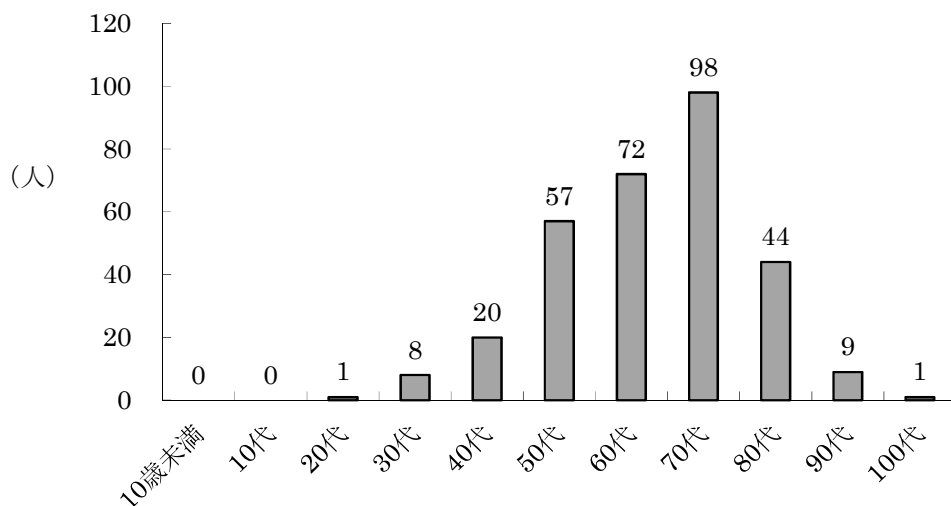


表 I-2-1. 平成24年度調査対象者の申請時年齢別集計 (医療費)

(人)

疾病分類 年齢	中皮腫						計	肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男			女				男	女	計	男	女	計	男	女	計	
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
～9																	
10～19																	
20～29		1	1				1										1
30～39	3	1	4		3	3	7										7
40～49	2	4	6	3	3	6	12										12
50～59	26	8	34	11	3	14	48						1			1	49
60～69	110	9	119	24	8	32	151	20	1	21	1		1	3		3	176
70～79	118	8	126	33	7	40	166	33	5	38	6		6	8		8	218
80～89	43	3	46	22	1	23	69	14		14				1		1	84
90～99	3	1	4	2		2	6	2		2							8
100～																	
合計	305	35	340	95	25	120	460	69	6	75	7	0	7	13	0	13	555
中央値 (歳)	70	63	70	72	62	71	70	72	75	73	71	0	71	74	0	74	70
平均年齢 (歳)	70.0	63.1	69.4	71.4	59.9	69.1	69.3	72.9	72.7	72.9	72.6	0.0	72.6	71.4	0.0	71.4	69.9

表 I-2-2. 平成24年度調査対象者の死亡時年齢別集計 (未申請弔慰金)

(人)

疾病分類 年齢	中皮腫						計	肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男			女				男	女	計	男	女	計	男	女	計	
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
～9																	
10～19																	
20～29																	
30～39																	
40～49	1		1				1										1
50～59	3		3				3										3
60～69	11	3	14	4	1	5	19	2		2				1		1	22
70～79	25	5	30	5	4	9	39	4		4							43
80～89	16		16	7	2	9	25	6		6	1		1				32
90～99	6		6	1		1	7										7
100～																	
合計	62	8	70	17	7	24	94	12	0	12	1	0	1	1	0	1	108
中央値 (歳)	76	72	76	78	77	77	76	77	0	77	83	0	83	65	0	65	76
平均年齢 (歳)	76.1	72.5	75.7	77.5	75.9	77.0	76.0	76.1	0.0	76.1	83.0	0.0	83.0	65.0	0.0	65.0	76.0

表 I-2-3. 平成24年度調査対象者の死亡時年齢別集計 (施行前弔慰金)

(人)

疾病分類 年齢	中皮腫						計	肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男			女				男	女	計	男	女	計	男	女	計	
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
～9																	
10～19																	
20～29				1		1	1										1
30～39	2	3	5	1	2	3	8										8
40～49	8	6	14	2	3	5	19	1		1							20
50～59	22	15	37	9	11	20	57										57
60～69	33	15	48	10	13	23	71				1		1				72
70～79	36	29	65	11	21	32	97	1		1							98
80～89	12	12	24	8	8	16	40				3		3	1		1	44
90～99	3	2	5	2	1	3	8				1		1				9
100～				1		1	1										1
合計	116	82	198	45	59	104	302	2	0	2	5	0	5	1	0	1	310
中央値 (歳)	68	71	69	67	70	68	69	60	0	60	84	0	84	81	0	81	69
平均年齢 (歳)	67.0	67.6	67.2	68.2	67.2	67.7	67.4	60.5	0.0	60.5	81.7	0.0	81.7	81.0	0.0	81.0	67.6

### (3) ばく露分類別集計

#### 集計方法

平成 24 年度アンケート有効回答者について、下記の(ア)～(エ)にばく露分類を行い、支給種別(医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金)に集計を行った。複数に分類できる場合は、(ア)(イ)(ウ)の順で優先してばく露分類を1つに決定した。

(ア)～(エ)分類の詳細は2～3ページを参照。

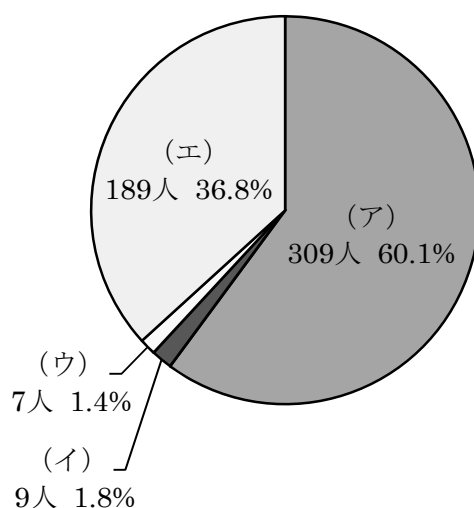
#### 結果

##### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者(図I-3-1、表I-3-1)

医療費・未申請弔慰金調査対象者663人(医療費555人、未申請弔慰金108人)のうち、ばく露分類についての有効回答者は514人であった。ばく露分類の内訳は、(ア)309人(60.1%)、(イ)9人(1.8%)、(ウ)7人(1.4%)、(エ)189人(36.8%)であった。

疾病別に内訳を見ると、中皮腫425人中、(ア)231人、(イ)9人、(ウ)7人、(エ)178人で、肺がん67人中、(ア)56人、(エ)11人、石綿肺8人中、(ア)8人で、びまん性胸膜肥厚14人中、(ア)14人であった。

図I-3-1. 平成24年度ばく露分類別集計  
(医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)



##### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者(図I-3-2、表I-3-2)

施行前弔慰金調査対象者310人のうち、ばく露分類についての有効回答者は254人であった。ばく露分類の内訳は、(ア)117人(46.1%)、(イ)2人(0.8%)、(ウ)2人(0.8%)、

(エ) 133人 (52.4%) であった。

疾病別に内訳を見ると、中皮腫 248人中、(ア) 111人、(イ) 2人、(ウ) 2人、(エ) 133人で、肺がん 1人中、(ア) 1人で、石綿肺 5人中、(ア) 5人であった。

図 I - 3 - 2. 平成 24 年度ばく露分類別集計  
(施行前弔慰金、アンケート有効回答者)

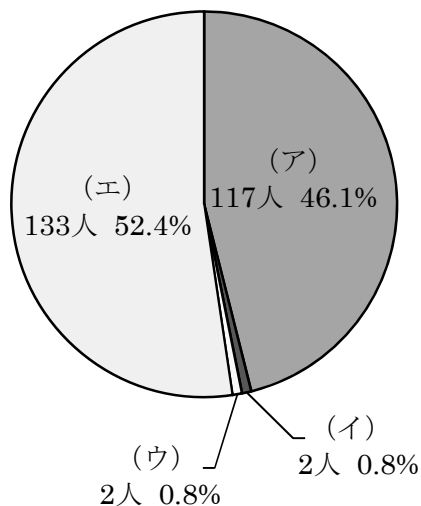


表 I - 3 - 1. 平成 24 年度ばく露分類別集計 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

疾病分類 分類	中皮腫							肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女				計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計												
ア	203	12	215	12	4	16	231	55	1	56	8		8	14		14	309	
イ				8	1	9	9											9
ウ	7		7				7											7
エ	76	19	95	61	22	83	178	6	5	11								189
合計	286	31	317	81	27	108	425	61	6	67	8	0	8	14	0	14	514	

表 I - 3 - 2. 平成 24 年度ばく露分類別集計 (施行前弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

疾病分類 分類	中皮腫							肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女				計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計												
ア	58	35	93	10	8	18	111	1		1	5		5					117
イ					2	2	2											2
ウ		2	2				2											2
エ	42	25	67	27	39	66	133											133
合計	100	62	162	37	49	86	248	1	0	1	5	0	5	0	0	0	0	254

#### (4) 職業分類別集計

##### 集計方法

平成 24 年度調査対象者について、アンケート票の職種に関する回答内容から従事した職業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。職業分類は平成 9 年度 12 月改訂版の日本標準職業分類に基づき、中分類までを用いた。

疾病の潜伏期間を考慮し、医療費アンケート有効回答者については申請時の 10 年以前、弔慰金アンケート有効回答者については死亡時の 10 年以前の職歴のみを有効回答として集計対象とした。転職等により異なる職業に複数従事した場合にはそれら全てを集計したため、重複集計となっている。同一の職業に複数回従事した場合には、集約して 1 回とした。

##### 結果

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（図 I-4-1、表 I-4-1、表 I-4-2）

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 514 人（医療費 435 人、未申請弔慰金 79 人）中、職業分類について有効回答を得られたのは 469 人であった。職業従事者は延べ 879 人であり、1 人あたり平均 1.9 回の職歴があった。

大分類では最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」271 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」203 人、「C 事務従事者」118 人であった。

職業従事者の多かった「I-1 製造・制作作業者」を中分類まで見ると、「I-155 金属加工作業者」51 人、「I-3 採掘・建設・労務作業者」では「I-377 建設作業者（建設躯体工事作業者を除く）」162 人が多かった。

疾病別に見ると、大分類では中皮腫で認定された職業従事者 721 人中、最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」222 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」147 人、「C 事務従事者」105 人であった。肺がんで認定された職業従事者 118 人中、最も従事者の多い職業は「I-3 採掘・建設・労務作業者」37 人であり、次いで「I-1 製造・制作作業者」36 人であった。石綿肺で認定された職業従事者 12 人中、最も従事者の多い職業は「I-3 採掘・建設・労務作業者」8 人であった。びまん性胸膜肥厚で認定された職業従事者 28 人中、最も従事者の多い職業は「I-3 採掘・建設・労務作業者」11 人であり、次いで「I-1 製造・制作作業者」10 人であった。



図 I - 4 - 1. 平成 2 4 年度職業分類分布（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）及び昭和40年の職業分類別就労人口

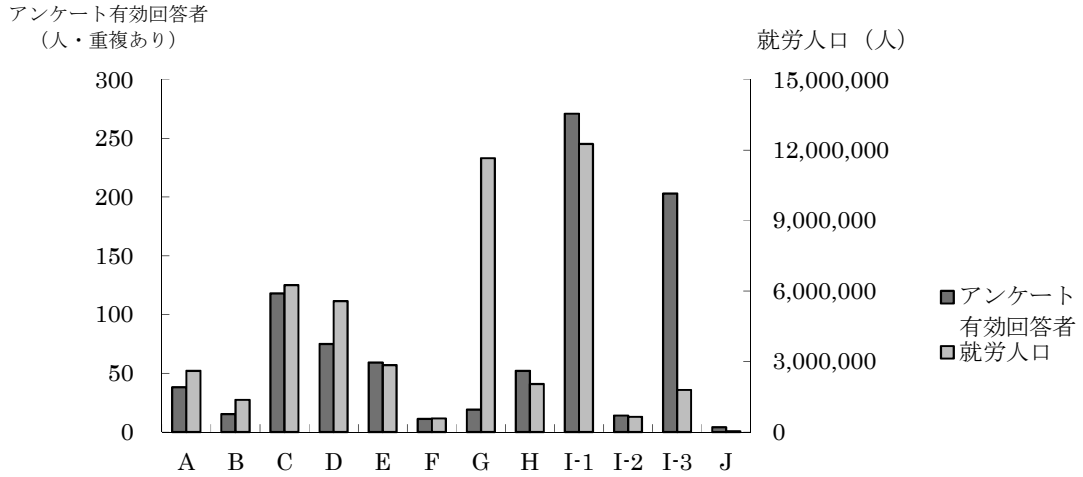


表 I - 4 - 1. 平成 2 4 年度者職業別分類（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）と年別就労人口 (人)

職業分類	アンケート有効回答者	S40年就労人口	S40年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数	S60年就労人口	S60年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数
A 専門的・技術的職業従事者	38	2,604,830	1.5	6,387,805	0.6
B 管理的職業従事者	15	1,367,955	1.1	2,360,868	0.6
C 事務従事者	118	6,250,955	1.9	10,468,308	1.1
D 販売従事者	75	5,566,555	1.3	8,299,361	0.9
E サービス職業従事者	59	2,845,080	2.1	4,160,050	1.4
F 保安職業従事者	11	572,630	1.9	821,019	1.3
G 農林漁業作業	19	11,661,330	0.2	5,380,403	0.4
H 運輸・通信従事者	52	2,038,345	2.6	2,335,850	2.2
I-1 製造・制作作業	271	12,261,075	2.2	11,832,912	2.3
I-2 定置機関運転・建設機械運転・電気作業	14	638,975	2.2	954,278	1.5
I-3 採掘・建設・労務作業	203	1,788,015	11.4	5,237,199	3.9
J 分類不能の職業	4	33,635	11.9	98,076	4.1

表 I-4-2. 平成24年度職業分類別集計 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

職業分類	中皮腫							肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男			女				計	男	女	計	男	女	計			
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
<b>A 専門的・技術的職業従事者</b>																	
A02	農林水産業・食品技術者	1		1			1										1
A03	機械・電気技術者	3		3			3										3
A04	鉱工業技術者 (機械・電気技術者を除く)	1		1			1										1
A05	建築・土木・測量技術者	4		4			4										4
A06	情報処理技術者	2	1	3			3										3
A07	その他の技術者	6	1	7			7	1		1							8
A08	医師、歯科医師、獣医師、薬剤師				1		1	1									1
A12	社会福祉専門職業従事者				2		2	2									2
A15	教員	5		5	3		3	8									8
A16	宗教家	1		1			1										1
A17	文芸家、記者、編集者	1		1			1										1
A18	美術家、写真家、デザイナー	1		1			1										1
A20	その他の専門的職業従事者	1		1	2	1	3	4									4
	計	26	2	28	8	1	9	37	1		1						38
<b>B 管理的職業従事者</b>																	
B22	会社・団体等役員	5		5			5	1		1							6
B23	会社・団体等管理職員	2		2			2										2
B24	その他の管理的職業従事者	5	1	6		1	1	7									7
	計	12	1	13		1	1	14	1		1						15
<b>C 事務従事者</b>																	
C25	一般事務従事者	38	6	44	30	11	41	85	9	3	12						97
C26	会計事務従事者	2		2	2	1	3	5									5
C28	営業・販売事務従事者	6	2	8			8					1				1	9
C29	外勤事務従事者	2		2	2		2	4									4
C30	運輸・通信事務従事者	1		1			1	1									1
C31	事務用機器操作員	1		1	1		1	2									2
	計	50	8	58	35	12	47	105	9	3	12				1	1	118
<b>D 販売従事者</b>																	
D32	商品販売従事者	38	5	43	10	3	13	56	7	2	9	1		1	1		67
D33	販売類似職業従事者	5	2	7		1	1	8									8
	計	43	7	50	10	4	14	64	7	2	9	1		1	1		75
<b>E サービス職業従事者</b>																	
E34	家庭生活支援サービス職業従事者				1		1	1									1
E35	生活衛生サービス従事者	5		5	4	1	5	10	1		1						11
E36	飲食物調理従事者	6	1	7	4		4	11									11
E37	接客・給仕職業従事者	2	1	3	5	1	6	9	1	2	3						12
E38	居住施設・ビル等管理人	3	1	4	1	1	2	6									6
E39	その他のサービス職業従事者	4	3	7	7	2	9	16	2		2						18
	計	20	6	26	22	5	27	53	4	2	6						59
<b>F 保安職業従事者</b>																	
F40	自衛官	6		6			6								1	1	7
F41	司法警察職員	2		2			2										2
F42	その他の保安職業従事者				2		2	2									2
	計	8		8	2		2	10							1	1	11
<b>G 農林漁業作業</b>																	
G43	農業作業	5	3	8			8	6		6							14
G44	林業作業	3		3			3										3
G45	漁業作業	1		1			1	1	1	1							2
	計	9	3	12			12	7	7	7							19
<b>H 運輸・通信従事者</b>																	
H46	鉄道運転従事者	1		1			1										1
H47	自動車運転者	22	4	26	1	1	2	28	6		6						34
H48	船舶・航空機運転従事者	2		2			2	2	1		1						3
H49	その他の運輸従事者	9	1	10	1		1	11					1			1	12
H50	通信従事者	1		1	1	1	2										2
	計	35	5	40	2	2	4	44	7		7				1	1	52

表 I-4-2. 平成24年度職業分類集計 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

職業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男			女			計	男	女	計	男	女	計			
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計										
I-1 製造・制作業者																
I-151	金属材料製造業者	3	1	4			4	2		2						6
I-152	化学製品製造業者	6		6	1		7	4		4			1		1	12
I-153	窯業製品製造業者	2		2	1		3			1		1		1	5	
I-154	土石製品製造業者	3		3			3	1		1					4	
I-155	金属加工業者	36	2	38	3	1	42	6		6	1		1	2	51	
I-156	金属溶接・溶断業者	6		6			6	1		1			1		8	
I-157	一般機械器具組立・修理業者	12	2	14	1		15	4		4			2		21	
I-158	電気機械器具組立・修理業者	11	2	13	4	1	18						1		19	
I-159	輸送機械組立・修理業者	27	2	29	1		30	7		7			1		38	
I-160	計量計測機器・光学機械器具組立・修理業者	4		4	2		6								6	
I-161	精穀・製粉・調味食品製造業者	2		2	1		3						1		4	
I-162	食料品製造業者 (精穀・製粉・調味食品製造業者を除く)	6		6	3	1	10								10	
I-163	飲料・たばこ製造業者				2		2	1		1					3	
I-164	紡織業者	3		3	5	2	10				1		1		11	
I-165	衣服・繊維製品製造業者	4		4	8		12	1		1					13	
I-166	木・竹・草・つる製品製造業者	13		13	1	1	15	3		3					18	
I-167	パルプ・紙・紙製品製造業者	5	1	6			6	1		1					7	
I-168	印刷・製本業者	3		3	1		4								4	
I-169	ゴム・プラスチック製品製造業者	4	1	5		1	6	1		1					7	
I-170	革・革製品製造業者	1		1		1	2								2	
I-171	装身具等身の回り品製造業者							1		1					1	
I-172	その他の製造・制作業者	11	3	14	1	3	18	3		3					21	
	計	162	14	176	35	11	222	36		36	3		3	10	271	
I-2 定置機関運転・建設機械運転・電気業者																
I-273	定置機関・機械及び建設機械運転業者							1		1				2	2	3
I-274	電気業者	10		10			10						1		11	
	計	10		10			10	1		1			3	3	14	
I-3 採掘・建設・労務業者																
I-375	採掘業者	3		3			3	1		1					4	
I-376	建設躯体工事業者	3	2	5			5	1		1	1		1		7	
I-377	建設業者 (建設躯体工事業者を除く)	105	5	110	3	1	114	31		31	6		6	11	162	
I-378	土木作業従事者	10	2	12	1		13	1		1					14	
I-379	運搬労務業者	7	1	8	1	1	10				1		1		11	
I-380	その他の労務業者	2		2			2	2	1	3					5	
	計	130	10	140	5	2	147	36	1	37	8		8	11	203	
J 分類不能の職業																
J99	分類不能の職業	3		3			3	1		1					4	
	計	3		3			3	1		1					4	
	合計	508	56	564	119	38	721	110	8	118	12		12	28	879	

② 施行前弔慰金アンケート有効回答者（図 I-4-2、表 I-4-3、表 I-4-4）

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 254 人中、職業分類について有効回答を得られたのは 209 人であった。職業従事者は延べ 349 人であり、1 人あたり平均 1.7 回の職歴があった。

大分類では最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」87 人であり、次いで「C 事務従事者」65 人、「I-3 採掘・建設・労務作業者」47 人であった。

職業従事者の多かった「I-1 製造・制作作業者」を中分類まで見ると、「I-155 金属加工作業者」16 人が多かった。

疾病別に見ると、中皮腫で認定された職業従事者 337 人中、最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」84 人であり、次いで「C 事務従事者」64 人であった。肺がんで認定された職業従事者は 1 人、石綿肺で認定された職業従事者は 11 人であった。

図 I-4-2. 平成 24 年度被認定者職業分類分布（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）及び昭和 40 年の職業分類別就労人口

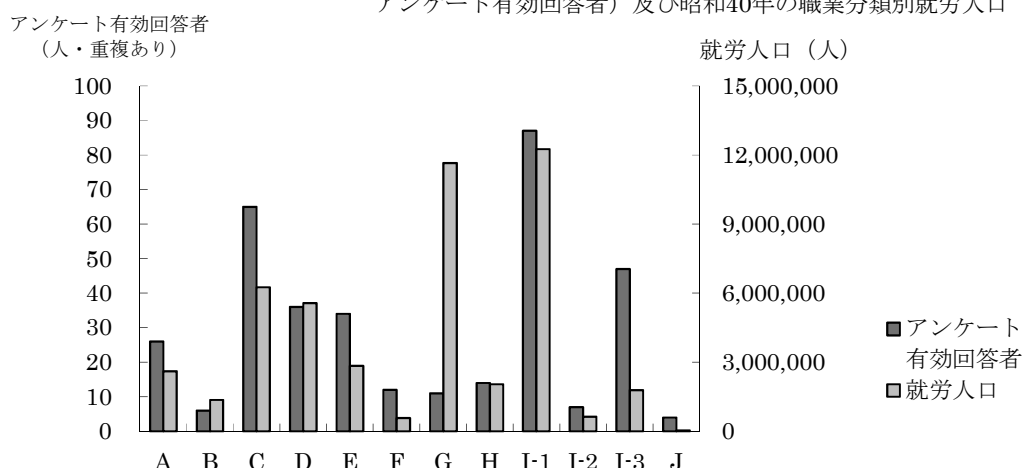


表 I-4-3. 平成 24 年度職業別分類（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）と年別就労人口 (人)

職業分類	アンケート有効回答者	S40年就労人口	S40年就労人口10万人あたりのアンケート有効回答者数	S60年就労人口	S60年就労人口10万人あたりのアンケート有効回答者数
A 専門的・技術的職業従事者	26	2,604,830	1.0	6,387,805	0.4
B 管理的職業従事者	6	1,367,955	0.4	2,360,868	0.3
C 事務従事者	65	6,250,955	1.0	10,468,308	0.6
D 販売従事者	36	5,566,555	0.6	8,299,361	0.4
E サービス職業従事者	34	2,845,080	1.2	4,160,050	0.8
F 保安職業従事者	12	572,630	2.1	821,019	1.5
G 農林漁業作業者	11	11,661,330	0.1	5,380,403	0.2
H 運輸・通信従事者	14	2,038,345	0.7	2,335,850	0.6
I-1 製造・制作作業者	87	12,261,075	0.7	11,832,912	0.7
I-2 定置機関運転・建設機械運転・電気作業者	7	638,975	1.1	954,278	0.7
I-3 採掘・建設・労務作業者	47	1,788,015	2.6	5,237,199	0.9
J 分類不能の職業	4	33,635	11.9	98,076	4.1

表 I-4-4. 平成24年度職業分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

職業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計				
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
<b>A 専門的・技術的職業従事者</b>																	
A02 農林水産業・食品技術者	1	1	2				2										2
A03 機械・電気技術者	1		1				1										1
A04 鉱工業技術者（機械・電気技術者を除く）	1		1				1										1
A05 建築・土木・測量技術者	1	2	3				3										3
A08 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	1		1				1										1
A09 保健師、助産師、看護師				1	1		2										2
A13 法務従事者		1	1				1										1
A15 教員	1	3	4	1	4		5										9
A16 宗教家		1	1				1										1
A18 美術家、写真家、デザイナー		1	1				1										1
A20 その他の専門的職業従事者		1	1	1	2		3										4
計	6	10	16	3	7		10	26									26
<b>B 管理的職業従事者</b>																	
B22 会社・団体等役員	3		3		1	1	4										4
B24 その他の管理的職業従事者	1	1	2				2										2
計	4	1	5		1	1	6										6
<b>C 事務従事者</b>																	
C25 一般事務従事者	12	17	29	10	13		23	52				1		1			53
C26 会計事務従事者				1			1	1									1
C27 生産関連事務従事者					1		1	1									1
C28 営業・販売事務従事者	7		7					7									7
C29 外勤事務従事者	1	1	2					2									2
C31 事務用機器操作員					1		1	1									1
計	20	18	38	11	15		26	64				1		1			65
<b>D 販売従事者</b>																	
D32 商品販売従事者	13	6	19	5	6		11	30									30
D33 販売類似職業従事者	3	1	4	1	1		2	6									6
計	16	7	23	6	7		13	36									36
<b>E サービス職業従事者</b>																	
E34 家庭生活支援サービス職業従事者				1			1	1									1
E35 生活衛生サービス従事者	3		3	1	1		2	5									5
E36 飲食物調理従事者	4	1	5	2	3		5	10									10
E37 接客・給仕職業従事者	7		7		1		1	8									8
E38 居住施設・ビル等管理人	1	2	3		1		1	4			1		1				5
E39 その他のサービス職業従事者	1	4	5					5									5
計	16	7	23	4	6		10	33			1		1				34
<b>F 保安職業従事者</b>																	
F41 司法警察職員	1		1					1									1
F42 その他の保安職業従事者	6	3	9					9			2		2				11
計	7	3	10					10			2		2				12
<b>G 農林漁業従事者</b>																	
G43 農業従事者	4	2	6	1			1	7									7
G44 林業従事者		1	1					1									1
G45 漁業従事者	3		3					3									3
計	7	3	10	1			1	11									11
<b>H 運輸・通信従事者</b>																	
H47 自動車運転者	6	2	8		1		1	9									9
H49 その他の運輸従事者	1		1	1			1	2									2
H50 通信従事者	2		2		1		1	3									3
計	9	2	11	1	2		3	14									14

表 I-4-4. 平成24年度職業分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

職業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計				
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
I-1 製造・制作業者																	
I-151	金属材料製造業者	2		2			2										2
I-152	化学製品製造業者	2		2	2		2										4
I-153	窯業製品製造業者	2	1	3			3										3
I-155	金属加工業者	6	7	13	2	1	3	16									16
I-156	金属溶接・溶断業者		1	1			1										1
I-157	一般機械器具組立・修理業者	2		2			2										2
I-158	電気機械器具組立・修理業者	2	1	3			3										3
I-159	輸送機械組立・修理業者	4	4	8	1		1	9									9
I-160	計量計測機器・光学機械器具組立・修理業者	1		1			1										1
I-161	精穀・製粉・調味食品製造業者		1	1			1										1
I-162	食料品製造業者（精穀・製粉・調味食品製造業者を除く）	2		2	1	1	2	4									4
I-164	紡織業者		1	1	2	5	7	8									8
I-165	衣服・繊維製品製造業者	1	2	3	2	4	6	9									9
I-166	木・竹・草・つる製品製造業者	3	1	4			4			1		1					5
I-167	パルプ・紙・紙製品製造業者	1	1	2			2			1		1					3
I-168	印刷・製本業者	2	1	3			3										3
I-169	ゴム・プラスチック製品製造業者					1	1	1									1
I-172	その他の製造・制作業者	5	2	7	1	3	4	11				1		1			12
	計	35	23	58	11	15	26	84				3		3			87
I-2 定置機関運転・建設機械運転・電気業者																	
I-273	定置機関・機械及び建設機械運転業者	2		2			2										2
I-274	電気業者	2	2	4			4			1		1					5
	計	4	2	6			6			1		1					7
I-3 採掘・建設・労務業者																	
I-375	採掘業者		2	2			2										2
I-376	建設躯体工事業者	1		1			1										1
I-377	建設業者（建設躯体工事業者を除く）	17	9	26	2	2	4	30	1		1	3		3			34
I-378	土木作業従事者	3	2	5		1	1	6									6
I-379	運搬労務業者	2		2			2										2
I-380	その他の労務業者	1		1	1		1	2									2
	計	24	13	37	3	3	6	43	1		1	3		3			47
J 分類不能の職業																	
J99	分類不能の職業	3		3	1		1	4									4
	計	3		3	1		1	4									4
	合計	151	89	240	41	56	97	337	1		1	11		11			349

## (5) 産業分類別集計

### 集計方法

平成 24 年度調査対象者について、アンケート回答者の所属した事業所（企業）名を産業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。産業分類は、平成 14 年度 3 月改訂版の日本標準産業分類に基づき、基本的には大分類で分類した。ただし、E 建設業・F 製造業については中分類まで分類し、集計を行った。

疾病の潜伏期間を考慮し、医療費アンケート有効回答者については申請時の 10 年以前、弔慰金アンケート有効回答者については死亡時の 10 年以前に所属した事業所（企業）のみを有効回答として集計対象とした。転職等により異なる産業に分類される事業所が 1 人につき複数あった場合、重複して集計した。

### 結果

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（図 I-5-1、表 I-5-1、表 I-5-2）

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 514 人（医療費 435 人、未申請弔慰金 79 人）中、産業分類について有効回答を得られたのは 470 人であった。産業分類別従事者は延べ 930 人であり、1 人あたり平均 2.0 個の産業に分類された。

大分類では最も従事者の多い産業は「F 製造業」326 人であり、次いで「E 建設業」209 人、「J 卸売・小売業」86 人であった。「F 製造業」の中分類では、「F25 金属製品製造業」61 人や「F30 輸送用機械器具製造業」31 人が多かった。

疾病別に見ると、中皮腫で認定された産業分類別従事者 754 人中、最も従事者の多い産業は「F 製造業」270 人であり、次いで「E 建設業」145 人、「J 卸売・小売業」74 人であった。肺がんで認定された産業分類別従事者 134 人中、最も従事者の多い産業は「F 製造業」42 人で、次いで「E 建設業」41 人であった。石綿肺で認定された産業分類別従事者は 14 人、びまん性胸膜肥厚で認定された産業分類別従事者は 28 人であった。

図 I-5-1. 平成24年度産業分類分布（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）及び昭和40年の産業分類別就労人口

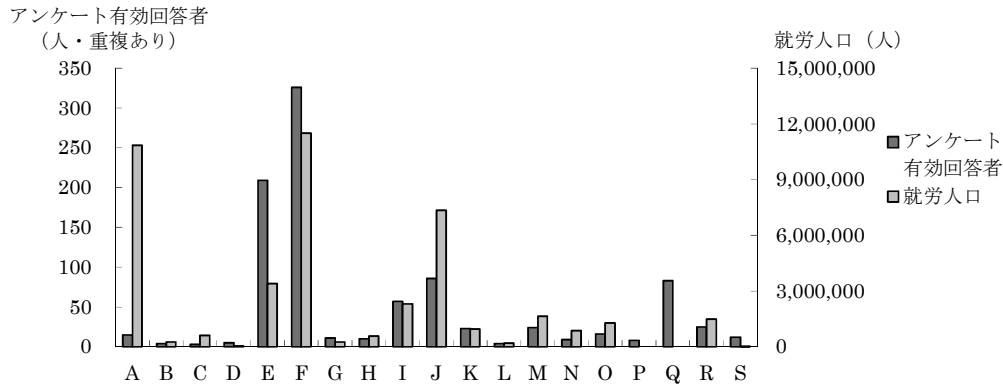


表 I-5-1. 平成24年度産業分類（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）と年別就労人口 (人)

産業分類	アンケート有効回答者	S40年就労人口	S40年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数	S60年就労人口	S60年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数
A 農業	15	10,857,245	0.1	4,858,010	0.3
B 林業	4	265,050	1.5	143,526	2.8
C 漁業	3	615,655	0.5	424,062	0.7
D 鉱業	5	33,240	15.0	98,270	5.1
E 建設業	209	3,402,965	6.1	5,295,011	3.9
F 製造業	326	11,507,205	2.8	13,652,022	2.4
G 電気・ガス・熱供給・水道業	11	265,575	4.1	333,736	3.3
H 情報通信業	10	577,930	1.7	1,201,324	0.8
I 運輸業	57	2,306,540	2.5	2,898,638	2.0
J 卸売・小売業	86	7,355,500	1.2	10,791,941	0.8
K 金融・保険業	23	959,345	2.4	1,742,479	1.3
L 不動産業	4	201,340	2.0	491,288	0.8
M 飲食店・宿泊業	24	1,644,495	1.5	2,636,998	0.9
N 医療、福祉	9	868,390	1.0	2,589,388	0.3
O 教育、学習支援業	16	1,274,875	1.3	1,958,312	0.8
P 複合サービス事業	8	※		※	
Q サービス業（他に分類されないもの）	83	※		※	
R 公務（他に分類されないもの）	25	1,483,755	1.7	2,060,958	1.2
S 分類不能の産業	12	30,065	39.9	99,489	12.1

※昭和40年及び昭和60年と現在の産業分類が異なるため、掲出せず



表 I-5-2. 平成24年度産業分類別集計 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

産業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計				
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
A 農業																	
計	6	3	9				9	6		6							15
B 林業																	
計	4		4				4										4
C 漁業																	
計	1		1				1	2		2							3
D 鉱業																	
計	1		1				1	2		2							3
E 建設業																	
E06 総合工事業	9		9	1		1	10	4		4	2		2				16
E07 職別工事業(設備工事業を除く)	90	6	96	4	3	7	103	28		28	6		6	10		10	147
E08 設備工事業	32		32				32	9		9	1		1	4		4	46
計	131	6	137	5	3	8	145	41		41	9		9	14		14	209
F 製造業																	
F09 食料品製造業	11		11	5	2	7	18	2	1	3				1		1	22
F10 飲料・たばこ・飼料製造業		1	1	2		2	3	1		1							4
F11 繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)	1		1	3	2	5	6				1		1				7
F12 衣服・その他の繊維製品製造業	5		5	9		9	14	1		1							15
F13 木材・木製品製造業(家具を除く)	9		9	2	2	4	13	1		1							14
F14 家具・装備品製造業	5		5				5	2		2							7
F15 パルプ・紙・紙加工品製造業	5	1	6	1		1	7	1	1	2							9
F16 印刷・同関連業	5		5	1		1	6										6
F17 化学工業	9		9	2	1	3	12	5		5			1			1	18
F18 石油製品・石炭製品製造業	1		1				1										1
F19 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	2	2	4				4	1		1							5
F20 ゴム製品製造業	2		2	2	1	3	5	2		2							7
F21 なめし革・同製品・毛皮製造業	1		1		1	1	2										2
F22 窯業・土石製品製造業	6		6	2		2	8	2		2	1		1	1		1	12
F23 鉄鋼業	8	2	10				10	3		3				1		1	14
F24 非鉄金属製造業	2		2	1		1	3	1		1							4
F25 金属製品製造業	41	2	43	5	3	8	51	7		7	2		2	1		1	61
F26 一般機械器具製造業	16	2	18	2		2	20	5		5				2		2	27
F27 電気機械器具製造業	19	2	21	4	1	5	26	1		1				2		2	29
F28 情報通信機械器具製造業	3		3	1		1	4										4
F29 電子部品・デバイス製造業	2		2	1		1	3										3
F30 輸送用機械器具製造業	22	3	25	2		2	27	2	1	3				1		1	31
F31 精密機械器具製造業	2		2	1		1	3										3
F32 その他の製造業	9	3	12	5	2	7	19	2		2							21
計	186	18	204	51	15	66	270	39	3	42	4		4	10		10	326
G 電気・ガス・熱供給・水道業																	
計	8		8				8	2		2				1		1	11
H 情報通信業																	
計	7	1	8	2		2	10										10
I 運輸業																	
計	39	6	45	3	1	4	49	7		7				1		1	57
J 卸売・小売業																	
計	38	6	44	21	9	30	74	8	3	11				1		1	86
K 金融・保険業																	
計	6	3	9	7	4	11	20	3		3							23
L 不動産業																	
計	3	1	4				4										4
M 飲食店、宿泊業																	
計	10	2	12	8	1	9	21	1	2	3							24
N 医療、福祉																	
計	3		3	4	2	6	9										9
O 教育、学習支援業																	
計	8	1	9	5		5	14	2		2							16
P 複合サービス事業																	
計	6		6	2		2	8										8
Q サービス業(他に分類されないもの)																	
計	39	6	45	19	7	26	71	9	2	11	1		1				83
R 公務(他に分類されないもの)																	
計	13	1	14	5	4	9	23	1		1				1		1	25
S 分類不能の産業																	
計	4	2	6	3	1	4	10	2		2							12
合計	516	56	572	135	47	182	754	124	10	134	14		14	28		28	930

② 施行前弔慰金アンケート有効回答者（図 I-5-2、表 I-5-3、表 I-5-4）

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 254 人中、産業分類について有効回答を得られたのは 208 人であった。産業分類別従事者は延べ 353 人であり、1 人あたり平均 1.7 個の産業に分類された。

大分類では最も従事者の多い産業は「F 製造業」101 人であり、次いで「E 建設業」51 人であった。「F 製造業」の中分類では、「F25 金属製品製造業」21 人が多かった。

疾病別に見ると、中皮腫で認定された産業分類別従事者 342 人中、最も従事者の多い産業は「F 製造業」98 人であり、次いで「E 建設業」47 人であった。肺がんで認定された産業分類別従事者は 1 人、石綿肺で認定された産業分類別従事者は 10 人であった。

図 I-5-2. 平成 24 年度産業分類分布（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）及び昭和 40 年の産業分類別就労人口

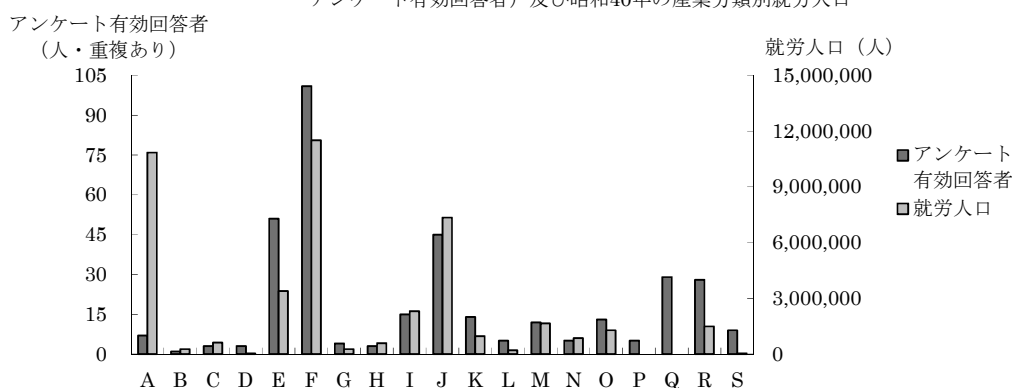


表 I-5-3. 平成 24 年度被認定者産業分類（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）と年別就労人口 (人)

産業分類	アンケート有効回答者	S40年就労人口	S40年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数	S60年就労人口	S60年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数
A 農業	7	10,857,245	0.1	4,858,010	0.1
B 林業	1	265,050	0.4	143,526	0.7
C 漁業	3	615,655	0.5	424,062	0.7
D 鉱業	3	33,240	9.0	98,270	3.1
E 建設業	51	3,402,965	1.5	5,295,011	1.0
F 製造業	101	11,507,205	0.9	13,652,022	0.7
G 電気・ガス・熱供給・水道業	4	265,575	1.5	333,736	1.2
H 情報通信業	3	577,930	0.5	1,201,324	0.2
I 運輸業	15	2,306,540	0.7	2,898,638	0.5
J 卸売・小売業	45	7,355,500	0.6	10,791,941	0.4
K 金融・保険業	14	959,345	1.5	1,742,479	0.8
L 不動産業	5	201,340	2.5	491,288	1.0
M 飲食店、宿泊業	12	1,644,495	0.7	2,636,998	0.5
N 医療、福祉	5	868,390	0.6	2,589,388	0.2
O 教育、学習支援業	13	1,274,875	1.0	1,958,312	0.7
P 複合サービス事業	5	※		※	
Q サービス業（他に分類されないもの）	29	※		※	
R 公務（他に分類されないもの）	28	1,483,755	1.9	2,060,958	1.4
S 分類不能の産業	9	30,065	29.9	99,489	9.0

※昭和40年及び昭和60年と現在の産業分類が異なるため、掲出せず

表I-5-4. 平成24年度産業分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

産業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男			女			計	男	女	計	男	女	計			
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計										
A 農業																
計	4	2	6	1		1	7									7
B 林業																
計		1	1				1									1
C 漁業																
計	3		3				3									3
D 鉱業																
計		3	3				3									3
E 建設業																
E06 総合工事業	2	3	5				5				1		1			6
E07 職別工事業（設備工事業を除く）	15	8	23	3	5	8	31	1		1	1		1			33
E08 設備工事業	7	3	10	1		1	11				1		1			12
計	24	14	38	4	5	9	47	1		1	3		3			51
F 製造業																
F09 食料品製造業	3	1	4	1	1	2	6									6
F11 繊維工業（衣服、その他の繊維製品を除く）		1	1	2	5	7	8									8
F12 衣服・その他の繊維製品製造業	1	2	3	3	4	7	10									10
F14 家具・装備品製造業	2	1	3		1	1	4			1		1				5
F15 パルプ・紙・紙加工品製造業	1	1	2				2			1		1				3
F16 印刷・同関連業	3	1	4		1	1	5									5
F17 化学工業	5	1	6	4		4	10			1		1				11
F20 ゴム製品製造業	1		1		1	1	2									2
F22 窯業・土石製品製造業	3	1	4	1		1	5									5
F23 鉄鋼業	2		2				2									2
F24 非鉄金属製造業	3		3		1	1	4									4
F25 金属製品製造業	8	9	17	2	2	4	21									21
F26 一般機械器具製造業	1	1	2				2									2
F27 電気機械器具製造業	1	1	2	1	1	2	4									4
F30 輸送用機械器具製造業	2	3	5	1		1	6									6
F31 精密機械器具製造業	1		1				1									1
F32 その他の製造業	3	2	5		1	1	6									6
計	40	25	65	15	18	33	98				3		3			101
G 電気・ガス・熱供給・水道業																
計	2	1	3	1		1	4									4
H 情報通信業																
計		2	2		1	1	3									3
I 運輸業																
計	8	3	11	2	1	3	14			1		1				15
J 卸売・小売業																
計	20	7	27	6	12	18	45									45
K 金融・保険業																
計	4	4	8	3	3	6	14									14
L 不動産業																
計	3	1	4		1	1	5									5
M 飲食店、宿泊業																
計	7	1	8	1	3	4	12									12
N 医療、福祉																
計	2		2	2	1	3	5									5
O 教育、学習支援業																
計	1	4	5	2	6	8	13									13
P 複合サービス事業																
計	2	3	5				5									5
Q サービス業（他に分類されないもの）																
計	12	10	22	4	2	6	28			1		1				29
R 公務（他に分類されないもの）																
計	8	10	18	4	4	8	26			2		2				28
S 分類不能の産業																
計	7	1	8		1	1	9									9
合計	147	92	239	45	58	103	342	1		1	10		10			353

## (6) 住所別集計

### 集計方法

平成 24 年度アンケート有効回答者のうち、昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）の居住歴の中で最も長く居住した住所（以下、「最長居住歴」という。）の集計を行った。また、(3) で用いたばく露分類で(エ)に分類された者についても同様の集計を行った。

住所は平成 18 年度の市区町村コードに基づき分類し、対象となる期間中に複数の居住地がある場合には年単位で計算して最長居住歴を各人 1 つ選択した。対象期間中に最長居住歴が複数あった場合は、その中で最も古い住所を 1 つ選択した。

全国の最長居住歴について、東京都 23 区は区単位で、政令指定都市については市単位に集約して集計した。合計数が 1 人以下の市区町村については、県ごとに「その他の市町村」として集約した。

最長居住歴が政令指定都市であった者については、政令指定都市の区単位での最長居住歴も集計した。記述不十分等により区が不明な場合と、区的最長居住者数が 1 人以下の場合については、政令指定都市ごとに「その他及び不明」として集約した。

### 結果

#### 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

##### ① 全体（図 I-6-1、表 I-6-1）

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 514 人（医療費 435 人、未申請弔慰金 79 人）で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは 493 人であった。

都道府県別で見ると、最も多かったのは兵庫県 72 人、次いで大阪府 44 人、東京都 40 人、神奈川県 31 人、福岡県 30 人であった。

市区町村別にみると、最も多かったのは尼崎市 40 人、次いで大阪市 20 人、横浜市 16 人、名古屋市 14 人、神戸市 13 人であった。

なお、政令指定都市の最長居住歴は表 I-6-2 のとおり。

##### ② (エ) 分類（図 I-6-2、表 I-6-3）

(エ) 分類の医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 189 人（医療費 160 人、未申請弔慰金 29 人）で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは 183 人であった。

都道府県別で見ると、最も多かったのは兵庫県 33 人、次いで東京都及び大阪府 20 人、愛知県 12 人、埼玉県 11 人であった。

市区町村別にみると、最も多かったのは尼崎市 27 人、次いで横浜市及び大阪市 9 人、名古屋市 6 人であった。

なお、政令指定都市の最長居住歴は表 I-6-4 のとおり。

図 I - 6 - 1. 平成 2 4 年度最長居住歴（都道府県）分布（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）

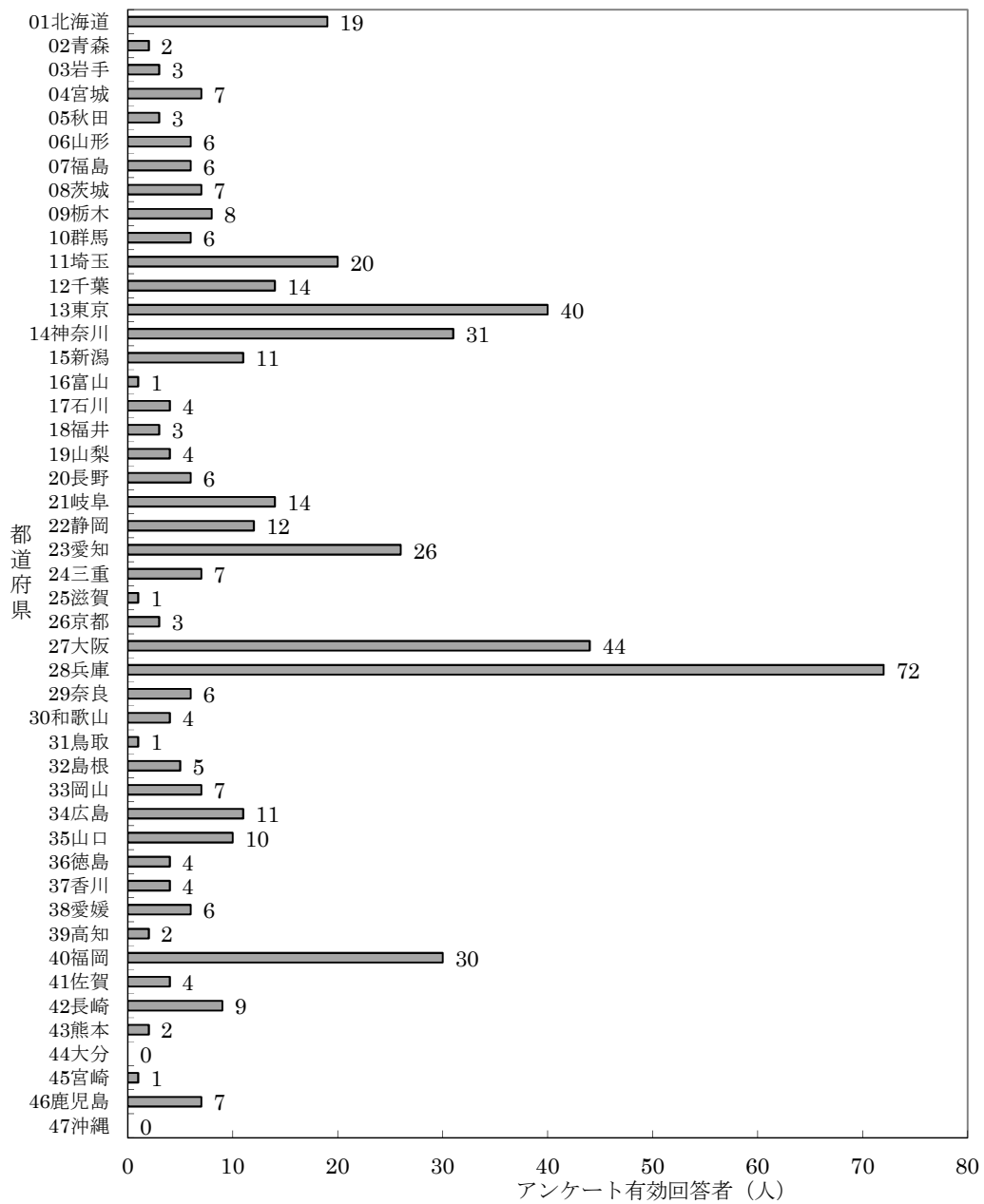






表 I-6-1. 平成24年度最長居住歴 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

都道府県名	男			中皮種			計	肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	市町村名	胸膜	その他	小計	胸膜	その他		小計	男	女	計	男	女	計	男	女	
40福岡																	
	北九州市	3	2	5	3		3	8	1		1						9
	福岡市	4	1	5	1	1	2	7									7
	久留米市	1		1	1		1	2	1		1						3
	飯塚市	1		1			1	1						1		1	2
	その他の市町村	7	1	8		1	1	9									9
	計	16	4	20	5	2	7	27	2		2			1		1	30
41佐賀																	
	その他の市町村	3		3			3	3	1		1						4
	計	3		3			3	3	1		1						4
42長崎																	
	長崎市		1	1	2		2	3	1		1						4
	雲仙市					1	1	1	1		1						2
	その他の市町村	2		2		1	1	3									3
	計	2	1	3	2	2	4	7	2		2						9
43熊本																	
	その他の市町村	1		1			1	1	1		1						2
	計	1		1			1	1	1		1						2
44大分																	
	計																0
45宮崎																	
	その他の市町村	1		1			1	1									1
	計	1		1			1	1									1
46鹿児島																	
	鹿児島市	1		1		1	1	2	1		1						3
	その他の市町村	2	1	3			3	3					1		1		4
	計	3	1	4		1	1	5	1		1		1		1		7
47沖縄																	
	計																0
99その他																	
	計																0
	合計	273	30	303	77	26	103	406	59	6	65	8		8	14		493



表1-6-2. 平成24年度政令指定都市の最長居住歴（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

政令指定都市	区名	中皮腫						計	肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計		
		男			女				男	女	計	男	女	計	男	女	計			
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計													
札幌市	中央区	2	1	3				3											3	
	その他及び不明	2		2				2				1		1					3	
	計	4	1	5				5				1		1					6	
仙台市	その他及び不明	2		2				2											2	
	計	2		2				2											2	
さいたま市	大宮区		1	1	1	1	1	2											2	
	中央区	1		1		1	1	2											2	
	その他及び不明	1		1	1	1	1	2											2	
	計	2	1	3	2	1	3	6											6	
千葉市	その他及び不明								1		1								1	
	計								1		1								1	
横浜市	鶴見区	1		1	1	2	3	4	1		1								5	
	保土ヶ谷区	3		3				3											3	
	磯子区		1	1		1	1	2											2	
	その他及び不明	5		5				5									1		6	
	計	9	1	10	1	3	4	14	1		1					1			16	
川崎市	中原区	1	1	2				2											2	
	その他及び不明								1		1						2		3	
	計	1	1	2				2	1		1					2			5	
相模原市	計																		0	
新潟市	西蒲区	2		2				2											2	
	その他及び不明					1	1	1											1	
	計	2		2		1	1	3											3	
静岡市	その他及び不明	1		1	1	1	1	2		1	1								3	
	計	1		1	1	1	1	2		1	1								3	
浜松市	その他及び不明	1		1				1											1	
	計	1		1				1											1	
名古屋市	千種区	1		1				1								1			2	
	中村区	1		1	1		1	2											2	
	中区	2		2				2											2	
	南区	3		3				3											3	
	その他及び不明	3		3	1	1	2	5											5	
	計	10		10	2	1	3	13							1			1	14	
京都市	その他及び不明	1	1	2				2											2	
	計	1	1	2				2											2	
大阪市	東淀川区	3		3				3											3	
	住吉区	2		2				2	1		1								3	
	淀川区	2		2	1		1	3						1				1	4	
	平野区	2		2				2	1		1								3	
	その他及び不明	4	1	5	2		2	7											7	
	計	13	1	14	3		3	17	2		2				1			1	20	
堺市	堺区	1		1				1				1			1				2	
	その他及び不明	1		1				1											1	
	計	2		2				2				1			1				3	
神戸市	長田区	2		2	1		1	3											3	
	垂水区	2		2				2											2	
	中央区	1		1				1	1		1								2	
	その他及び不明	3		3	2		2	5								1			6	
	計	8		8	3		3	11	1		1				1			1	13	
岡山市	北区								2		2								2	
	計								2		2								2	
広島市	中区	2		2				2											2	
	その他及び不明				1		1	1											1	
	計	2		2	1		1	3											3	
北九州市	門司区	1	2	3	1		1	4											4	
	八幡西区	1		1	1		1	2											2	
	その他及び不明	1		1	1		1	2	1		1								3	
	計	3	2	5	3		3	8	1		1								9	
福岡市	博多区		1	1			1	2											2	
	中央区	2		2				2											2	
	南区	2		2				2											2	
	その他及び不明				1		1	1											1	
	計	4	1	5	1	1	2	7											7	
熊本市	その他及び不明								1		1								1	
	計								1		1								1	
合計		65	9	74	17	7	24	98	10	1	11	2			2		6		6	117

図 I - 6 - 2. 平成 2 4 年度最長居住歴（都道府県）分布

(医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類)

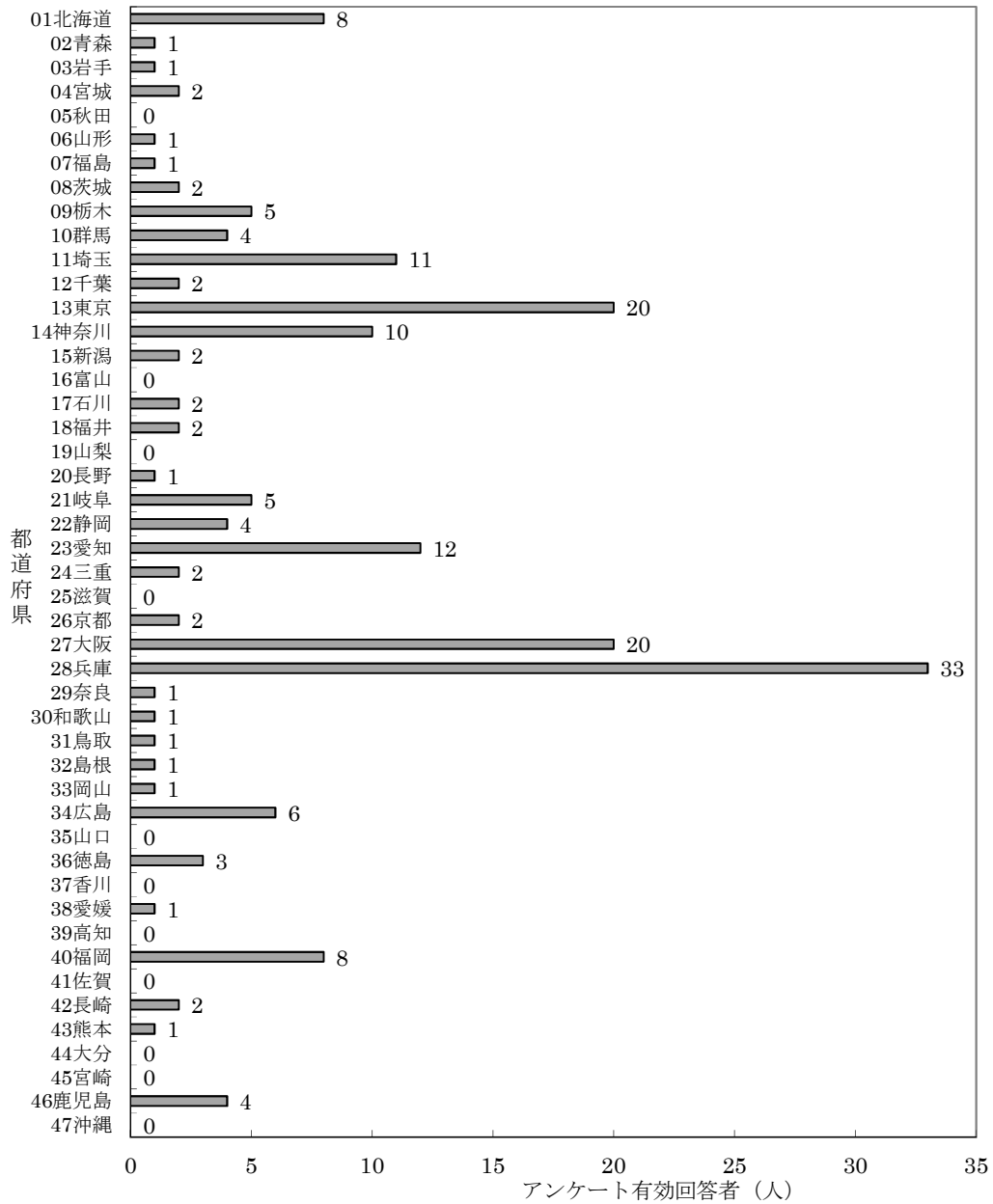




表1-6-3. 平成24年度最長居住歴（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）

(人)

都道府県名	市町村名	中皮腫						計	肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
		男			女				男	女	計	男	女	計	男	女	計	
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
27大阪	大阪市	5	1	6	3		3	9										9
	豊中市	2		2				2										2
	吹田市	1		1	2			3										3
	東大阪市				2			2										2
	その他の市町村	2		2	1	1	2	4										4
	計	10	1	11	8	1	9	20										20
28兵庫	尼崎市	10	1	11	10	1	11	22	2	3	5							27
	西宮市					1	1	1		1	1							2
	その他の市町村	2		2	2			4										4
	計	12	1	13	12	2	14	27	2	4	6							33
29奈良	その他の市町村				1		1	1										1
	計				1		1	1										1
30和歌山	その他の市町村	1		1				1										1
	計	1		1				1										1
31鳥取	その他の市町村					1	1	1										1
	計					1	1	1										1
32島根	その他の市町村					1	1	1										1
	計					1	1	1										1
33岡山	その他の市町村	1		1				1										1
	計	1		1				1										1
34広島	広島市	1		1	1		1	2										2
	その他の市町村	2		2	1	1	2	4										4
	計	3		3	2	1	3	6										6
35山口	計																	0
36徳島	その他の市町村	3		3				3										3
	計	3		3				3										3
37香川	計																	0
38愛媛	その他の市町村				1		1	1										1
	計				1		1	1										1
39高知	計																	0
40福岡	北九州市				3		3	3										3
	福岡市		1	1	1	1	2	3										3
	その他の市町村	1		1		1	1	2										2
	計	1	1	2	4	2	6	8										8
41佐賀	計																	0
42長崎	その他の市町村	1		1	1		1	2										2
	計	1		1	1		1	2										2
43熊本	その他の市町村								1		1							1
	計								1		1							1
44大分	計																	0
45宮崎	計																	0
46鹿児島	鹿児島市	1		1		1	1	2										2
	その他の市町村	1	1	2				2										2
	計	2	1	3		1	1	4										4
47沖縄	計																	0
99その他	計																	0
	合計	74	19	93	58	21	79	172	6	5	11							183

表1-6-4. 平成24年度政令指定都市の最長居住歴（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）

(人)

政令指定都市	区名	中皮腫						肺癌			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計				
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
札幌市	その他及び不明		1	1														1
	計		1	1														1
仙台市	計																	0
さいたま市	大宮区			1	1		1											2
	その他及び不明	1		1			1											2
	計	1	1	2	1	1	2											4
千葉市	計																	0
横浜市	鶴見区	1		1	1		2											4
	磯子区		1	1			1											2
	その他及び不明	3		3			3											3
	計	4	1	5	1	3	4											9
川崎市	計																	0
相模原市	計																	0
新潟市	その他及び不明	1		1			1											2
	計	1		1			1											2
静岡市	その他及び不明				1		1		1	1								2
	計				1		1		1	1								2
浜松市	計																	0
名古屋市	中村区	1		1	1		1											2
	その他及び不明	3		3		1	1											4
	計	4		4	1	1	2											6
京都市	その他及び不明		1	1														1
	計		1	1														1
大阪市	淀川区	2		2	1		1											3
	平野区	2		2														2
	その他及び不明	1	1	2	2		2											4
	計	5	1	6	3		3											9
堺市	計																	0
神戸市	その他及び不明				1		1											1
	計				1		1											1
岡山市	計																	0
広島市	その他及び不明	1		1	1		1											2
	計	1		1	1		1											2
北九州市	その他及び不明				3		3											3
	計				3		3											3
福岡市	博多区		1	1		1	1											2
	その他及び不明				1		1											1
	計		1	1	1	1	2											3
熊本市	その他及び不明								1		1							1
	計								1		1							1
合計		16	6	22	13	7	20	42	1	1	2							44

### 施行前弔慰金アンケート有効回答者

#### ① 全体（図 I-6-3、表 I-6-5、表 I-6-6）

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 254 人で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは 244 人であった。

都道府県別で見ると、最も多かったのは東京都 33 人、次いで大阪府 24 人、以下北海道 13 人、埼玉県、神奈川県及び広島県 11 人、愛知県及び福岡県 10 人であった。

市区町村別にみると、最も多かったのは大阪市 11 人、次いで杉並区及び京都市 4 人であった。

なお、政令指定都市の最長居住歴は表 I-6-6 のとおり。

#### ② (エ) 分類（図 I-6-4、表 I-6-7、表 I-6-8）

(エ) 分類の施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 133 人で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは 125 人であった。

都道府県別で見ると、最も多かったのは東京都 19 人、次いで北海道及び大阪府 8 人、埼玉県、愛知県、兵庫県、広島県及び福岡県 6 人であった。

市区町村別にみると、最も多かったのは杉並区、京都市及び大阪市 3 人であった。

なお、政令指定都市の最長居住歴は表 I-6-8 のとおり。

図 I - 6 - 3. 平成 2 4 年度最長居住歴（都道府県）分布（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

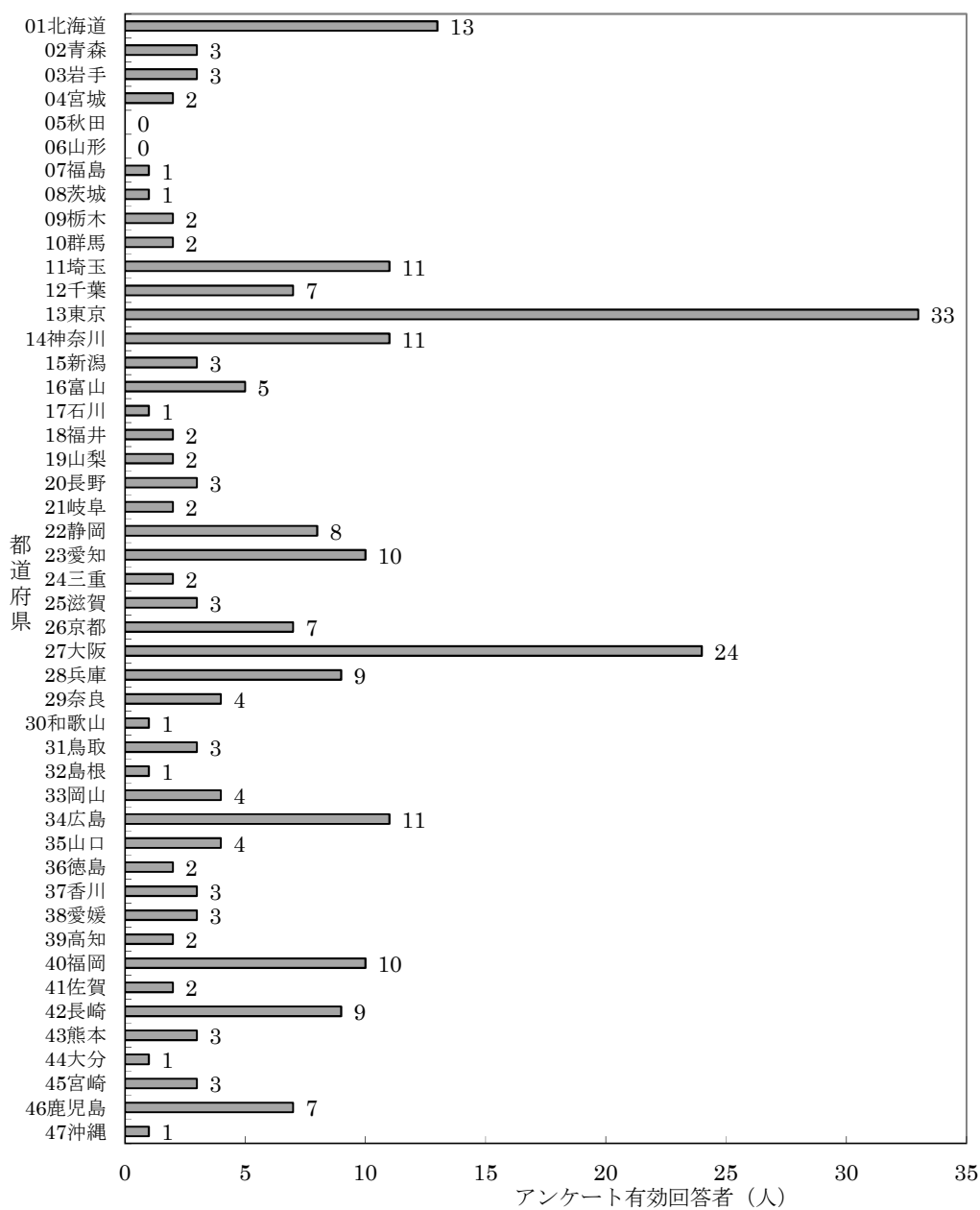






表 I-6-5. 平成24年度最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

都道府県名	市町村名	中皮種						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
		男			女			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計	計									
25滋賀	大津市		1	1		1	1	2									2
	その他の市町村					1	1	1									1
	計		1	1		2	2	3									3
26京都	京都市				1	2	3	3				1		1			4
	舞鶴市					2	2	2									2
	その他の市町村		1	1				1									1
	計		1	1	1	4	5	6				1		1			7
27大阪	大阪市	7	2	9	1	1	2	11									11
	堺市	1		1		1	1	2									2
	豊中市	1		1		1	1	2									2
	松原市	2		2				2									2
	和泉市	1	1	2				2									2
	その他の市町村	1	3	4	1		1	5									5
	計	13	6	19	2	3	5	24									24
28兵庫	神戸市	2		2	1		1	3									3
	尼崎市	1		1	1	1	2	3									3
	その他の市町村	1		1	1	1	2	3									3
	計	4		4	3	2	5	9									9
29奈良	奈良市	1	1	2				2									2
	その他の市町村		2	2				2									2
	計	1	3	4				4									4
30和歌山	その他の市町村		1	1				1									1
	計		1	1				1									1
31鳥取	その他の市町村		1	1		2	2	3									3
	計		1	1		2	2	3									3
32島根	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
33岡山	その他の市町村	1	1	2	1	1	2	4									4
	計	1	1	2	1	1	2	4									4
34広島	広島市		2	2				2									2
	三原市	1		1	1		1	2									2
	尾道市	2		2				2									2
	世羅郡世羅町	1		1		1	1	2									2
	その他の市町村	1		1		2	2	3									3
	計	5	2	7	1	3	4	11									11
35山口	その他の市町村		1	1	2	1	3	4									4
	計		1	1	2	1	3	4									4
36徳島	その他の市町村		1	1	1		1	2									2
	計		1	1	1		1	2									2
37香川	その他の市町村	2	1	3				3									3
	計	2	1	3				3									3
38愛媛	その他の市町村				1	2	3	3									3
	計				1	2	3	3									3
39高知	その他の市町村					2	2	2									2
	計					2	2	2									2
40福岡	北九州市	2		2		1	1	3									3
	福岡市	1		1		1	1	2									2
	その他の市町村	1	2	3	2		2	5									5
	計	4	2	6	3	1	4	10									10
41佐賀	その他の市町村				1	1	2	2									2
	計				1	1	2	2									2
42長崎	長崎市	1	1	2				2									2
	対馬市	1		1		1	1	2									2
	その他の市町村	2	3	5				5									5
	計	4	4	8		1	1	9									9
43熊本	熊本市					2	2	2									2
	その他の市町村	1		1				1									1
	計	1		1		2	2	3									3
44大分	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
45宮崎	宮崎市		2	2				2									2
	その他の市町村				1		1	1									1
	計		2	2	1		1	3									3
46鹿児島	鹿児島市		1	1		2	2	3									3
	霧島市	1		1	1		1	2									2
	その他の市町村	2		2				2									2
	計	3	1	4	1	2	3	7									7
47沖縄	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
99その他	計																0
	合計	96	59	155	35	48	83	238	1		1	5		5			244

表 I-6-6. 平成24年度政令指定都市の最長居住歴(施行前弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

政令指定都市	区名	中皮腫						計	肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
		男			女				男	女	計	男	女	計	男	女	計	
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
札幌市	その他及び不明	1		1				1										1
	計	1		1				1										1
仙台市																		0
	計																	0
さいたま市																		0
	計																	0
千葉市																		0
	計																	0
横浜市	その他及び不明	1	1	2				2			1		1					3
	計	1	1	2				2			1		1					3
川崎市																		0
	計																	0
相模原市	その他及び不明	1		1				1										1
	計	1		1				1										1
新潟市																		0
	計																	0
静岡市	その他及び不明	2	1	3				3										3
	計	2	1	3				3										3
浜松市	その他及び不明		1	1	1	1	2	3										3
	計		1	1	1	1	2	3										3
名古屋市	その他及び不明	2	1	3				3										3
	計	2	1	3				3										3
京都市	その他及び不明				1	2	3	3			1		1					4
	計				1	2	3	3			1		1					4
大阪市	浪速区	1		1		1	1	2										2
	平野区	2		2				2										2
	その他及び不明	4	2	6	1		1	7										7
	計	7	2	9	1	1	2	11										11
堺市	その他及び不明	1		1		1	1	2										2
	計	1		1		1	1	2										2
神戸市	その他及び不明	2		2	1		1	3										3
	計	2		2	1		1	3										3
岡山市																		0
	計																	0
広島市	その他及び不明		2	2				2										2
	計		2	2				2										2
北九州市	八幡西区	1		1		1	1	2										2
	その他及び不明	1		1				1										1
	計	2		2		1	1	3										3
福岡市	城南区	1		1	1		1	2										2
	計	1		1	1		1	2										2
熊本市	中央区					2	2	2										2
	計					2	2	2										2
	合計	20	8	28	5	8	13	41			2		2					43

図 I - 6 - 4. 平成 2 4 年度最長居住歴（都道府県）分布（施行前弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）

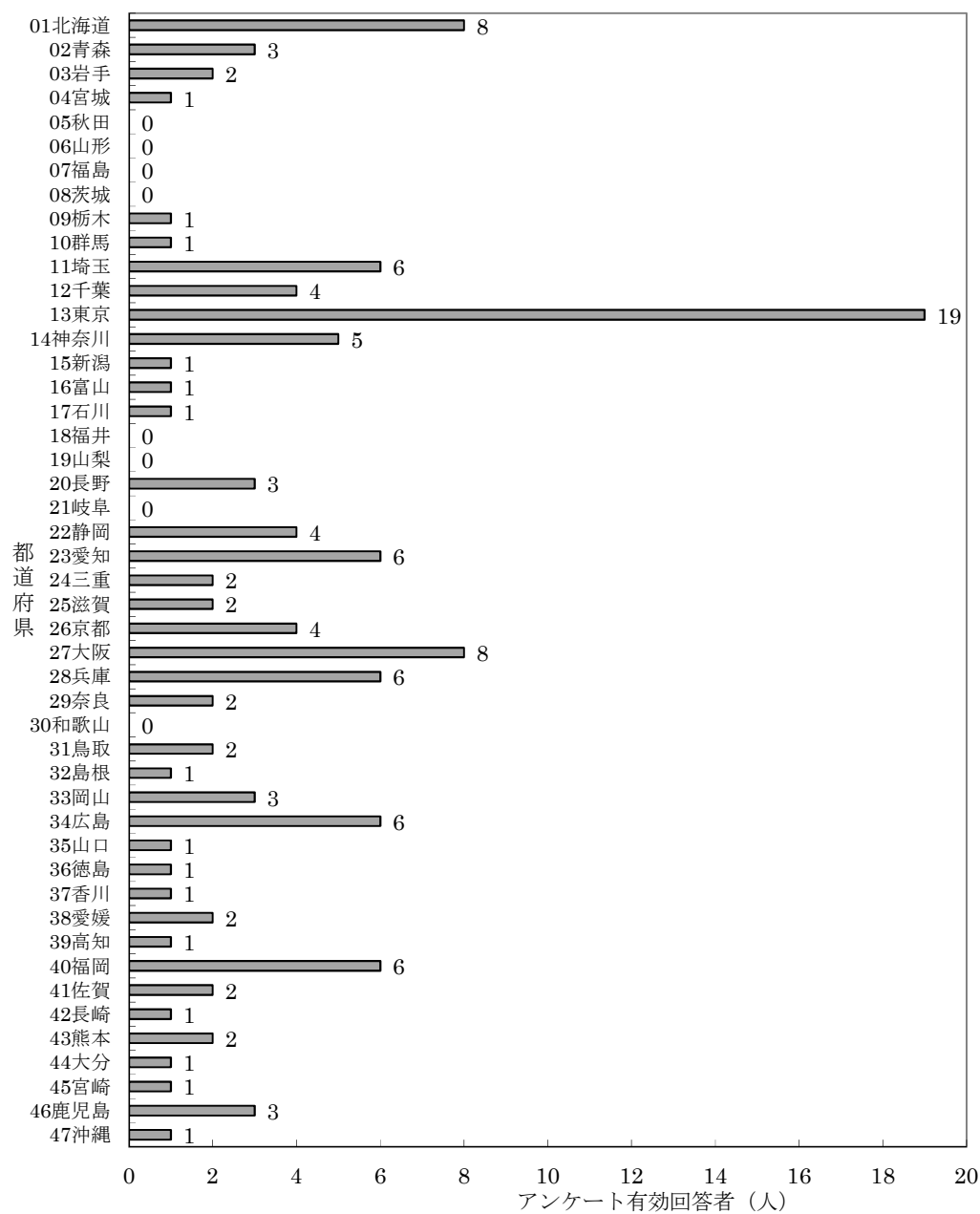


表1-6-7. 平成24年度最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）

(人)

都道府県名	市町村名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
		男			女			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計	計									
01北海道	函館市	1		1	1		1	2									2
	その他の市町村	4	1	5		1	1	6									6
	計	5	1	6	1	1	2	8									8
02青森	その他の市町村	1	2	3				3									3
	計	1	2	3				3									3
03岩手	一関市	1		1		1	1	2									2
	計	1		1		1	1	2									2
04宮城	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
05秋田	計																0
06山形	計																0
07福島	計																0
08茨城	計																0
09栃木	その他の市町村		1	1				1									1
	計		1	1				1									1
10群馬	その他の市町村				1		1	1									1
	計				1		1	1									1
11埼玉	川口市	1	1	2				2									2
	その他の市町村	4		4				4									4
	計	5	1	6				6									6
12千葉	その他の市町村	3	1	4				4									4
	計	3	1	4				4									4
13東京	新宿区	2		2				2									2
	大田区				2			2									2
	世田谷区		1	1	1			1	2								2
	杉並区	2		2		1	1	3									3
	葛飾区				1	1	2	2									2
	その他の市町村	1	3	4	2	2	4	8									8
	計	5	4	9	6	4	10	19									19
14神奈川	その他の市町村		3	3	2		2	5									5
	計		3	3	2		2	5									5
15新潟	その他の市町村	1		1				1									1
	計	1		1				1									1
16富山	その他の市町村				1	1	1	1									1
	計				1	1	1	1									1
17石川	その他の市町村				1	1	1	1									1
	計				1	1	1	1									1
18福井	計																0
19山梨	計																0
20長野	その他の市町村	1	1	2		1	1	3									3
	計	1	1	2		1	1	3									3
21岐阜	計																0
22静岡	静岡市	1	1	2				2									2
	その他の市町村	1		1	1			2									2
	計	2	1	3	1			4									4
23愛知	その他の市町村	2		2	2	2	4	6									6
	計	2		2	2	2	4	6									6
24三重	その他の市町村		1	1		1	1	2									2
	計		1	1		1	1	2									2
25滋賀	その他の市町村				2	2	2	2									2
	計				2	2	2	2									2
26京都	京都市				1	2	3	3									3
	その他の市町村					1	1	1									1
	計				1	3	4	4									4
27大阪	大阪市	2		2	1		1	3									3
	その他の市町村	1	2	3	1	1	2	5									5
	計	3	2	5	2	1	3	8									8
28兵庫	神戸市	2		2				2									2
	尼崎市				1	1	2	2									2
	その他の市町村				1	1	2	2									2
	計	2		2	2	2	4	6									6
29奈良	その他の市町村	1	1	2				2									2
	計	1	1	2				2									2
30和歌山	計																0

表 I-6-7. 平成24年度最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）

(人)

都道府県名	市町村名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
		男			女			男	女	計	男	女	計	男	女	計	
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計	計									
31鳥取	その他の市町村					2	2	2									2
	計					2	2	2									2
32島根	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
33岡山	その他の市町村	1		1	1	1	2	3									3
	計	1		1	1	1	2	3									3
34広島	三原市	1		1	1		1	2									2
	その他の市町村	2		2		2	2	4									4
	計	3		3	1	2	3	6									6
35山口	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
36徳島	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
37香川	その他の市町村		1	1				1									1
	計		1	1				1									1
38愛媛	その他の市町村					2	2	2									2
	計					2	2	2									2
39高知	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
40福岡	北九州市	1		1		1	1	2									2
	その他の市町村	1	2	3	1		1	4									4
	計	2	2	4	1	1	2	6									6
41佐賀	その他の市町村					1	1	2									2
	計					1	1	2									2
42長崎	その他の市町村	1		1				1									1
	計	1		1				1									1
43熊本	熊本市					2	2	2									2
	計					2	2	2									2
44大分	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
45宮崎	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
46鹿児島	鹿児島市		1	1		1	1	2									2
	その他の市町村					1	1	1									1
	計		1	1		1	1	2									3
47沖縄	その他の市町村					1	1	1									1
	計					1	1	1									1
99その他	計																0
	合計	39	23	62	25	38	63	125									125

表1-6-8. 平成24年度政令指定都市の最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）

(人)

政令指定都市	区名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計				
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
札幌市	その他及び不明	1		1				1										1
	計	1		1				1										1
仙台市	計																	0
さいたま市	計																	0
千葉市	計																	0
横浜市	その他及び不明		1	1				1										1
	計		1	1				1										1
川崎市	計																	0
相模原市	計																	0
新潟市	計																	0
静岡市	その他及び不明	1	1	2				2										2
	計	1	1	2				2										2
浜松市	その他及び不明				1		1	1										1
	計				1		1	1										1
名古屋市	その他及び不明	1		1				1										1
	計	1		1				1										1
京都市	その他及び不明				1	2	3	3										3
	計				1	2	3	3										3
大阪市	その他及び不明	2		2	1		1	3										3
	計	2		2	1		1	3										3
堺市	その他及び不明					1	1	1										1
	計					1	1	1										1
神戸市	その他及び不明	2		2				2										2
	計	2		2				2										2
岡山市	計																	0
広島市	計																	0
北九州市	その他及び不明	1		1		1	1	2										2
	計	1		1		1	1	2										2
福岡市	計																	0
熊本市	中央区					2	2	2										2
	計					2	2	2										2
	合計	8	2	10	3	6	9	19										19

## (7) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計

### 集計方法

平成 24 年度アンケート有効回答者のうち、昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）の期間に、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者について、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）及び（3）で用いたばく露分類別に集計を行った。環境省石綿健康リスク調査関連地域とは、横浜市鶴見区、岐阜県羽島市、大阪府泉南地域等、兵庫県尼崎市、奈良県王寺町及び斑鳩町、北九州市門司区、佐賀県鳥栖市の 7 地域である。

大阪府泉南地域等とは、岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・河内長野市・熊取町・田尻町・岬町の 9 市町村を指す。

期間中に複数の地域に居住歴がある場合には、全ての地域を重複して集計した。

### 結果

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（表 I-7-1）

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 514 人（医療費 435 人、未申請弔慰金 79 人）であった。環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 87 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 11 人、岐阜県羽島市 3 人、大阪府泉南地域等 5 人、兵庫県尼崎市 51 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 1 人、北九州市門司区 14 人、佐賀県鳥栖市 2 人であった。

全地域のばく露分類 87 人の内訳は（ア）37 人、（イ）2 人、（ウ）1 人、（エ）47 人であった。延べ居住者数が最も多かった兵庫県尼崎市 51 人のばく露分類の内訳は、（ア）18 人、（イ）1 人、（ウ）0 人、（エ）32 人であった。

#### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者（表 I-7-2）

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 254 人であった。環境省石綿健康リスク調査関連地域等に居住歴がある者は延べ 13 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 2 人、大阪府泉南地域等 2 人、兵庫県尼崎市 3 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 1 人、北九州市門司区 5 人であった。

全地域のばく露分類 13 人の内訳は（ア）7 人、（イ）0 人、（ウ）0 人、（エ）6 人であった。

表 I-7-1. 平成24年度石綿の健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者) (人)

疾病 地域名	分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計		
		男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女		計	
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計												
横浜市 鶴見区	(ア)	3	2	5				5	1		1								6
	(イ)																		
	(ウ)																		
	(エ)	1		1	2	2	4	5											5
	計	4	2	6	2	2	4	10	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	11
羽島市	(ア)	1		1				1											1
	(イ)				1		1	1											1
	(ウ)																		
	(エ)				1		1	1											1
	計	1	0	1	2	0	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
大阪府 泉南地域	(ア)								1		1	1							2
	(イ)																		
	(ウ)																		
	(エ)	1		1	1	1	2	3											3
	計	1	0	1	1	1	2	3	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	5
尼崎市	(ア)	10		10	1	1	2	12	4		4				2		2		18
	(イ)				1		1	1											1
	(ウ)																		
	(エ)	13	1	14	12	1	13	27	2	3	5								32
	計	23	1	24	14	2	16	40	6	3	9	0	0	0	2	0	2		51
王寺町・ 斑鳩町	(ア)																		
	(イ)																		
	(ウ)																		
	(エ)				1		1	1											1
	計	0	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
北九州市 門司区	(ア)	5	2	7				7	2		2								9
	(イ)																		
	(ウ)	1		1				1											1
	(エ)				4		4	4											4
	計	6	2	8	4	0	4	12	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	14
鳥栖市	(ア)				1		1	1											1
	(イ)																		
	(ウ)																		
	(エ)				1		1	1											1
	計	0	0	0	2	0	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
合計	(ア)	19	4	23	2	1	3	26	8		8	1		1	2		2		37
	(イ)			0	2		2	2			0			0			0		2
	(ウ)	1		1			0	1			0			0			0		1
	(エ)	15	1	16	22	4	26	42	2	3	5			0			0		47
	合計	35	5	40	26	5	31	71	10	3	13	1	0	1	2	0	2		87



表 I-7-2. 平成24年度石綿の健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者） (人)

地域名	疾病 分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
横浜市 鶴見区	(ア)		1	1				1				1		1				2
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)																	
	計	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	2
羽島市	(ア)																	
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)																	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大阪府 泉南地域	(ア)	1	1	2				2										2
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)																	
	計	1	1	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
尼崎市	(ア)	1		1				1										1
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)				1	1	2	2										2
	計	1	0	1	1	1	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
王寺町・ 斑鳩町	(ア)																	
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)		1	1				1										1
	計	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
北九州市 門司区	(ア)	1	1	2				2										2
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)	1	1	2		1	1	3										3
	計	2	2	4	0	1	1	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
鳥栖市	(ア)																	
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)																	
	計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	(ア)	3	3	6			0	6			0	1		1			0	7
	(イ)			0			0	0			0			0			0	0
	(ウ)			0			0	0			0			0			0	0
	(エ)	1	2	3	1	2	3	6			0			0			0	6
	合計	4	5	9	1	2	3	12	0	0	0	1	0	1	0	0	0	13

## 2-2. 累計（平成18年度～平成24年度）

### （1）被認定者及び調査対象者

#### 集計方法

累計被認定者について、支給種別（医療費、未申請弔慰金、施行前弔慰金）、性別、認定疾病別（中皮腫、肺がん、石綿肺、びまん性胸膜肥厚）、アンケートの有無別に集計を行った。中皮腫については、疾病部位別（胸膜、その他）に集計を行った。

#### 結果

##### ① 被認定者について（表Ⅱ-1-1）

累計の被認定者の総数は8,647人であった。支給種別にみると医療費被認定者が4,679人、未申請弔慰金被認定者448人、施行前弔慰金被認定者が3,520人であった。

認定疾病内訳は中皮腫が7,484人、肺がんが1,061人、石綿肺が52人、びまん性胸膜肥厚が50人であった。さらに支給種別の認定疾病内訳をみると、医療費被認定者4,679人のうち中皮腫3,794人、肺がん830人、石綿肺16人、びまん性胸膜肥厚39人であり、未申請弔慰金被認定者448人のうち中皮腫358人、肺がん88人、石綿肺1人、びまん性胸膜肥厚1人であり、施行前弔慰金被認定者3,520人のうち中皮腫3,332人、肺がん143人、石綿肺35人、びまん性胸膜肥厚10人であった。

性別内訳は、男性6,703人、女性1,944人であった。男性の認定疾病内訳は、中皮腫5,588人、肺がん1,020人、石綿肺50人、びまん性胸膜肥厚45人であり、女性の認定疾病別内訳は、中皮腫1,896人、肺がん41人、石綿肺2人、びまん性胸膜肥厚5人であった。

なお、年度別の被認定者数は、表Ⅱ-1-3のとおりである。

##### ② 調査対象者（表Ⅱ-1-1、表Ⅱ-1-2）

他法令による給付に係る認定があったことを、被認定者、ご家族又は他法令による給付の実施機関からの連絡等により平成26年1月7日時点で機構が把握していた場合、以降の集計対象から除外した。被認定者のうち、他法令による給付に係る認定を受けたことを確認した者を除く被認定者（以下「調査対象者」という。）の総数は7,214人であった。支給種別にみると医療費調査対象者3,529人、未申請弔慰金調査対象者404人、施行前弔慰金調査対象者3,281人であった。

調査対象者について認定時の疾病別にみると、中皮腫が6,322人、肺がんが793人、石綿肺が50人、びまん性胸膜肥厚が49人であった。さらに支給種別にみると、医療費調査対象者のうち中皮腫2,870人、肺がん605人、石綿肺が16人、びまん性胸膜肥厚が38人であり、未申請弔慰金調査対象者のうち中皮腫331人、肺がん71人、石綿肺が1人、びまん性胸膜肥厚が1人であり、施行前弔慰金調査対象者のうち中皮腫3,121人、肺がん117

人、石綿肺が 33 人、びまん性胸膜肥厚が 10 人であった。

③ アンケート回答者（表Ⅱ－１－２）

調査対象者の総数 7,214 人に対し、アンケート回答者の合計は 6,242 人で回答率は 86.5% であった。支給種別にみると、医療費調査対象者 3,529 人のうちアンケート回答者は 2,889 人（回答率 81.9%）、未申請弔慰金調査対象者 404 人のうちアンケート回答者は 324 人（回答率 80.2%）、施行前弔慰金調査対象者 3,281 人のうちアンケート回答者は 3,029 人（回答率 92.3%）であった。

④ 疾病部位別集計（表Ⅱ－１－２）

累計の中皮腫調査対象者について、その発症部位が胸膜の者 4,763 人、その他の者 1,559 人（腹膜、心膜、精巣鞘膜ほか）であった。うち、アンケート回答者は胸膜の者 4,108 人、その他の者 1,384 人であった。

対象者概念図

累計被認定者 (8,647 人)	
調査対象者 (7,214 人)	
アンケート回答者 (6,242 人)	
アンケート未回答者 (972 人)	
他法令でも認定 (1,433 人)	

表Ⅱ-1-1. 平成18～24年度累計 被認定者数及び調査対象者数

(人)

疾病		医療費			未申請弔慰金			施行前弔慰金			合計		
		男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	合計
中皮腫	被認定者数	2,923	871	3,794	272	86	358	2,393	939	3,332	5,588	1,896	7,484
	調査対象者数	2,049	821	2,870	247	84	331	2,198	923	3,121	4,494	1,828	6,322
	調査対象者率	70.1%	94.3%	75.6%	90.8%	97.7%	92.5%	91.9%	98.3%	93.7%	80.4%	96.4%	84.5%
肺がん	被認定者数	795	35	830	85	3	88	140	3	143	1,020	41	1,061
	調査対象者数	573	32	605	69	2	71	114	3	117	756	37	793
	調査対象者率	72.1%	91.4%	72.9%	81.2%	66.7%	80.7%	81.4%	100.0%	81.8%	74.1%	90.2%	74.7%
石綿肺	被認定者数	15	1	16	1		1	34	1	35	50	2	52
	調査対象者数	15	1	16	1		1	32	1	33	48	2	50
	調査対象者率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	94.1%	100.0%	94.3%	96.0%	100.0%	96.2%
胸び膜ま 肥ん 厚性	被認定者数	35	4	39	1		1	9	1	10	45	5	50
	調査対象者数	34	4	38	1		1	9	1	10	44	5	49
	調査対象者率	97.1%	100.0%	97.4%	100.0%		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	97.8%	100.0%	98.0%
合計	被認定者数	3,768	911	4,679	359	89	448	2,576	944	3,520	6,703	1,944	8,647
	調査対象者数	2,671	858	3,529	318	86	404	2,353	928	3,281	5,342	1,872	7,214
	調査対象者率	70.9%	94.2%	75.4%	88.6%	96.6%	90.2%	91.3%	98.3%	93.2%	79.7%	96.3%	83.4%

表Ⅱ-1-2. 累計調査対象者数及びアンケート回答者数

(人)

疾病	部位		医療費			未申請弔慰金			施行前弔慰金			合計		
			男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
中皮腫	胸膜	調査対象者数	1,862	690	2,552	207	65	272	1,435	504	1,939	3,504	1,259	4,763
		アンケート回答者	1,529	558	2,087	166	55	221	1,324	476	1,800	3,019	1,089	4,108
		回答率	82.1%	80.9%	81.8%	80.2%	84.6%	81.3%	92.3%	94.4%	92.8%	86.2%	86.5%	86.2%
	その他	調査対象者数	187	131	318	40	19	59	763	419	1,182	990	569	1,559
		アンケート回答者	154	104	258	29	17	46	690	390	1,080	873	511	1,384
		回答率	82.4%	79.4%	81.1%	72.5%	89.5%	78.0%	90.4%	93.1%	91.4%	88.2%	89.8%	88.8%
	計	調査対象者数	2,049	821	2,870	247	84	331	2,198	923	3,121	4,494	1,828	6,322
		アンケート回答者	1,683	662	2,345	195	72	267	2,014	866	2,880	3,892	1,600	5,492
		回答率	82.1%	80.6%	81.7%	78.9%	85.7%	80.7%	91.6%	93.8%	92.3%	86.6%	87.5%	86.9%
肺がん	調査対象者数	573	32	605	69	2	71	114	3	117	756	37	793	
	アンケート回答者数	463	29	492	53	2	55	105	3	108	621	34	655	
	回答率	80.8%	90.6%	81.3%	76.8%	100.0%	77.5%	92.1%	100.0%	92.3%	82.1%	91.9%	82.6%	
石綿肺	調査対象者数	15	1	16	1		1	32	1	33	48	2	50	
	アンケート回答者数	15	1	16	1		1	31	1	32	47	2	49	
	回答率	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%		100.0%	96.9%	100.0%	97.0%	97.9%	100.0%	98.0%	
胸び膜ま 肥ん 厚性	調査対象者数	34	4	38	1		1	9	1	10	44	5	49	
	アンケート回答者数	32	4	36	1		1	8	1	9	41	5	46	
	回答率	94.1%	100.0%	94.7%	100.0%		100.0%	88.9%	100.0%	90.0%	93.2%	100.0%	93.9%	
合計	調査対象者数	2,671	858	3,529	318	86	404	2,353	928	3,281	5,342	1,872	7,214	
	アンケート回答者数	2,193	696	2,889	250	74	324	2,158	871	3,029	4,601	1,641	6,242	
	回答率	82.1%	81.1%	81.9%	78.6%	86.0%	80.2%	91.7%	93.9%	92.3%	86.1%	87.7%	86.5%	

表Ⅱ-1-3. 年度別被認定者数

(人)

年度	医療費			未申請弔慰金			施行前弔慰金			合計			
	認定疾病	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
平成18年度													
中皮腫	448	179	627				1,128	410	1,538	1,576	589	2,165	
肺がん	167	5	172				51	1	52	218	6	224	
石綿肺													
びまん性胸膜肥厚													
計	615	184	799				1,179	411	1,590	1,794	595	2,389	
平成19年度													
中皮腫	418	107	525				215	64	279	633	171	804	
肺がん	111	6	117				40	1	41	151	7	158	
石綿肺													
びまん性胸膜肥厚													
計	529	113	642				255	65	320	784	178	962	
平成20年度													
中皮腫	434	132	566	5		5	327	131	458	766	263	1,029	
肺がん	137	5	142	2		2	28		28	167	5	172	
石綿肺													
びまん性胸膜肥厚													
計	571	137	708	7		7	355	131	486	933	268	1,201	
平成21年度													
中皮腫	364	97	461	87	24	111	427	192	619	878	313	1,191	
肺がん	106	7	113	26	1	27	8	1	9	140	9	149	
石綿肺													
びまん性胸膜肥厚													
計	470	104	574	113	25	138	435	193	628	1,018	322	1,340	
平成22年度													
中皮腫	420	113	533	50	18	68	47	19	66	517	150	667	
肺がん	93	3	96	22	1	23	9		9	124	4	128	
石綿肺	4	1	5				23	1	24	27	2	29	
びまん性胸膜肥厚	9		9				6	1	7	15	1	16	
計	526	117	643	72	19	91	85	21	106	683	157	840	
平成23年度													
中皮腫	383	115	498	55	19	74	45	19	64	483	153	636	
肺がん	90	2	92	19	1	20	2		2	111	3	114	
石綿肺	4		4				5		5	9	0	9	
びまん性胸膜肥厚	12	4	16				2		2	14	4	18	
計	489	121	610	74	20	94	54	19	73	617	160	777	
平成24年度													
中皮腫	456	128	584	75	25	100	204	104	308	735	257	992	
肺がん	91	7	98	16		16	2		2	109	7	116	
石綿肺	7		7	1		1	6		6	14		14	
びまん性胸膜肥厚	14		14	1		1	1		1	16		16	
計	568	135	703	93	25	118	213	104	317	874	264	1,138	

## (2) 年齢別集計

### 集計方法

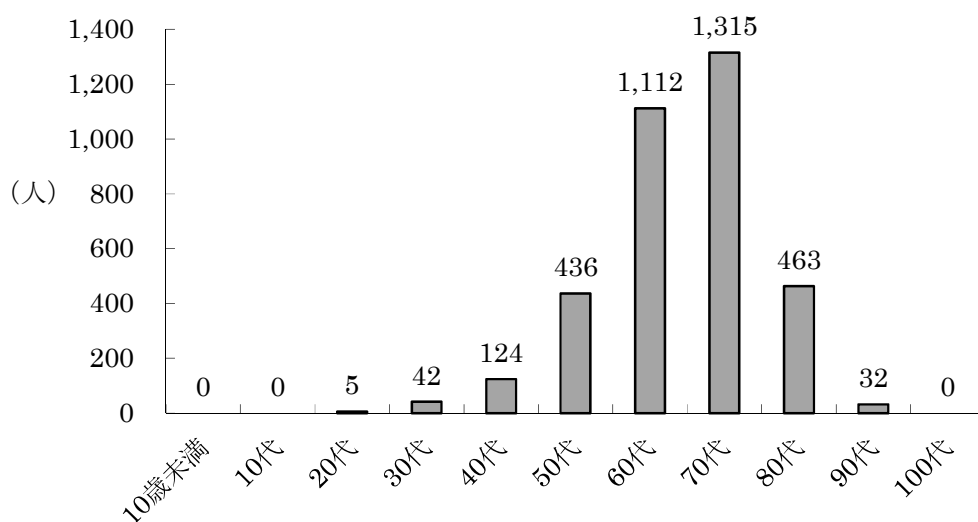
累計調査対象者について、年齢別集計を支給種別（医療費、未申請弔慰金、施行前弔慰金）に行った。医療費調査対象者は申請時の年齢を、弔慰金調査対象者は死亡時の年齢を用いて集計した。

### 結果

#### ① 医療費調査対象者の申請時年齢（図Ⅱ-2-1、表Ⅱ-2-1）

累計の医療費調査対象者の平均申請時年齢は 68.8 歳（中央値 70 歳）であった。疾病別の平均では、中皮腫平均は 68.0 歳（中央値 69 歳）、肺癌平均は 72.3 歳（中央値 73 歳）、石綿肺平均は 74.9 歳（中央値 75 歳）、びまん性胸膜肥厚平均は 72.7 歳（中央値 74 歳）であった。

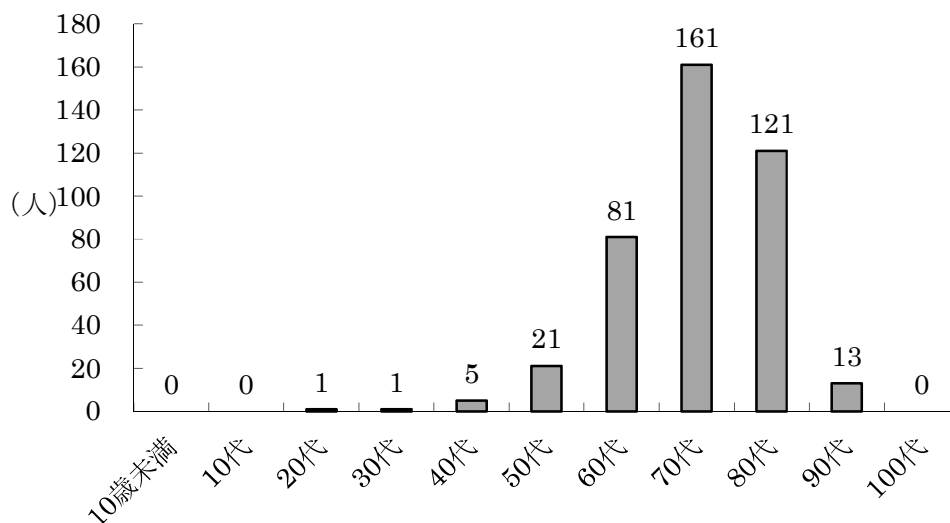
図Ⅱ-2-1. 累計調査対象者の申請時年齢分布（医療費）



#### ② 未申請弔慰金調査対象者の死亡時年齢（図Ⅱ-2-2、表Ⅱ-2-2）

累計の未申請弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は 74.5 歳（中央値 76 歳）であった。疾病別の平均では、中皮腫平均は 74.2 歳（中央値 76 歳）、肺癌平均は 75.9 歳（中央値 77 歳）、石綿肺平均は 83.0 歳（中央値 83 歳）、びまん性胸膜肥厚平均は 65.0 歳（中央値 65 歳）であった。

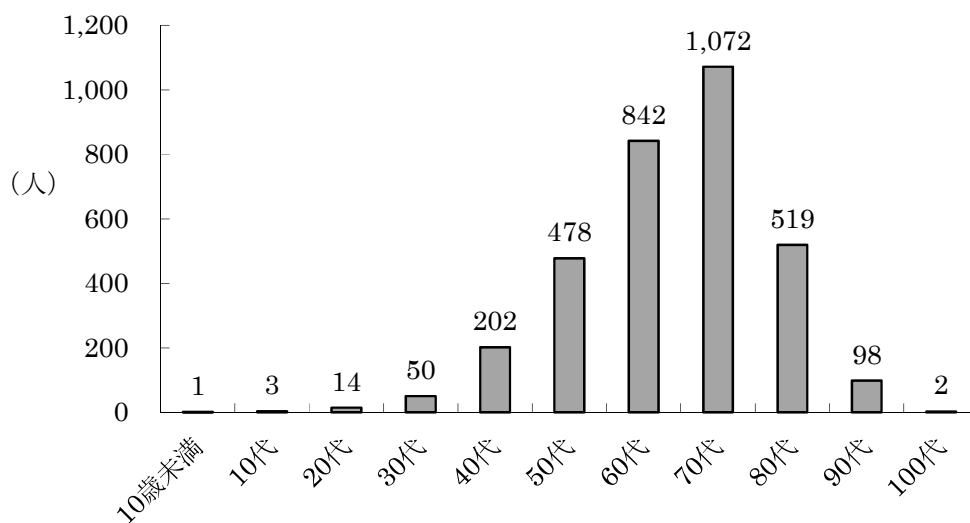
図Ⅱ－２－２．累計調査対象者の死亡時年齢分布（未申請弔慰金）



③ 施行前弔慰金調査対象者の死亡時年齢（図Ⅱ－２－３、表Ⅱ－２－３）

累計の施行前弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は 68.5 歳（中央値 70 歳）であった。疾病別の平均では、中皮腫平均は 68.3 歳（中央値 70 歳）、肺がん平均は 70.1 歳（中央値 71 歳）、石綿肺平均は 75.7 歳（中央値 74 歳）、びまん性胸膜肥厚平均は 80.1 歳（中央値 82 歳）であった。

図Ⅱ－２－３．累計調査対象者の死亡時年齢分布（施行前弔慰金）



表Ⅱ-2-1. 累計調査対象者の申請時年齢別集計 (医療費)

(人)

疾病分類 年齢	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
～9																	
10～19																	
20～29		1	1	2	2	4	5										5
30～39	14	12	26	4	12	16	42										42
40～49	58	19	77	36	10	46	123	1		1							124
50～59	241	30	271	102	28	130	401	33	1	34				1		1	436
60～69	623	69	692	190	40	230	922	171	5	176	2		2	11	1	12	1,112
70～79	682	42	724	233	31	264	988	270	25	295	11	1	12	19	1	20	1,315
80～89	232	13	245	112	8	120	365	92	1	93	1		1	2	2	4	463
90～99	12	1	13	11		11	24	6		6	1		1	1		1	32
100～																	
合計	1,862	187	2,049	690	131	821	2,870	573	32	605	15	1	16	34	4	38	3,529
中央値 (歳)	69	65	69	70	63	69	69	73	74	73	74	77	75	73	79	74	70
平均年齢 (歳)	68.7	63.0	68.2	68.9	60.7	67.6	68.0	72.2	72.9	72.3	74.8	77.0	74.9	72.1	78.0	72.7	68.8

表Ⅱ-2-2. 累計調査対象者の死亡時年齢別集計 (未申請弔慰金)

(人)

疾病分類 年齢	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
～9																	
10～19																	
20～29		1	1				1										1
30～39					1	1	1										1
40～49	2	1	3		2	2	5										5
50～59	11	5	16	2	2	4	20	1		1							21
60～69	41	10	51	14	2	16	67	13		13				1		1	81
70～79	84	15	99	23	8	31	130	31		31							161
80～89	62	8	70	21	4	25	95	24	1	25	1		1				121
90～99	7		7	5		5	12		1	1							13
100～																	
合計	207	40	247	65	19	84	331	69	2	71	1	0	1	1	0	1	404
中央値 (歳)	76	72	75	76	76	76	76	77	88	77	83	0	83	65	0	65	76
平均年齢 (歳)	74.8	70.3	74.0	76.3	68.9	74.7	74.2	75.5	88.0	75.9	83.0	0.0	83.0	65.0	0.0	65.0	74.5

表Ⅱ-2-3. 累計調査対象者の死亡時年齢別集計 (施行前弔慰金)

(人)

疾病分類 年齢	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
～9		1	1				1										1
10～19		1	1		2	2	3										3
20～29	3	4	7	3	4	7	14										14
30～39	17	12	29	9	12	21	50										50
40～49	80	64	144	27	27	54	198	4		4							202
50～59	227	109	336	74	57	131	467	9		9	2		2				478
60～69	405	204	609	107	84	191	800	35		35	6		6	1		1	842
70～79	458	239	697	155	146	301	998	56	1	57	14	1	15	2		2	1,072
80～89	220	107	327	99	68	167	494	9	1	10	8		8	6	1	7	519
90～99	25	22	47	28	19	47	94	1	1	2	2		2				98
100～				2		2	2										2
合計	1,435	763	2,198	504	419	923	3,121	114	3	117	32	1	33	9	1	10	3,281
中央値 (歳)	69	69	69	72	72	72	70	71	84	71	74	77	74	81	83	82	70
平均年齢 (歳)	68.1	67.5	67.9	70.0	68.4	69.3	68.3	69.7	83.0	70.1	75.7	77.0	75.7	79.8	83.0	80.1	68.5



### (3) ばく露分類別集計

#### 集計方法

累計アンケート有効回答者について、下記の(ア)～(エ)にばく露分類を行い、支給種別(医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金)に集計を行った。複数に分類できる場合は、(ア)(イ)(ウ)の順で優先してばく露分類を1つに決定した。

(ア)～(エ)分類の詳細は2～3ページを参照。

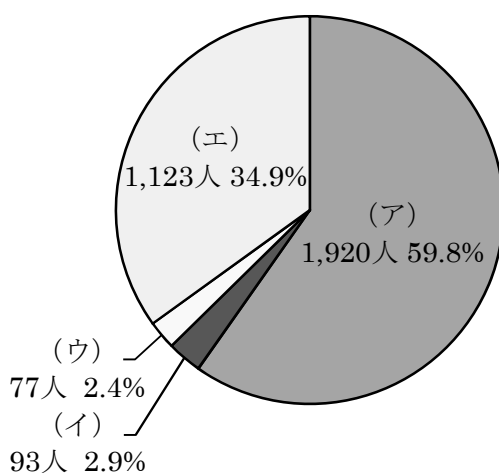
#### 結果

##### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者(表Ⅱ-3-1、図Ⅱ-3-1)

医療費・未申請弔慰金調査対象者3,933人(医療費3,529人、未申請弔慰金404人)のうち、ばく露分類についての有効回答者は3,213人であった。ばく露分類の内訳は、(ア)1,920人(59.8%)、(イ)93人(2.9%)、(ウ)77人(2.4%)、(エ)1,123人(34.9%)であった。

疾病別に内訳を見ると、中皮腫2,612人中、(ア)1,385人、(イ)87人、(ウ)69人、(エ)1,071人で、肺がん547人中、(ア)487人、(イ)6人、(ウ)7人、(エ)47人で、石綿肺17人中、(ア)15人、(イ)0人、(ウ)0人、(エ)2人で、びまん性胸膜肥厚37人中、(ア)33人、(イ)0人、(ウ)1人、(エ)3人であった。

図Ⅱ-3-1. 累計ばく露分類別集計  
(医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)

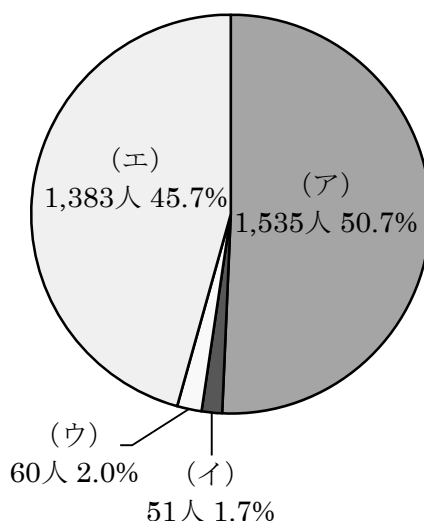


② 施行前弔慰金アンケート有効回答者（表Ⅱ－３－２、図Ⅱ－３－２）

施行前弔慰金調査対象者 3,281 人のうち、ばく露分類についての有効回答者は 3,029 人であった。ばく露分類の内訳は、(ア) 1,535 人 (50.7%)、(イ) 51 人 (1.7%)、(ウ) 60 人 (2.0%)、(エ) 1,383 人 (45.7%) であった。

疾病別に内訳を見ると、中皮腫 2,880 人中、(ア) 1,400 人、(イ) 45 人、(ウ) 60 人、(エ) 1,375 人で、肺がん 108 人中、(ア) 98 人、(イ) 4 人、(ウ) 0 人、(エ) 6 人で、石綿肺 32 人中、(ア) 30 人、(イ) 1 人、(ウ) 0 人、(エ) 1 人で、びまん性胸膜肥厚 9 人中、(ア) 7 人、(イ) 1 人、(ウ) 0 人、(エ) 1 人であった。

図Ⅱ－３－２．累計ばく露分類別集計  
(施行前弔慰金、アンケート有効回答者)



表Ⅱ－３－１．累計ばく露分類別集計（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者） (人)

疾病分類 分類	中皮腫							肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女				計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計												
ア	1,164	101	1,265	103	17	120	1,385	470	17	487	14	1	15	31	2	33	1,920	
イ	12	3	15	61	11	72	87	2	4	6							93	
ウ	37	6	43	20	6	26	69	7		7				1		1	77	
エ	482	73	555	429	87	516	1,071	37	10	47	2		2	1	2	3	1,123	
合計	1,695	183	1,878	613	121	734	2,612	516	31	547	16	1	17	33	4	37	3,213	

表Ⅱ－３－２．累計ばく露分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者） (人)

疾病分類 分類	中皮腫							肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女				計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計												
ア	828	406	1,234	101	65	166	1,400	97	1	98	29	1	30	7		7	1,535	
イ	2	3	5	20	20	40	45	3	1	4	1		1	1		1	51	
ウ	24	13	37	8	15	23	60										60	
エ	470	268	738	347	290	637	1,375	5	1	6	1		1		1	1	1,383	
合計	1,324	690	2,014	476	390	866	2,880	105	3	108	31	1	32	8	1	9	3,029	

#### (4) 職業分類別集計

##### 集計方法

累計調査対象者について、アンケート票の職種に関する回答内容から従事した職業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。職業分類は平成9年度12月改訂版の日本標準職業分類に基づき、中分類までを用いた。

疾病の潜伏期間を考慮し、医療費調査対象者については申請時の10年以前、弔慰金調査対象者については死亡時の10年以前の職歴のみを有効回答として集計対象とした。転職等により異なる職業に複数従事した場合にはそれら全てを集計したため、重複集計となっている。同一の職業に複数回従事した場合には、集約して1回とした。

##### 結果

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（図Ⅱ-4-1、表Ⅱ-4-1、表Ⅱ-4-2）

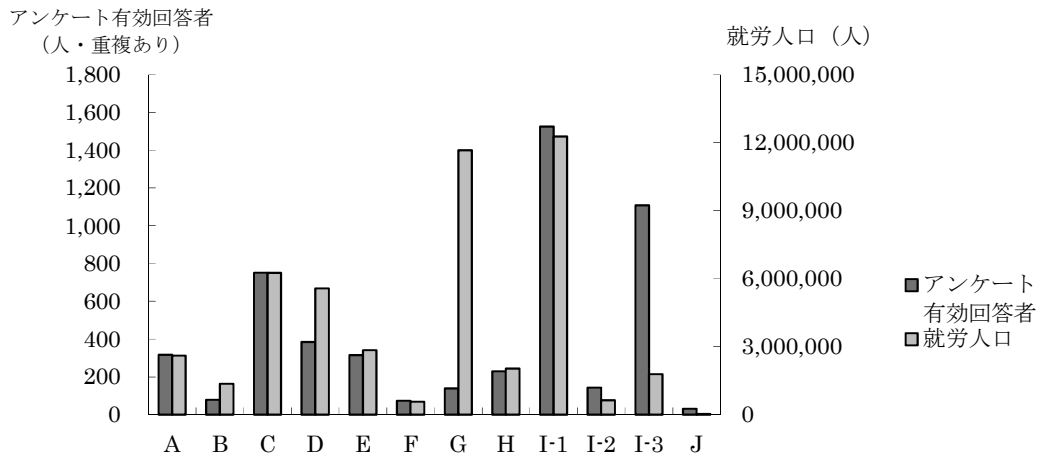
医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者3,213人（医療費2,889人、未申請弔慰金324人）中、職業分類について有効回答を得られたのは2,821人であった。職業従事者は延べ5,101人であり、1人あたり平均1.8回の職歴があった。

大分類では最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」1,525人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」1,108人、「C 事務従事者」752人であった。「I-3 採掘・建設・労務作業者」は、他の職業と比較して就労人口あたりの被認定者割合が高いという結果が得られた。

職業従事者の多かった「I-1 製造・制作作業者」を中分類まで見ると、「I-155 金属加工作業者」230人、「I-159 輸送機械組立・修理作業者」164人が、「I-3 採掘・建設・労務作業者」では「I-377 建設作業者」790人が多かった。

疾病別に見ると、大分類では中皮腫で認定された職業従事者4,131人中、最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」1,226人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」756人、「C 事務従事者」687人であった。肺がんで認定された職業従事者875人中、最も従事者の多い職業は「I-3 採掘・建設・労務作業者」312人であり、次いで「I-1 製造・制作作業者」271人、「C 事務従事者」64人であった。石綿肺で認定された職業従事者は22人、びまん性胸膜肥厚で認定された職業従事者は73人であった。

図Ⅱ－４－１．累計被認定者職業分類分布（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）及び昭和40年の職業分類別就労人口



表Ⅱ－４－１．累計職業分類（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）と年別就労人口 (人)

職業分類	アンケート有効回答者	S40年就労人口	S40年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数	S60年就労人口	S60年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数
A 専門的・技術的職業従事者	317	2,604,830	12.2	6,387,805	5.0
B 管理的職業従事者	79	1,367,955	5.8	2,360,868	3.3
C 事務従事者	752	6,250,955	12.0	10,468,308	7.2
D 販売従事者	385	5,566,555	6.9	8,299,361	4.6
E サービス職業従事者	315	2,845,080	11.1	4,160,050	7.6
F 保安職業従事者	74	572,630	12.9	821,019	9.0
G 農林漁業作業	140	11,661,330	1.2	5,380,403	2.6
H 運輸・通信従事者	230	2,038,345	11.3	2,335,850	9.8
I-1 製造・制作作業	1,525	12,261,075	12.4	11,832,912	12.9
I-2 定置機関運転・建設機械運転・電気作業	144	638,975	22.5	954,278	15.1
I-3 採掘・建設・労務作業	1,108	1,788,015	62.0	5,237,199	21.2
J 分類不能の職業	32	33,635	95.1	98,076	32.6

表Ⅱ-4-2. 累計職業分類別集計（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

職業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
<b>A 専門的・技術的職業従事者</b>																	
A01 科学研究者	6		6				6										6
A02 農林水産業・食品技術者	12	1	13				13	1		1							14
A03 機械・電気技術者	48	2	50	1	1	2	52	10		10							62
A04 鉱工業技術者（機械・電気技術者を除く）	12		12				12	3		3							15
A05 建築・土木・測量技術者	36	3	39				39	3		3							42
A06 情報処理技術者	4	1	5				5										5
A07 その他の技術者	12	1	13	1		1	14	1		1				1		1	16
A08 医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	5	2	7	2	1	3	10	1		1							11
A09 保健師、助産師、看護師				6	1	7	7	1	1	2							9
A10 医療技術者	2	1	3	4		4	7										7
A11 その他の保健医療従事者				2	1	3	3										3
A12 社会福祉専門職業従事者	3		3	5	1	6	9	2		2							11
A13 法務従事者	1		1				1										1
A14 経営専門職業従事者	2		2				2										2
A15 教員	30	7	37	23	3	26	63	1		1				1		1	65
A16 宗教家	2	1	3				3										3
A17 文芸家、記者、編集者	6		6				6										6
A18 美術家、写真家、デザイナー	6	1	7	2		2	9	3		3							12
A19 音楽家、舞台芸術家	2		2	3		3	5										5
A20 その他の専門的職業従事者	11	1	12	5	3	8	20	2		2							22
計	200	21	221	54	11	65	286	28	1	29				2		2	317
<b>B 管理的職業従事者</b>																	
B21 管理的公務員	11	2	13	1		1	14	2		2				1		1	17
B22 会社・団体等役員	23	1	24	2		2	26	5		5							31
B23 会社・団体等管理職員	11		11				11	4		4							15
B24 その他の管理的職業従事者	11	2	13	1	1	2	15							1		1	16
計	56	5	61	4	1	5	66	11		11				2		2	79
<b>C 事務従事者</b>																	
C25 一般事務従事者	204	19	223	195	47	242	465	37	7	44							509
C26 会計事務従事者	14		14	13	3	16	30										30
C27 生産関連事務従事者	5		5	4	1	5	10			3							13
C28 営業・販売事務従事者	92	13	105	19	4	23	128	12		12				1		1	141
C29 外勤事務従事者	3		3	3	1	4	7	1		1							8
C30 運輸・通信事務従事者	30	6	36	3	1	4	40	4		4							44
C31 事務用機器操作員	2	2	4	3		3	7										7
計	350	40	390	240	57	297	687	57	7	64				1		1	752
<b>D 販売従事者</b>																	
D32 商品販売従事者	181	25	206	70	17	87	293	29	4	33	1		1	2	1	3	330
D33 販売類似職業従事者	26	4	30	13	3	16	46	7	1	8				1		1	55
計	207	29	236	83	20	103	339	36	5	41	1		1	3	1	4	385
<b>E サービス職業従事者</b>																	
E34 家庭生活支援サービス職業従事者	1	1	2	7	1	8	10										10
E35 生活衛生サービス従事者	31	1	32	14	2	16	48	2	1	3				1		1	52
E36 飲食物調理従事者	38	3	41	31	6	37	78	3		3				1		1	82
E37 接客・給仕職業従事者	24	6	30	46	10	56	86	4	2	6				1		1	93
E38 居住施設・ビル等管理人	9	1	10	4	2	6	16	3	1	4							20
E39 その他のサービス職業従事者	22	6	28	19	2	21	49	8	1	9							58
計	125	18	143	121	23	144	287	20	5	25				1	2	3	315
<b>F 保安職業従事者</b>																	
F40 自衛官	26	3	29				29	2		2				1		1	32
F41 司法警察職員	10		10				10										10
F42 その他の保安職業従事者	25	1	26	3		3	29	2		2				1		1	32
計	61	4	65	3		3	68	4		4				2		2	74
<b>G 農林漁業作業</b>																	
G43 農業作業	55	8	63	13	3	16	79	23	1	24	1		1	1		1	105
G44 林業作業	8		8				8	3	1	4							12
G45 漁業作業	14	3	17	1		1	18	5		5							23
計	77	11	88	14	3	17	105	31	2	33	1		1	1		1	140
<b>H 運輸・通信従事者</b>																	
H46 鉄道運転従事者	3	1	4				4	1		1							5
H47 自動車運転従事者	107	14	121	2	1	3	124	29		29				2		2	155
H48 船舶・航空機運転従事者	10		10				10	6		6							16
H49 その他の運輸従事者	19	4	23	6	1	7	30	4		4				1		1	35
H50 通信従事者	10		10	6	2	8	18		1	1							19
計	149	19	168	14	4	18	186	40	1	41				3		3	230

表Ⅱ-4-2. 累計職業分類別集計（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

職業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計		
	男			女			計	男	女	計	男	女	計					
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計												
I-1 製造・制作業者																		
I-151	金属材料製造業者	49	4	53	8	8	61	21		21	1		1			83		
I-152	化学製品製造業者	43	4	47	10	1	11	58	14	2	16			1		75		
I-153	窯業製品製造業者	26	2	28	15	2	17	45	17	2	19	1		1	2	68		
I-154	土石製品製造業者	24	4	28	2		2	30	5	2	7			2	1	40		
I-155	金属加工業者	150	11	161	19	3	22	183	40	1	41	2		2	4	230		
I-156	金属溶接・溶断業者	41		41	1		1	42	13		13			1		56		
I-157	一般機械器具組立・修理業者	60	6	66	6		6	72	17		17			2		91		
I-158	電気機械器具組立・修理業者	45	3	48	22	4	26	74	13		13			1		88		
I-159	輸送機械組立・修理業者	111	9	120	5		5	125	37		37			2		164		
I-160	計量計測機器・光学機械器具組立・修理業者	7	2	9	5		5	14								14		
I-161	精穀・製粉・調味食品製造業者	6		6	2		2	8	2		2			1		11		
I-162	食料品製造業者（精穀・製粉・調味食品製造業者を除く）	41	4	45	31	9	40	85	10	1	11					96		
I-163	飲料・たばこ製造業者	1	3	4	4		4	8	2		2					10		
I-164	紡織業者	11	2	13	25	5	30	43	5	1	5	1		1	1	50		
I-165	衣服・繊維製品製造業者	35	3	38	47	4	51	89	14	2	16				1	106		
I-166	木・竹・草・つる製品製造業者	58	9	67	8	1	9	76	17	1	18			2		96		
I-167	パルプ・紙・紙製品製造業者	19	4	23	10	1	11	34	3	1	4					38		
I-168	印刷・製本業者	24	2	26	7	1	8	34	2		2					36		
I-169	ゴム・プラスチック製品製造業者	35	3	38	5	3	8	46	6		6					52		
I-170	革・革製品製造業者	3	2	5	1	2	3	8	1		1					9		
I-171	装身具等身の回り品製造業者	6		6	1		1	7	2		2			1		10		
I-172	その他の製造・制作業者	59	8	67	14	3	17	84	16	2	18					102		
	計	854	85	939	248	39	287	1,226	257	14	271	5		5	19	4	23	1,525
I-2 定置機関運転・建設機械運転・電気業者																		
I-273	定置機関・機械及び建設機械運転業者	24	1	25			25	18		18	1		1	3		3	47	
I-274	電気業者	73	3	76			76	17	1	18				3		3	97	
	計	97	4	101			101	35	1	36	1		1	6		6	144	
I-3 採掘・建設・労務業者																		
I-375	採掘業者	19	1	20	1		1	21	8		8	1		1			30	
I-376	建設躯体工事業者	41	7	48	3		3	51	23		23	1		1	3	3	78	
I-377	建設業者（建設躯体工事業者を除く）	451	37	488	25	4	29	517	241	4	245	10		10	18	18	790	
I-378	土木作業従事者	40	6	46	2		2	48	7		7	1		1	1	1	57	
I-379	運搬労務業者	57	2	59	7	2	9	68	13		13	1		1	2	2	84	
I-380	その他の労務業者	31	1	32	18	1	19	51	12	4	16			2		2	69	
	計	639	54	693	56	7	63	756	304	8	312	14		14	26	26	1,108	
J 分類不能の職業																		
J99	分類不能の職業	21	2	23		1	1	24	8		8						32	
	計	21	2	23		1	1	24	8		8						32	
合計		2,836	292	3,128	837	166	1,003	4,131	831	44	875	22		22	66	7	73	5,101

② 施行前弔慰金アンケート有効回答者（図Ⅱ－４－２、表Ⅱ－４－３、表Ⅱ－４－４）

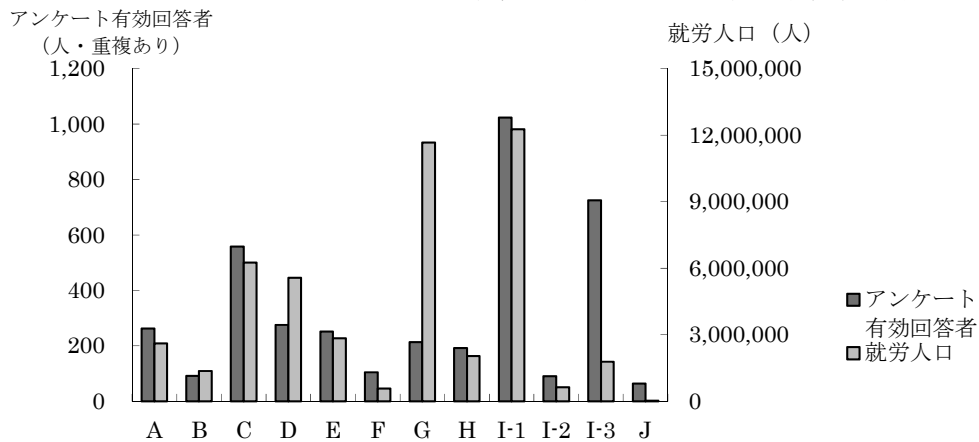
施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 3,029 人中、職業分類について有効回答を得られたのは 2,349 人であった。職業従事者は延べ 3,853 人であり、1 人あたり平均 1.6 回の職歴があった。

大分類では最も従事者の多い職業は「I-1 製造・製作作業」1,023 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業」725 人、「C 事務従事者」558 人であった。「I-3 採掘・建設・労務作業」は、他の職業と比較して就労人口あたりの被認定者割合が高いという結果が得られた。

中分類まで見ると、「I-1 製造・制作作業」では「I-159 輸送機械組立・修理作業」156 人や「I-155 金属加工作業」152 人が、「I-3 採掘・建設・労務作業」では「I-377 建設作業」424 人が多かった。

疾病別に見ると、中皮腫で認定された職業従事者 3,645 人中、最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業」965 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業」645 人、「C 事務従事者」543 人であった。肺がんで認定された職業従事者 162 人中、最も従事者の多い職業は「I-3 採掘・建設・労務作業」63 人であり、次いで「I-1 製造・制作作業」40 人であった。石綿肺で認定された職業従事者は 33 人、びまん性胸膜肥厚で認定された職業従事者は 13 人であった。

図Ⅱ－４－２．累計被認定者職業分類分布（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）及び昭和40年の職業分類別就労人口



表Ⅱ－４－３．累計職業分類（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）と年別就労人口 (人)

職業分類	アンケート有効回答者	S40年就労人口	S40年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数	S60年就労人口	S60年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数
A 専門的・技術的職業従事者	263	2,604,830	10.1	6,387,805	4.1
B 管理的職業従事者	92	1,367,955	6.7	2,360,868	3.9
C 事務従事者	558	6,250,955	8.9	10,468,308	5.3
D 販売従事者	276	5,566,555	5.0	8,299,361	3.3
E サービス職業従事者	251	2,845,080	8.8	4,160,050	6.0
F 保安職業従事者	105	572,630	18.3	821,019	12.8
G 農林漁業作業	213	11,661,330	1.8	5,380,403	4.0
H 運輸・通信従事者	192	2,038,345	9.4	2,335,850	8.2
I-1 製造・制作作業	1,023	12,261,075	8.3	11,832,912	8.6
I-2 定置機関運転・建設機械運転・電気作業	91	638,975	14.2	954,278	9.5
I-3 採掘・建設・労務作業	725	1,788,015	40.5	5,237,199	13.8
J 分類不能の職業	64	33,635	190.3	98,076	65.3



表Ⅱ-4-4. 累計職業分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

職業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計				
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
<b>A 専門的・技術的職業従事者</b>																	
A01	科学研究者	3		3													3
A02	農林水産業・食品技術者	4	5	9													9
A03	機械・電気技術者	19	12	31	1		1										32
A04	鉱工業技術者（機械・電気技術者を除く）	3	3	6													6
A05	建築・土木・測量技術者	18	9	27				2		2							29
A06	情報処理技術者	3	2	5													5
A07	その他の技術者	1		1													1
A08	医師、歯科医師、獣医師、薬剤師	8	3	11													11
A09	保健師、助産師、看護師	1		1	12	9	21										22
A10	医療技術者	1	2	3	1		1										4
A11	その他の保健医療従事者	3		3	3	1	4										7
A12	社会福祉専門職業従事者	1	1	2		1	1										3
A13	法務従事者	1	1	2													2
A14	経営専門職業従事者	2	2	4													4
A15	教員	31	23	54	18	18	36										90
A16	宗教家	2	4	6													6
A17	文芸家、記者、編集者	1	1	2													2
A18	美術家、写真家、デザイナー	7	2	9	3		3										12
A19	音楽家、舞台芸術家	2		2													2
A20	その他の専門的職業従事者	4	5	9	1	3	4										13
	計	115	75	190	39	32	71	261	2		2						263
<b>B 管理的職業従事者</b>																	
B21	管理的公務員	5	7	12				12									12
B22	会社・団体等役員	25	18	43	3	3	6	49	2		2						51
B23	会社・団体等管理職員	10	5	15				15	2		2						17
B24	その他の管理的職業従事者	5	6	11	1		1	12									12
	計	45	36	81	4	3	7	88	4		4						92
<b>C 事務従事者</b>																	
C25	一般事務従事者	133	80	213	81	61	142	355	5		5	1		1		1	362
C26	会計事務従事者	19	6	25	3	1	4	29	1		1						30
C27	生産関連事務従事者	5	1	6		2	2	8	1		1						9
C28	営業・販売事務従事者	78	31	109	3	3	6	115	6		6						121
C29	外勤事務従事者	5	4	9	3		3	12									12
C30	運輸・通信事務従事者	10	7	17	2	2	4	21									21
C31	事務用機器操作員		1	1	1	1	2	3									3
	計	250	130	380	93	70	163	543	13		13	1		1		1	558
<b>D 販売従事者</b>																	
D32	商品販売従事者	86	55	141	49	46	95	236	5		5			1			242
D33	販売類似職業従事者	13	6	19	9	6	15	34									34
	計	99	61	160	58	52	110	270	5		5			1			276
<b>E サービス職業従事者</b>																	
E34	家庭生活支援サービス職業従事者		1	1	3	4	7	8									8
E35	生活衛生サービス従事者	15	5	20	9	10	19	39	1	1	2						41
E36	飲食物調理従事者	29	13	42	11	15	26	68	1	1	2						70
E37	接客・給仕職業従事者	23	13	36	16	21	37	73						1		1	74
E38	居住施設・ビル等管理人	7	8	15	6	2	8	23				1		1			24
E39	その他のサービス職業従事者	9	10	19	6	7	13	32	2		2						34
	計	83	50	133	51	59	110	243	4	2	6	1		1	1	1	251
<b>F 保安職業従事者</b>																	
F40	自衛官	12	8	20				20									20
F41	司法警察職員	9	11	20		1	1	21							1		22
F42	その他の保安職業従事者	41	17	58				58	2		2	2		2	1		63
	計	62	36	98		1	1	99	2		2	2		2	2		105
<b>G 農林漁業作業者</b>																	
G43	農業作業者	65	44	109	26	26	52	161	8	1	9						170
G44	林業作業者	8	6	14				14									14
G45	漁業作業者	18	7	25	3	1	4	29									29
	計	91	57	148	29	27	56	204	8	1	9						213
<b>H 運輸・通信従事者</b>																	
H46	鉄道運転従事者	10	2	12				12									12
H47	自動車運転者	71	29	100	4	1	5	105	3		3						108
H48	船舶・航空機運転従事者	9	6	15		2	2	17	1		1						18
H49	その他の運輸従事者	15	13	28	2	1	3	31									31
H50	通信従事者	12	2	14	4	5	9	23									23
	計	117	52	169	10	9	19	188	4		4						192

表Ⅱ-4-4. 累計職業分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

職業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男			女			計	男	女	計	男	女	計				
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
I-1 製造・制作業者																	
I-151 金属材料製造業者	21	8	29	5	2	7	36	3		3	1		1	1		1	41
I-152 化学製品製造業者	19	15	34	7		7	41	1		1	1		1	1		1	44
I-153 薬業製品製造業者	33	10	43	7	5	12	55	7		7							62
I-154 土石製品製造業者	8	7	15	2	3	5	20	1		1	2	1	3				24
I-155 金属加工業者	86	45	131	9	7	16	147	4		4	1		1				152
I-156 金属溶接・溶断業者	13	7	20	1	2	3	23				1		1	1		1	25
I-157 一般機械器具組立・修理業者	31	4	35	2	3	5	40	6		6	1		1				47
I-158 電気機械器具組立・修理業者	20	6	26	6	8	14	40	1		1	1		1				42
I-159 輸送機械組立・修理業者	86	46	132	11	8	19	151	4		4	1		1				156
I-160 計量計測機器・光学機械器具組立・修理業者	4	1	5	1	2	3	8										8
I-161 精穀・製粉・調味食品製造業者	3	4	7		1	1	8	1		1							9
I-162 食料品製造業者（精穀・製粉・調味食品製造業者を除く）	28	16	44	11	13	24	68				1		1				69
I-163 飲料・たばこ製造業者	2	2	4		1	1	5	2		2							7
I-164 紡織業者	15	9	24	20	20	40	64	1		1							65
I-165 衣服・繊維製品製造業者	16	9	25	16	16	32	57	1		1							58
I-166 木・竹・草・つる製品製造業者	36	22	58	2	3	5	63	3		3	1		1				67
I-167 パルプ・紙・紙製品製造業者	8	4	12	1	4	5	17	1		1	1		1				19
I-168 印刷・製本業者	13	7	20	3	1	4	24	1		1							25
I-169 ゴム・プラスチック製品製造業者	4	2	6	10	4	14	20										20
I-170 革・革製品製造業者	3	2	5	2	1	3	8										8
I-171 装身具等身の回り品製造業者	2	1	3		2	2	5										5
I-172 その他の製造・制作業者	32	15	47	7	11	18	65	3		3	1		1	1		1	70
計	483	242	725	123	117	240	965	40		40	13	1	14	4		4	1,023
I-2 定置機関運転・建設機械運転・電気業者																	
I-273 定置機関・機械及び建設機械運転業者	20	10	30				30	5		5							35
I-274 電気業者	35	12	47	1	1	2	49	6		6	1		1				56
計	55	22	77	1	1	2	79	11		11	1		1				91
I-3 採掘・建設・労務業者																	
I-375 採掘業者	22	9	31	2		2	33	2	1	3	1		1				37
I-376 建設躯体工事業者	29	12	41				41	1		1							42
I-377 建設業者（建設躯体工事業者を除く）	219	121	340	14	8	22	362	49		49	11		11	2		2	424
I-378 土木作業従事者	40	22	62	3	3	6	68	2		2							70
I-379 運搬労務業者	43	24	67	4	2	6	73	4		4	1		1	1		1	79
I-380 その他の労務業者	26	12	38	18	12	30	68	4		4	1		1				73
計	379	200	579	41	25	66	645	62	1	63	14		14	3		3	725
J 分類不能の職業																	
J99 分類不能の職業	35	13	48	7	5	12	60	3		3				1		1	64
計	35	13	48	7	5	12	60	3		3				1		1	64
合計	1,814	974	2,788	456	401	857	3,645	158	4	162	32	1	33	12	1	13	3,853

## (5) 産業分類別集計

### 集計方法

累計調査対象者について、アンケート回答者の所属した事業所（企業）名を産業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。産業分類は、平成 14 年度 3 月改訂版の日本標準産業分類に基づき、基本的には大分類で分類した。ただし、E 建設業・F 製造業については中分類まで分類し、集計を行った。

疾病の潜伏期間を考慮し、医療費アンケート有効回答者については申請時の 10 年以前、弔慰金アンケート有効回答者については死亡時の 10 年以前に所属した事業所（企業）のみを有効回答として集計対象とした。転職等により異なる産業に分類される事業所が 1 人につき複数あった場合、重複して集計した。

### 結果

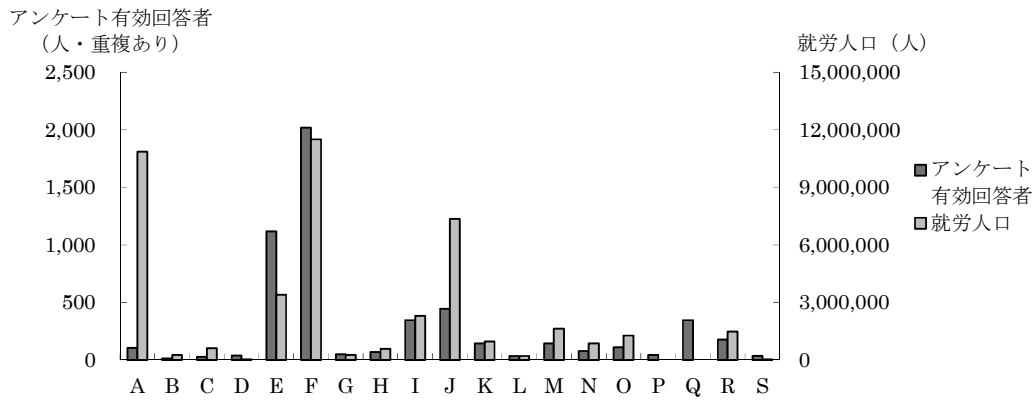
#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（図Ⅱ-5-1、表Ⅱ-5-1、表Ⅱ-5-2）

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 3,213 人（医療費 2,889 人、未申請弔慰金 324 人）中、産業分類について有効回答を得られたのは 2,820 人であった。産業分類別従事者は延べ 5,347 人であり、1 人あたり平均 1.9 個の産業に分類された。

大分類では最も従事者の多い産業は「F 製造業」2,018 人であり、次いで「E 建設業」1,118 人、「J 卸売・小売業」446 人であった。「F 製造業」の中分類では、「F25 金属製品製造業」293 人や「F30 輸送用機械器具製造業」209 人、「F09 食料品製造業」150 人、「F17 化学工業」138 人が多かった。「D 鉱業」は、他の産業と比較して就労人口あたりの被認定者割合が高いという結果が得られた。

疾病別に見ると、中皮腫で認定された産業分類別従事者 4,295 人中、最も従事者の多い産業は「F 製造業」1,623 人であり、次いで「E 建設業」764 人、「J 卸売・小売業」394 人であった。肺がんで認定された産業分類別従事者 952 人中、最も従事者の多い産業は「F 製造業」359 人で、次いで「E 建設業」313 人、「I 運輸業」64 人であった。石綿肺で認定された産業分類別従事者は 25 人、びまん性胸膜肥厚で認定された産業分類別従事者は 75 人であった。

図Ⅱ-5-1. 累計産業分類分布（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）及び昭和40年の産業分類別就労人口



表Ⅱ-5-1. 累計産業分類（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）と年別就労人口 (人)

産業分類	アンケート有効回答者	S40年就労人口	S40年就労人口10万人あたりのアンケート有効回答者数	S60年就労人口	S60年就労人口10万人あたりのアンケート有効回答者数
A 農業	106	10,857,245	1.0	4,858,010	2.2
B 林業	14	265,050	5.3	143,526	9.8
C 漁業	29	615,655	4.7	424,062	6.8
D 鉱業	39	33,240	117.3	98,270	39.7
E 建設業	1,118	3,402,965	32.9	5,295,011	21.1
F 製造業	2,018	11,507,205	17.5	13,652,022	14.8
G 電気・ガス・熱供給・水道業	49	265,575	18.5	333,736	14.7
H 情報通信業	69	577,930	11.9	1,201,324	5.7
I 運輸業	346	2,306,540	15.0	2,898,638	11.9
J 卸売・小売業	446	7,355,500	6.1	10,791,941	4.1
K 金融・保険業	143	959,345	14.9	1,742,479	8.2
L 不動産業	35	201,340	17.4	491,288	7.1
M 飲食店、宿泊業	143	1,644,495	8.7	2,636,998	5.4
N 医療、福祉	76	868,390	8.8	2,589,388	2.9
O 教育、学習支援業	112	1,274,875	8.8	1,958,312	5.7
P 複合サービス事業	44	※		※	
Q サービス業（他に分類されないもの）	346	※		※	
R 公務（他に分類されないもの）	178	1,483,755	12.0	2,060,958	8.6
S 分類不能の産業	36	30,065	119.7	99,489	36.2

※昭和40年及び昭和60年と現在の産業分類が異なるため、掲出せず

表Ⅱ-5-2. 累計産業分類別集計 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

産業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
	男		女				計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
	胸膜	その他	胸膜	その他	小計												
A 農業																	
計	58	8	66	13	3	16	82	21	1	22	1		1	1		1	106
B 林業																	
計	11		11	1		1	12	1	1	2							14
C 漁業																	
計	16	3	19	1		1	20	9		9							29
D 鉱業																	
計	29	1	30	1		1	31	7		7	1		1				39
E 建設業																	
E06 総合工事業	139	7	146	22	3	25	171	60	1	61	3		3	4		4	239
E07 職別工事業(設備工事業を除く)	336	30	366	23	9	32	398	160	4	164	7		7	15		15	584
E08 設備工事業	175	10	185	9	1	10	195	87	1	88	4		4	8		8	295
計	650	47	697	54	13	67	764	307	6	313	14		14	27		27	1,118
F 製造業																	
F09 食品品製造業	70	9	79	38	12	50	129	17	3	20				1		1	150
F10 飲料・たばこ・飼料製造業	4	5	9	7		7	16	3		3							19
F11 繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)	28	6	34	42	6	48	82	17		17	1		1		1	1	101
F12 衣服・その他の繊維製品製造業	29	1	30	40	7	47	77	11	2	13			1	1		2	92
F13 木材・木製品製造業(家具を除く)	45	4	49	7	2	9	58	9	1	10							68
F14 家具・装備品製造業	22	3	25	3		3	28	10		10			2			2	40
F15 パルプ・紙・紙加工品製造業	27	4	31	14	3	17	48	4	3	7							55
F16 印刷・同関連業	35	4	39	10	1	11	50	2		2							52
F17 化学工業	73	6	79	26	7	33	112	23	2	25			1		1	1	138
F18 石油製品・石炭製品製造業	6	2	8	1		1	9	1		1							10
F19 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	21	3	24	4	1	5	29	4		4							33
F20 ゴム製品製造業	18	2	20	9	2	11	31	10		10							41
F21 なめし革・同製品・毛皮製造業	5	1	6	1	2	3	9	1		1							10
F22 窯業・土石製品製造業	58	6	64	24	1	25	89	33	5	38	2		2	4	2	6	135
F23 鉄鋼業	68	5	73	16		16	89	38		38			1			1	128
F24 非鉄金属製造業	15	1	16	7	1	8	24	3	1	4							28
F25 金属製品製造業	182	14	196	34	10	44	240	46	2	48			3	2		2	293
F26 一般機械器具製造業	83	6	89	14		14	103	26	1	27	1		1	5		5	136
F27 電気機械器具製造業	75	7	82	28	6	34	116	17	1	18			2			2	136
F28 情報通信機械器具製造業	7	1	8	2	1	3	11	4		4							15
F29 電子部品・デバイス製造業	11		11	10	1	11	22	1		1							23
F30 輸送用機械器具製造業	133	10	143	16	2	18	161	43	2	45			3		3	3	209
F31 精密機械器具製造業	16	3	19	10	1	11	30	2		2			1			1	33
F32 その他の製造業	39	4	43	14	3	17	60	11		11			2			2	73
計	1,070	107	1,177	377	69	446	1,623	336	23	359	7		7	25	4	29	2,018
G 電気・ガス・熱供給・水道業																	
計	25	5	30	5	2	7	37	10	1	11				1		1	49
H 情報通信業																	
計	40	2	42	16	4	20	62	6	1	7							69
I 運輸業																	
計	217	25	242	31	5	36	278	64		64				4		4	346
J 卸売・小売業																	
計	224	29	253	115	26	141	394	44	4	48			3	1	4	4	446
K 金融・保険業																	
計	68	8	76	44	13	57	133	9	1	10							143
L 不動産業																	
計	17	2	19	7	1	8	27	8		8							35
M 飲食店、宿泊業																	
計	57	11	68	53	11	64	132	9	2	11							143
N 医療、福祉																	
計	22	4	26	33	11	44	70	5		5				1	1	1	76
O 教育、学習支援業																	
計	56	8	64	33	8	41	105	6		6			1		1	1	112
P 複合サービス事業																	
計	28	2	30	8	2	10	40	3	1	4							44
Q サービス業(他に分類されないもの)																	
計	177	21	198	87	19	106	304	31	4	35	2		2	4	1	5	346
R 公務(他に分類されないもの)																	
計	109	10	119	26	8	34	153	22	1	23				2		2	178
S 分類不能の産業																	
計	20	4	24	3	1	4	28	8		8							36
合計	2,894	297	3,191	908	196	1,104	4,295	906	46	952	25		25	68	7	75	5,347

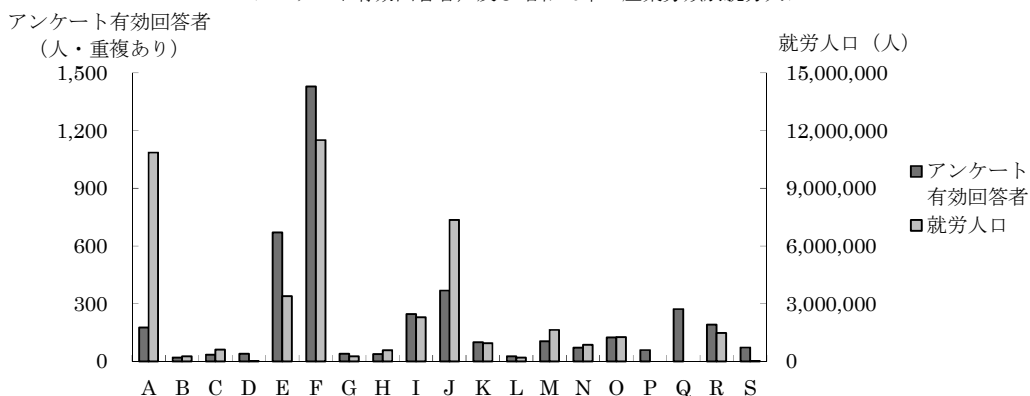
② 施行前弔慰金アンケート有効回答者（図Ⅱ－５－２、表Ⅱ－５－３、表Ⅱ－５－４）

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 3,029 人中、産業分類について有効回答を得られたのは 2,389 人であった。産業分類別従事者は延べ 4,090 人であり、1 人あたり平均 1.7 個の産業に分類された。

大分類では最も従事者の多い産業は「F 製造業」1,430 人であり、次いで「E 建設業」671 人、「J 卸売・小売業」369 人であった。「F 製造業」の中分類では、「F30 輸送用機械器具製造業」179 人や「F25 金属製品製造業」168 人、「F09 食料品製造業」117 人が多かった。「D 鉱業」は、他の産業と比較して就労人口あたりの被認定者割合が高いという結果が得られた。

疾病別に見ると、中皮腫で認定された産業分類別従事者 3,874 人中、最も従事者の多い産業は「F 製造業」1,356 人であり、次いで「E 建設業」598 人、「J 卸売・小売業」358 人であった。肺がんで認定された産業分類別従事者 164 人中、最も従事者の多い産業は「E 建設業」58 人であり、次いで「F 製造業」52 人であった。石綿肺で認定された産業分類別従事者は 38 人、びまん性胸膜肥厚で認定された産業分類別従事者は 14 人であった。

図Ⅱ－５－２．累計産業分類分布（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）及び昭和40年の産業分類別就労人口



表Ⅱ-5-3. 累計産業分類（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）と年別就労人口

(人)

産業分類	アンケート有効回答者	S40年就労人口	S40年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数	S60年就労人口	S60年就労人口 10万人あたりの アンケート有効回答者数
A 農業	176	10,857,245	1.6	4,858,010	3.6
B 林業	20	265,050	7.5	143,526	13.9
C 漁業	35	615,655	5.7	424,062	8.3
D 鉱業	40	33,240	120.3	98,270	40.7
E 建設業	671	3,402,965	19.7	5,295,011	12.7
F 製造業	1,430	11,507,205	12.4	13,652,022	10.5
G 電気・ガス・熱供給・水道業	40	265,575	15.1	333,736	12.0
H 情報通信業	39	577,930	6.7	1,201,324	3.2
I 運輸業	246	2,306,540	10.7	2,898,638	8.5
J 卸売・小売業	369	7,355,500	5.0	10,791,941	3.4
K 金融・保険業	100	959,345	10.4	1,742,479	5.7
L 不動産業	27	201,340	13.4	491,288	5.5
M 飲食店、宿泊業	105	1,644,495	6.4	2,636,998	4.0
N 医療、福祉	71	868,390	8.2	2,589,388	2.7
O 教育、学習支援業	124	1,274,875	9.7	1,958,312	6.3
P 複合サービス事業	59	※		※	
Q サービス業（他に分類されないもの）	273	※		※	
R 公務（他に分類されないもの）	192	1,483,755	12.9	2,060,958	9.3
S 分類不能の産業	73	30,065	242.8	99,489	73.4

※昭和40年及び昭和60年と現在の産業分類が異なるため、掲出せず

表Ⅱ-5-4. 累計産業分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

産業分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男		女		計	男	女	計	男	女	計	男	女	計		
	胸膜	その他	胸膜	その他												
A 農業																
計	74	41	115	26	27	53	168	7	1	8						176
B 林業																
計	10	9	19		1	1	20									20
C 漁業																
計	18	12	30	4	1	5	35									35
D 鉱業																
計	21	11	32	4		4	36	2	1	3	1		1			40
E 建設業																
E06 総合工事業	73	42	115	6	5	11	126	7		7	5		5	1	1	139
E07 職別工事業(設備工事業を除く)	169	90	259	23	11	34	293	31		31	4		4	1	1	329
E08 設備工事業	115	55	170	7	2	9	179	20		20	3		3	1	1	203
計	357	187	544	36	18	54	598	58		58	12		12	3	3	671
F 製造業																
F09 食料品製造業	52	27	79	18	15	33	112	3	1	4	1		1			117
F10 飲料・たばこ・飼料製造業	9	7	16	5	4	9	25									25
F11 繊維工業(衣服, その他の繊維製品を除く)	34	17	51	28	25	53	104									104
F12 衣服・その他の繊維製品製造業	22	10	32	19	16	35	67	2		2						69
F13 木材・木製品製造業(家具を除く)	29	12	41	4	2	6	47	3		3	1		1			51
F14 家具・装備品製造業	11	10	21		2	2	23	1		1	1		1			25
F15 パルプ・紙・紙加工品製造業	16	8	24	2	7	9	33	3		3	1		1			37
F16 印刷・同関連業	20	11	31	6	3	9	40	1		1						41
F17 化学工業	52	26	78	21	5	26	104	5		5	2		2	1	1	112
F18 石油製品・石炭製品製造業	4	4	8	2		2	10									10
F19 プラスチック製品製造業(別掲を除く)	4	4	8	5	1	6	14									14
F20 ゴム製品製造業	5	4	9	4	5	9	18									18
F21 なめし革・同製品・毛皮製造業	2		2	2	1	3	5									5
F22 窯業・土石製品製造業	52	22	74	11	8	19	93	9		9	2	1	3			105
F23 鉄鋼業	45	21	66	8	7	15	81	5		5	2		2	1	1	89
F24 非鉄金属製造業	13	10	23		2	2	25									25
F25 金属製品製造業	93	43	136	13	13	26	162	5		5	1		1			168
F26 一般機械器具製造業	55	16	71	12	6	18	89	8		8	2		2	1	1	100
F27 電気機械器具製造業	32	12	44	7	9	16	60				1		1			61
F28 情報通信機械器具製造業	2		2	2	1	3	5									5
F29 電子部品・デバイス製造業	1	6	7	5	5	10	17									17
F30 輸送用機械器具製造業	91	48	139	17	14	31	170	5		5	3		3	1	1	179
F31 精密機械器具製造業	6	6	12		3	3	15									15
F32 その他の製造業	19	8	27	4	6	10	37	1		1						38
計	669	332	1,001	195	160	355	1,356	51	1	52	17	1	18	4	4	1,430
G 電気・ガス・熱供給・水道業																
計	20	10	30	5	2	7	37	3		3						40
H 情報通信業																
計	15	11	26	6	7	13	39									39
I 運輸業																
計	143	66	209	18	8	26	235	9		9	1		1	1	1	246
J 卸売・小売業																
計	155	85	240	64	54	118	358	8		8	1		1	2	2	369
K 金融・保険業																
計	39	23	62	23	14	37	99	1		1						100
L 不動産業																
計	16	9	25		2	2	27									27
M 飲食店、宿泊業																
計	38	24	62	20	21	41	103	1		1			1		1	105
N 医療、福祉																
計	20	8	28	25	16	41	69	2		2						71
O 教育、学習支援業																
計	43	29	72	25	25	50	122	1		1				1	1	124
P 複合サービス事業																
計	28	16	44	7	5	12	56	3		3						59
Q サービス業(他に分類されないもの)																
計	127	66	193	32	36	68	261	8	1	9	2		2	1	1	273
R 公務(他に分類されないもの)																
計	97	66	163	14	9	23	186	3		3	2		2	1	1	192
S 分類不能の産業																
計	42	17	59	4	6	10	69	3		3	1		1			73
合計	1,932	1,022	2,954	508	412	920	3,874	160	4	164	37	1	38	11	3	14,090



## (6) 建設業における特定の職歴がある者についての集計

### 集計方法

累計アンケート有効回答者で、産業分類別集計において「E.建設業」に従事歴のある者1,789人（医療費・未申請弔慰金1,118人、施行前弔慰金671人）のうち、より詳細に、特定の職種に従事歴のある者について抽出、集計を行った。

本集計では、アンケート票の職歴についての回答欄に、下記の記載を含むものを「特定の職歴」として抽出対象とした。

- ・ はつり・解体 : 「はつり（ハツリ、斫）」または「解体」を含むもの。
- ・ 左官 : 「左官」を含むもの。
- ・ 築炉 : 「(築) 炉」を含むもの。
- ・ 電気工 : 「電気工」、「電工」、「電気配線」、「電気設備」等を含むもの。
- ・ 塗装 : 「塗装」を含むもの。
- ・ 内装 : 「内装」を含むもの。
- ・ 保温・断熱 : 「保温」、「保冷」または「断熱」を含むもの。
- ・ 大工 : 「大工」を含むもの、型枠は除く。
- ・ 吹き付け : 「吹き付け（吹付、吹付け、吹きつけ）」を含むもの。
- ・ 事務 : 「事務（職）」を含むもの。
- ・ 配管 : 「配管（工）」を含むもの。
- ・ 型枠工 : 「型枠工」、「型枠大工」を含むもの。

なお、同一人物が本件抽出対象の異なる職種に複数従事した場合も集計対象とした。

### 結果

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（表Ⅱ－6）

医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（産業分類「E.建設業」1,118人）については、はつり・解体57人、左官60人、築炉4人、電気工72人、塗装37人、内装64人、保温・断熱29人、大工152人、吹き付け26人、事務34人、配管76人、型枠工10人の計621人であった。

#### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者（表Ⅱ－6）

施行前弔慰金アンケート有効回答者（産業分類「E.建設業」671人）については、はつり・解体44人、左官35人、築炉1人、電気工21人、塗装17人、内装25人、保温・断熱20人、大工93人、吹き付け11人、事務26人、配管41人、型枠工3人の計337人であった。

表Ⅱ－6．建設業における特定の職歴がある者についての集計 (人)

区申請	建設業における 特定職種	疾病				合計
		中皮腫	肺がん	石綿肺	びまん性 胸膜肥厚	
医療費・未申請弔慰金	はつり・解体	37	15	2	3	57
	左官	36	24			60
	築炉		2	1	1	4
	電気工	56	13		3	72
	塗装	22	13	1	1	37
	内装	41	19	1	3	64
	保温・断熱	9	17	2	1	29
	大工	104	44		4	152
	吹き付け	16	10			26
	事務	31	3			34
	配管	34	38	2	2	76
	型枠工	9	1			10
	計	395	199	9	18	621
	施行前弔慰金	はつり・解体	39	5		
左官		34	1			35
築炉		1				1
電気工		19	1	1		21
塗装		16	1			17
内装		17	6	2		25
保温・断熱		11	7	2		20
大工		73	16	3	1	93
吹き付け		10	1			11
事務		26				26
配管		35	3	2	1	41
型枠工		3				3
計		284	41	10	2	337
合計		はつり・解体	76	20	2	3
	左官	70	25			95
	築炉	1	2	1	1	5
	電気工	75	14	1	3	93
	塗装	38	14	1	1	54
	内装	58	25	3	3	89
	保温・断熱	20	24	4	1	49
	大工	177	60	3	5	245
	吹き付け	26	11			37
	事務	57	3			60
	配管	69	41	4	3	117
	型枠工	12	1			13
	合計	679	240	19	20	958

## (7) 住所別集計

### 集計方法

累計アンケート有効回答者のうち、昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）の居住歴の中で最も長く居住した住所（以下、「最長居住歴」という。）の集計を行った。また、(3) で用いたばく露分類で (エ) に分類された調査対象者についても、同様の集計を行った。

住所は平成 18 年度の市区町村コードに基づき分類し、対象となる期間中に複数の居住地がある場合には年単位で計算して最長居住歴を各人 1 つ選択した。対象期間中に最長居住歴が複数あった場合は、その中で最も古い住所を 1 つ選択した。

全国的最長居住歴について、東京都 23 区は区単位で、政令指定都市については市単位に集約して集計した。合計数が 1 人以下の市区町村については、県ごとに「その他の市町村」として集約した。

最長居住歴が政令指定都市であった者については、政令指定都市の区単位での最長居住歴も集計した。記述不十分等により区が不明な場合と、区的最長居住者数が 1 人以下の場合については、政令指定都市ごとに「その他及び不明」として集約した。

### 結果

#### 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

##### ① 全体（図Ⅱ-7-1、表Ⅱ-7-1、表Ⅱ-7-2）

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 3,213 人（医療費 2,889 人、未申請弔慰金 324 人）で、居住歴に関する有効回答は 3,077 人であった。

都道府県別に見ると、最も多かったのは兵庫県 403 人、次いで大阪府 347 人、東京都 307 人、神奈川県 171 人、福岡県 158 人であった。市区町村別にみると、最も多かったのは尼崎市 243 人、次いで大阪市 139 人、横浜市 86 人、名古屋市及び神戸市 58 人であった。

なお、政令指定都市の最長居住歴は表Ⅱ-7-2のとおり。

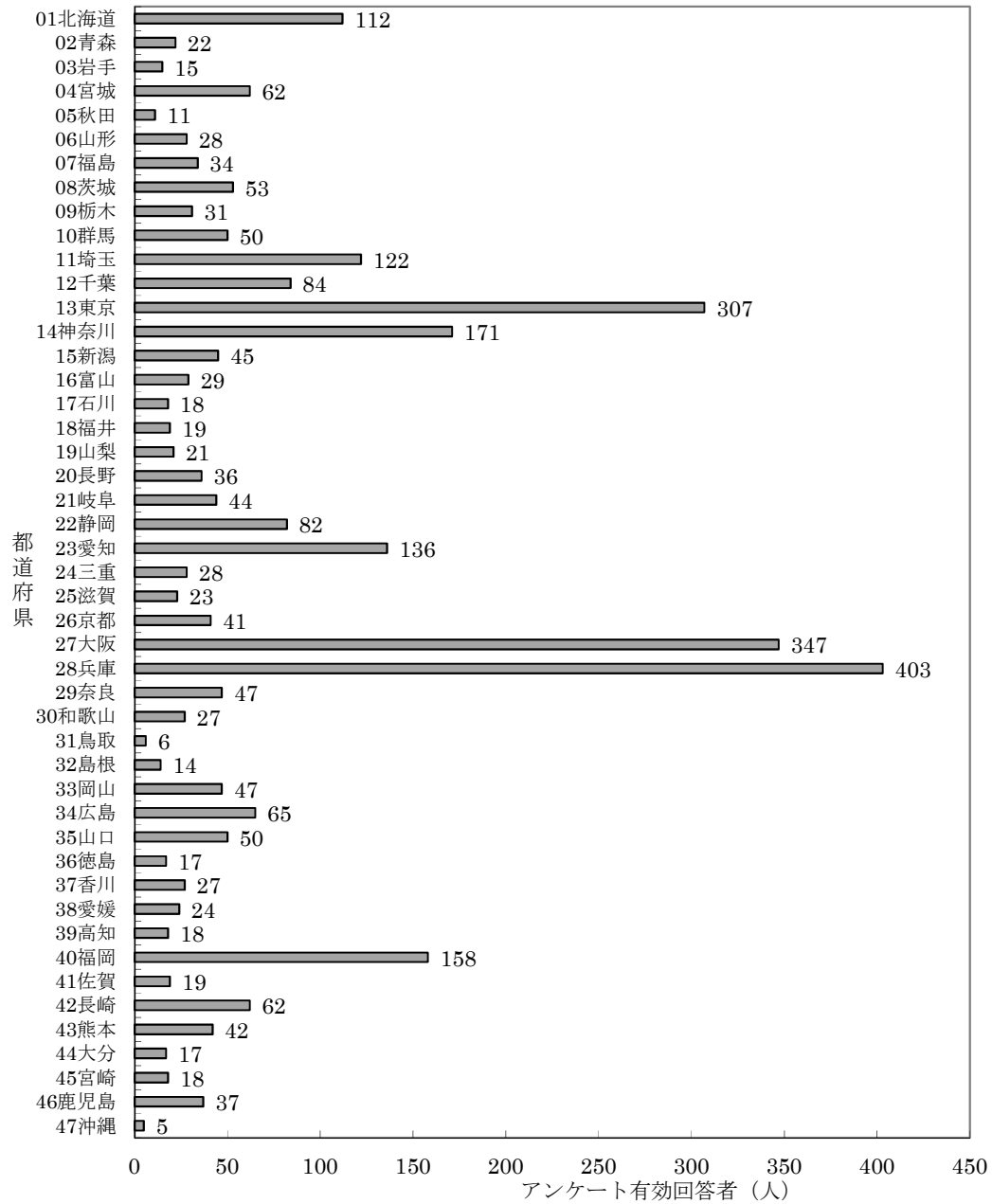
##### ② (エ) 分類（図Ⅱ-7-2、表Ⅱ-7-3、表Ⅱ-7-4）

(エ) 分類の医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 1,123 人（医療費 1,019 人、未申請弔慰金 104 人）で、居住歴に関する有効回答は 1,080 人であった。

都道府県別に見ると、最も多かったのは兵庫県 226 人、次いで大阪府 143 人、東京都 123 人、神奈川県 59 人、福岡県 40 人であった。市区町村別にみると、最も多かったのは尼崎市 176 人、次いで大阪市 53 人、横浜市 32 人、神戸市 16 人、名古屋市 15 人であった。尼崎市に最長居住歴のあった医療費・未申請弔慰金調査対象者のうち、72.4% が (エ) 分類に属することになる。

なお、政令指定都市の最長居住歴は表Ⅱ-7-4のとおり。

図Ⅱ-7-1. 累計被最長居住歴（都道府県）分布（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）

















表Ⅱ-7-1. 累計最長居住歴 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者)

(人)

都道府県名	市町村名	中皮腫						肺がん			右縦肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計				
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
42長崎	長崎市	10	2	12	5	1	6	18	4		4							22
	佐世保市	3	1	4	1		1	5	3		3							8
	島原市	4		4	1		1	5	1		1							6
	諫早市	2		2				2	1		1							3
	大村市					1	1	1	1		1							2
	平戸市	2		2				2			2							2
	壱岐市		1	1				1	1		1							2
	五島市		1	1				1	2		2							3
	西海市					1	1	1	1		1							2
	雲仙市					1	1	1	3		3							4
	南島原市	2		2	1		1	3			3							3
	南松浦郡新上五島	1		1				1	1		1							2
	その他の市町村	1	1	2	1		1	3			3							3
	計	25	6	31	9	4	13	44	18		18							62
43熊本	熊本市	3	1	4	4		4	8	5		5							13
	八代市	1		1				1		1	1							2
	水俣市	2		2				2			2							2
	山鹿市		1	1	1		1	2			2							2
	宇城市	1	1	2				2	1		1			1			1	4
	天草市	2	1	3				3			3							3
	玉名郡玉東町	1		1	1		1	2			2							2
	上益城郡山都町	1		1	1		1	2	1		1							3
	その他の市町村	5		5	2	1	3	8	2		2					1	1	11
	計	16	4	20	9	1	10	30	9	1	10			1	1	1	2	42
44大分	大分市	1		1	2		2	3	1		1							4
	別府市	1		1	2		2	3	1		1							4
	日田市	2		2				2	1		1							3
	竹田市	1		1				1	1		1							2
	その他の市町村	3		3	1		1	4			4							4
	計	8		8	5		5	13	4		4							17
45宮崎	都城市	5	1	6				6						1			1	7
	延岡市	2	1	3				3	1		1							4
	日向市	1		1	1		1	2			2							2
	その他の市町村	3		3	1		1	4	1		1							5
	計	11	2	13	2		2	15	2		2			1			1	18
46鹿児島	鹿児島市	6		6	5	1	6	12	1		1							13
	鹿屋市	1		1				1	1		1							2
	枕崎市	1		1	1		1	2										2
	薩摩川内市	1		1				1		1	1							2
	霧島市	4		4	1		1	5										5
	南さつま市	2		2				2			2							2
	始良郡湧水町	1		1				1	1		1							2
	その他の市町村	5	2	7				7	1		1			1			1	9
	計	21	2	23	7	1	8	31	4	1	5			1			1	37
47沖縄	石垣市					2	2	2										2
	うるま市	1		1	1		1	2										2
	その他の市町村	1		1				1			1							1
	計	2		2	1	2	3	5										5
99その他	その他の市町村	1	1	2				2	1		1							3
	計	1	1	2				2	1		1							3
	合計	1,614	178	1,792	595	116	711	2,503	490	30	520	16	1	17	33	4	37	3,077

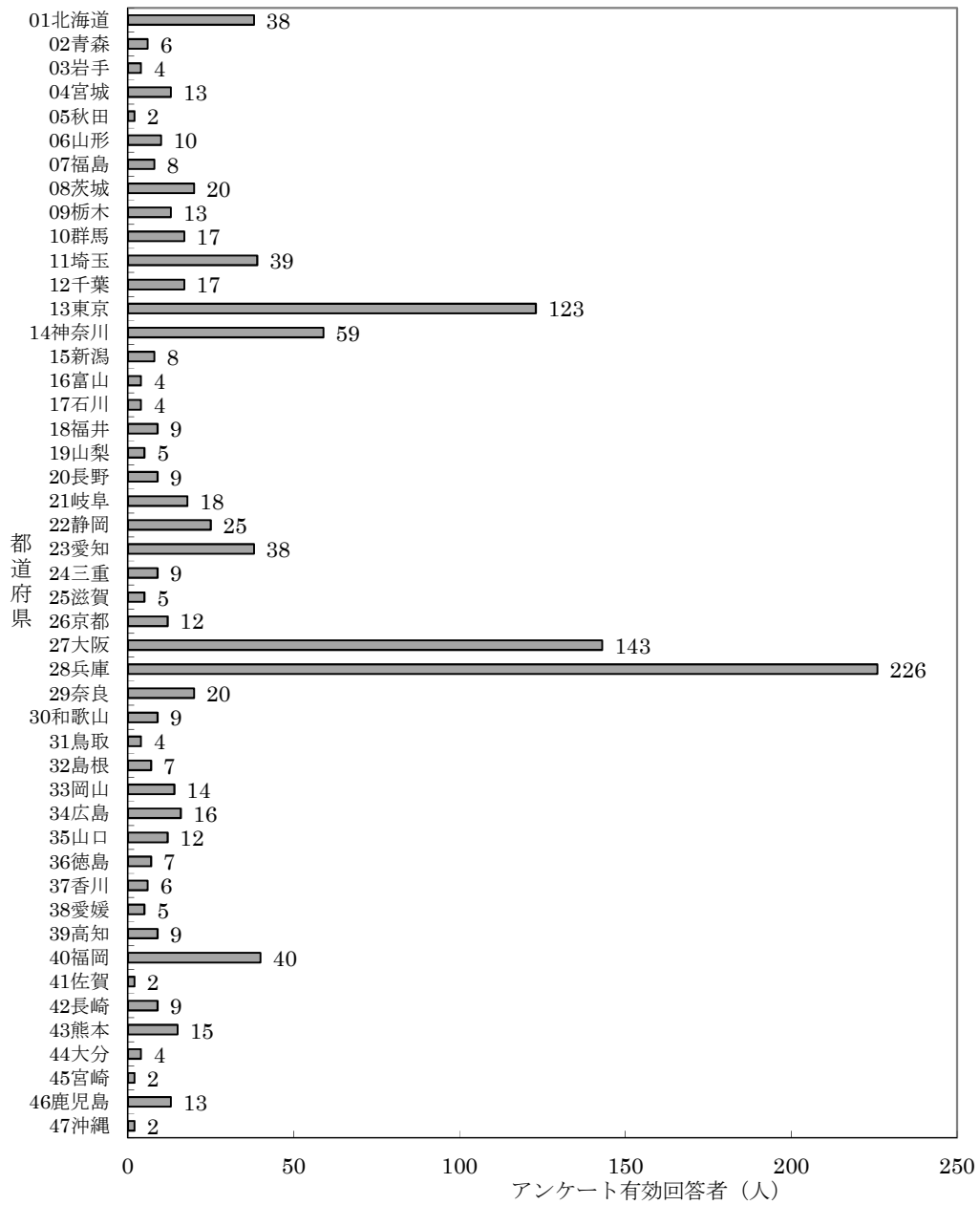
表Ⅱ-7-2. 累計政令指定都市の最長居住歴（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

政令指定都市	区名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	小計	男	女	小計	男	女		小計
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
札幌市	中央区	3	1	4				4										4
	北区	2		2				2	1		1							3
	白石区	1		1	3		3	4										4
	豊平区	1		1	2		2	3										3
	南区	1		1				1	1		1	1		1				3
	西区	2		2	1		1	3										3
	その他及び不明	4		4	1		1	5	1		1							6
合計	14	1	15	7		7	22	3	3	3	1		1				26	
仙台市	宮城野区	3		3	1		1	4	1		1							5
	若林区	3		3				3										3
	太白区	4		4				4	1		1							5
	泉区	1		1				1	1		1							2
	その他及び不明	2		2				2										2
	合計	13		13	1		1	14	3		3							17
さいたま市	西区	2		2				2										2
	北区	1		1	1		1	2	1		1							3
	大宮区	3	1	4	1		1	5	1		1							6
	見沼区	1		1				1	1		1							2
	中央区	5		5		1	1	6										6
	桜区				1		1	1							1		1	2
	浦和区	2		2				2										2
	岩槻区	1	1	2				2										2
	その他及び不明	2		2				2	1		1							3
	合計	17	2	19	3	1	4	23	4	4	4				1		1	28
	千葉市	中央区	3	1	4	1		1	5	2		2						
稲毛区		1		1				1	1		1							2
その他及び不明		1		1				1	1		1							2
合計		5	1	6	1		1	7	4		4							11
横浜市	鶴見区	3		3	5	2	7	10	5		5							15
	神奈川区	1		1	4		4	5	1		1			1			1	7
	西区	3		3		1	1	4										4
	中区	3		3				3										3
	南区	3		3				3										3
	保土ヶ谷区	8		8	1		1	9	1		1							10
	磯子区	1	1	2	2	1	3	5										5
	金沢区	4		4	1		1	5										5
	港北区	2	1	3	1		1	4										4
	戸塚区	4	1	5	1		1	6										6
	港南区	5		5				5	1		1							6
	旭区	3		3	1		1	4										4
	緑区	3		3				3	2		2							5
	瀬谷区	2		2				2	1		1							3
	青葉区	1		1	1		1	2	1		1							3
	その他及び不明	3		3				3										3
	合計	49	3	52	17	4	21	73	12		12				1		1	86
川崎市	川崎区	6		6		1	1	7						1			1	8
	中原区	5	1	6	3		3	9		1	1							10
	高津区								2		2							2
	多摩区	2		2	1		1	3										3
	その他及び不明	2		2	1		1	3	1		1			1		1		5
	合計	15	1	16	5	1	6	22	3	1	4				2		2	28
相模原市	緑区	1	1	2				2										2
	南区	2		2				2	1		1							3
	合計	3	1	4				4	1		1							5
新潟市	北区	1		1				1	2		2							3
	中央区	1	1	2		1	1	3										3
	西区	1		1				1	1		1							2
	西蒲区	2		2				2										2
	その他及び不明	1		1				1										1
合計	6	1	7		1	1	8	3		3							11	
静岡市	葵区	1		1				1	2		2							3
	駿河区	2		2	1	1	2	4		1	1							5
	清水区	4		4	2		2	6	2		2							8
	その他及び不明	1		1				1										1
合計	8		8	3	1	4	12	4	1	5							17	
浜松市	中区	5	1	6				6	2		2							8
	浜北区	3		3				3										3
	天竜区	2		2				2										2
	その他及び不明	5		5				5										5
合計	15	1	16				16	2		2							18	
名古屋市	千種区	2		2		1	1	3						1			1	4
	東区	2		2				2										2
	北区	1	2	3				3	2		2							5
	西区	3		3				3										3
	中村区	2		2	1		1	3	1		1							4
	中区	3		3				3										3
	昭和区	2		2				2										2
	瑞穂区	2		2				2	2		2							4
	熱田区	2		2	1		1	3										3
	中川区	5		5	1		1	6	1		1							7
	港区	4		4				4	1		1							5
	南区	6	1	7				7										7
	守山区					1	1	1	1	1		1			1		1	3
	緑区	1		1		1	1	2										2
	名東区	2		2				2										2
	その他及び不明	2		2				2										2
	合計	39	3	42	3	3	6	48	8		8				2		2	58



図Ⅱ-7-2. 累計最長居住歴（都道府県）分布（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）



表Ⅱ-7-3. 累計最長居住歴 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類)

(人)

都道府県名	市町村名	中皮腫						肺癌			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
		男			女			計	男	女	計	男	女	計			
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計										
01北海道																	
	札幌市		1	1	5		5	6									6
	函館市	2		2				2									2
	旭川市	2		2		1	1	3									3
	釧路市	1		1	1		1	2									2
	その他の市町村	12	2	14	9	2	11	25									25
	計	17	3	20	15	3	18	38									38
02青森																	
	八戸市				1		1	1	1		1						2
	南津軽郡藤崎町		2	2				2									2
	その他の市町村				2		2	2									2
	計		2	2	3		3	5	1		1						6
03岩手																	
	盛岡市				2		2	2									2
	その他の市町村	1		1	1		1	2									2
	計	1		1	3		3	4									4
04宮城																	
	仙台市	3		3				3	1		1						4
	石巻市	1		1	1	1	2	3									3
	その他の市町村	1		1	4	1	5	6									6
	計	5		5	5	2	7	12	1		1						13
05秋田																	
	その他の市町村				1	1	2	2									2
	計				1	1	2	2									2
06山形																	
	山形市				2		2	2									2
	その他の市町村	5		5	3		3	8									8
	計	5		5	5		5	10									10
07福島																	
	いわき市	1		1	2		2	3									3
	その他の市町村	1	1	2	2	1	3	5									5
	計	2	1	3	4	1	5	8									8
08茨城																	
	日立市				1	1	2	2									2
	古河市	1	1	2		1	1	3									3
	笠間市	1	1	2	1		1	3									3
	ひたちなか市	1		1	1		1	2									2
	鹿嶋市		1	1		1	1	2									2
	行方市		1	1	1		1	2									2
	その他の市町村	4		4	1	1	2	6									6
	計	7	4	11	5	4	9	20									20
09栃木																	
	宇都宮市	1		1	2		2	3	1		1						4
	小山市					1	1	1	1		1						2
	下都賀郡都賀町	1		1	1		1	2									2
	その他の市町村	3	1	4	1		1	5									5
	計	5	1	6	4	1	5	11	2		2						13
10群馬																	
	前橋市	1		1	1	1	2	3									3
	高崎市				3		3	3									3
	桐生市	2		2				2									2
	太田市	1		1	1		1	2									2
	渋川市		1	1		1	1	2									2
	その他の市町村	1		1	2	1	3	4	1		1						5
	計	5	1	6	7	3	10	16	1		1						17
11埼玉																	
	さいたま市	4	1	5	2	1	3	8									8
	川口市				2		2	2									2
	秩父市	4		4	3		3	7									7
	所沢市	1		1	1		1	2									2
	春日部市	1	1	2	1		1	3									3
	草加市	1		1	1		1	2									2
	その他の市町村	9	2	11	4		4	15									15
	計	20	4	24	14	1	15	39									39
12千葉																	
	習志野市				1	1	2	2									2
	柏市		1	1	1		1	2									2
	市原市	1		1	1		1	2	1		1						3
	鴨川市	1		1	1		1	2									2
	その他の市町村	2	2	4	3		3	7	1		1						8
	計	4	3	7	7	1	8	15	2		2						17







表Ⅱ-7-3. 累計最長居住歴 (医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類)

(人)

都道府県名	市町村名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計				
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
39高知	高知市	1		1		1	1	2										2
	室戸市	1		1	1		1	2										2
	その他の市町村	1	2	3	2		2	5										5
	計	3	2	5	3	1	4	9										9
40福岡	北九州市	3		3	6		6	9	2		2							11
	福岡市	3	2	5	4	2	6	11										11
	久留米市	2		2	2	1	3	5										5
	糟屋郡志免町				1	2	3	3										3
	その他の市町村	4		4	5	1	6	10										10
	計	12	2	14	18	6	24	38	2		2							40
41佐賀	その他の市町村		1	1		1	1	2										2
	計		1	1		1	1	2										2
42長崎	長崎市	1		1	2	1	3	4	1		1							5
	島原市	1		1	1		1	2										2
	その他の市町村	1		1	1		1	2										2
	計	3		3	4	1	5	8	1		1							9
43熊本	熊本市	1		1				1	2		2							3
	山鹿市		1	1	1			1	2									2
	その他の市町村	3	1	4	3	1	4	8					1	1	2			10
	計	4	2	6	4	1	5	11	2		2			1	1	2		15
44大分	別府市				2		2	2										2
	その他の市町村				2		2	2										2
	計				4		4	4										4
45宮崎	その他の市町村	1		1	1		1	2										2
	計	1		1	1		1	2										2
46鹿児島	鹿児島市	2		2	4	1	5	7										7
	その他の市町村	2	2	4	2		2	6										6
	計	4	2	6	6	1	7	13										13
47沖縄	その他の市町村				1	1	2	2										2
	計				1	1	2	2										2
99その他	計																	0
	合計	459	73	532	418	83	501	1,033	32	10	42	2		2	1	2	3	1,080



表Ⅱ-7-4. 累計政令指定都市の最長居住歴（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）

(人)

政令指定都市	区名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計				
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
福岡市	博多区		2	2	2	1	3	5										5
	早良区	1		1	1		1	2										2
	その他及び不明	2		2	1	1	2	4										4
	合計	3	2	5	4	2	6	11										11
熊本市	南区	1		1				1	1		1							2
	その他及び不明								1		1							1
	合計	1		1				1	2		2							3
総計		96	14	110	79	19	98	208	7	1	8							216

## 施行前弔慰金アンケート有効回答者

### ① 全体（図Ⅱ－７－３、表Ⅱ－７－５、表Ⅱ－７－６）

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は3,029人で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは2,888人であった。

都道府県別で見ると、最も多かったのは兵庫県310人、次いで大阪府279人、東京都269人、神奈川県168人、北海道135人であった。

市区町村別にみると、最も多かったのは尼崎市141人、次いで大阪市134人、横浜市81人、神戸市70人、名古屋市36人であった。

なお、政令指定都市の最長居住歴は表Ⅱ－７－６のとおり。

### ② (エ) 分類（図Ⅱ－７－４、表Ⅱ－７－７、表Ⅱ－７－８）

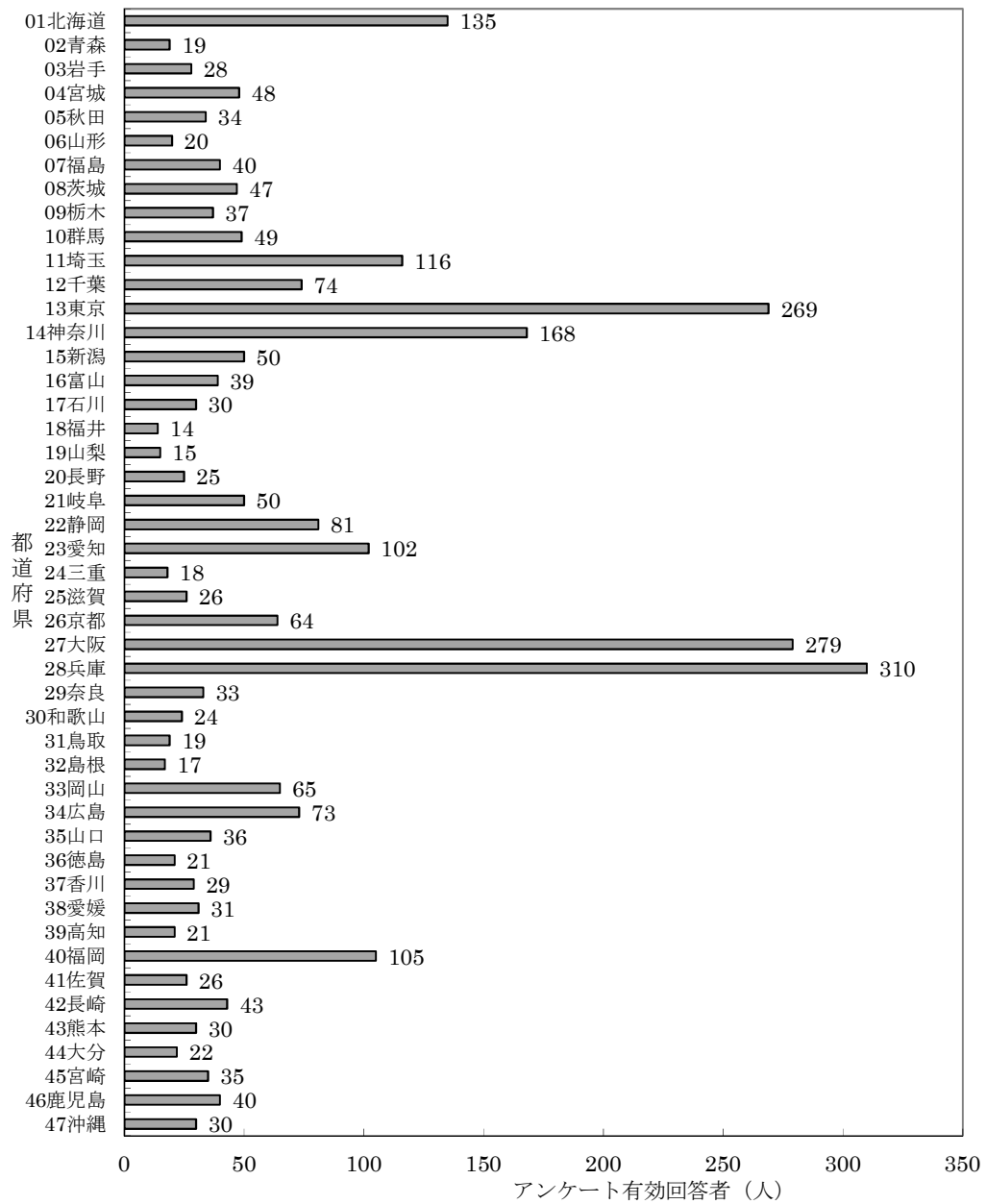
(エ) 分類の施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は1,383人で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは1,311人であった。

都道府県別で見ると、最も多かったのは兵庫県203人、次いで東京都145人、大阪府116人、北海道66人、神奈川県62人であった。

市区町村別にみると、最も多かったのは尼崎市117人、次いで大阪市55人、神戸市35人、横浜市26人、京都市20人であった。尼崎市に最長居住歴のあった施行前弔慰金調査対象者の83.0%が、(エ) 分類に属することになる。

なお、政令指定都市の最長居住歴は表Ⅱ－７－８のとおり。

図Ⅱ-7-3. 累計最長居住歴（都道府県）分布（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）





表Ⅱ-7-5. 累計最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

都道府県名	市町村名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
		男			女			計	男	女	計	男	女	計			
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計										
09栃木																	
	宇都宮市	3	3	6		3	3	9	1		1						10
	足利市	1		1	1		1	2									2
	栃木市	1		1				1			1		1				2
	日光市		1	1		1	1	2									2
	小山市	1	1	2		1	1	3									3
	大田原市	2		2		1	1	3									3
	那須塩原市	1		1	1		1	2	1		1						3
	下都賀郡大平町	1	1	2				2									2
	その他の市町村	2	7	9	1		1	10									10
	計	12	13	25	3	6	9	34	2		2	1		1			37
10群馬																	
	前橋市	4	1	5	1		1	6									6
	高崎市	1	2	3				3									3
	桐生市	3	1	4				4									4
	伊勢崎市	2	2	4				4									4
	太田市	1	2	3	1		1	4									4
	渋川市	5		5	1		1	6	1		1						7
	藤岡市	1	2	3	1		1	4									4
	安中市	1	1	2	1		1	3									3
	北群馬郡榛東村	1	1	2				2									2
	多野郡上野村	2		2				2									2
	多野郡神流町				1	1	2	2									2
	その他の市町村	4	2	6		1	1	7	1		1						8
	計	25	14	39	6	2	8	47	2		2						49
11埼玉																	
	さいたま市	8	5	13				13	2		2	1		1			16
	川越市	2	1	3	3		3	6	2		2						8
	熊谷市	1	1	2				2							1	1	3
	川口市	7	5	12	1	2	3	15									15
	秩父市	3	1	4				4	1		1						5
	東松山市	2		2	2		2	4									4
	狭山市	1	1	2				2									2
	深谷市		1	1	1		1	2									2
	上尾市	1		1	1	1	2	3	1		1						4
	草加市	1	2	3	1		1	4									4
	越谷市	4		4				4									4
	蕨市		2	2				2									2
	鳩ヶ谷市	2		2				2									2
	朝霞市	1		1	1		1	2									2
	和光市	3		3				3									3
	新座市	2		2		1	1	3									3
	北本市		2	2				2									2
	富士見市		1	1	1		1	2									2
	蓮田市		1	1		1	1	2									2
	人間郡毛呂山町	1	1	2				2									2
	比企郡小川町	1	1	2		1	1	3	1		1						4
	秩父郡皆野町		1	1		1	1	2									2
	南埼玉郡白岡町	2		2				2									2
	北葛飾郡杉戸町	2	1	3				3									3
	北葛飾郡松伏町	2		2				2									2
	その他の市町村	9	2	11	3	2	5	16							1	1	16
	計	55	29	84	14	9	23	107	7		7	1		1		1	116
12千葉																	
	千葉市	5	3	8	2	3	5	13	1		1						14
	市川市	3		3	1	1	2	5									5
	船橋市	1	2	3	1	1	2	5	1		1						6
	松戸市	7		7	1		1	8									8
	成田市	1		1	1		1	2									2
	柏市	2		2	1	1	2	4									4
	勝浦市	1		1	1		1	2									2
	市原市	2	2	4		2	2	6	1		1			1		1	8
	八千代市	3	1	4				4									4
	我孫子市	1		1	1		1	2									2
	四街道市				1	1	2	2									2
	香取市	2		2				2									2
	いすみ市		1	1	1		1	2									2
	その他の市町村	6	3	9	2	2	4	13									13
	計	33	13	46	13	11	24	70	3		3			1		1	74











表Ⅱ-7-5. 累計最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

都道府県名	市町村名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			男	女	計	男	女	計	男	女	計		
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計	計										
43熊本																		
	熊本市	4	1	5	1	3	4	9									9	
	玉名市	3		3				3									3	
	山鹿市		1	1	1		1	2									2	
	宇土市		1	1		1	1	2									2	
	天草市	2		2				2									2	
	その他の市町村	4	7	11		1	1	12									12	
	計	13	10	23	2	5	7	30									30	
44大分																		
	大分市	4	1	5		1	1	6									6	
	別府市	1	1	2	2	1	1	2	4								4	
	佐伯市	2	1	3	1		1	4					1			1	5	
	宇佐市	1		1	1			2									2	
	その他の市町村	1	2	3	3	1	1	2	5								5	
	計	9	5	14	4	3	7	21						1		1	22	
45宮崎																		
	宮崎市	1	4	5		2	2	7									7	
	都城市	1	4	5		1	1	6			1		1				7	
	延岡市	2		2	1	2	3	5									5	
	日南市		2	2		1	1	3									3	
	小林市	1		1	1		1	2									2	
	日向市	1		1				1	1		1						2	
	西臼杵郡高千穂町	1		1	2	1	3	4									4	
	その他の市町村	2	1	3		2	2	5									5	
	計	9	11	20	4	9	13	33	1		1	1		1			35	
46鹿児島																		
	鹿児島市	2	1	3	2	3	5	8									8	
	枕崎市		2	2				2									2	
	指宿市					2	2	2									2	
	霧島市	4		4	1		1	5									5	
	南さつま市	3	1	4				4						1		1	5	
	南九州市	1		1		1	1	2									2	
	その他の市町村	7	4	11	1	3	4	15	1		1						16	
	計	17	8	25	4	9	13	38	1		1			1		1	40	
47沖縄																		
	那覇市	3		3	1	1	2	5									5	
	沖縄市					2	2	2									2	
	うるま市	2		2				2	1		1		1				4	
	南城市	1	2	3	1		1	4									4	
	国頭郡今帰仁村	1	1	2				2									2	
	国頭郡本部町		1	1		1	1	2									2	
	中頭郡読谷村	2		2	1		1	3									3	
	島尻郡八重瀬町	1		1	1		1	2									2	
	その他の市町村	2	2	4	1	1	2	6									6	
	計	12	6	18	5	5	10	28	1		1	1		1			30	
99その他																		
	その他の市町村	1		1				1									1	
	計	1		1				1									1	
	合計	1,258	653	1,911	459	378	837	2,748	98	3	101	29	1	30	8	1	9	2,888

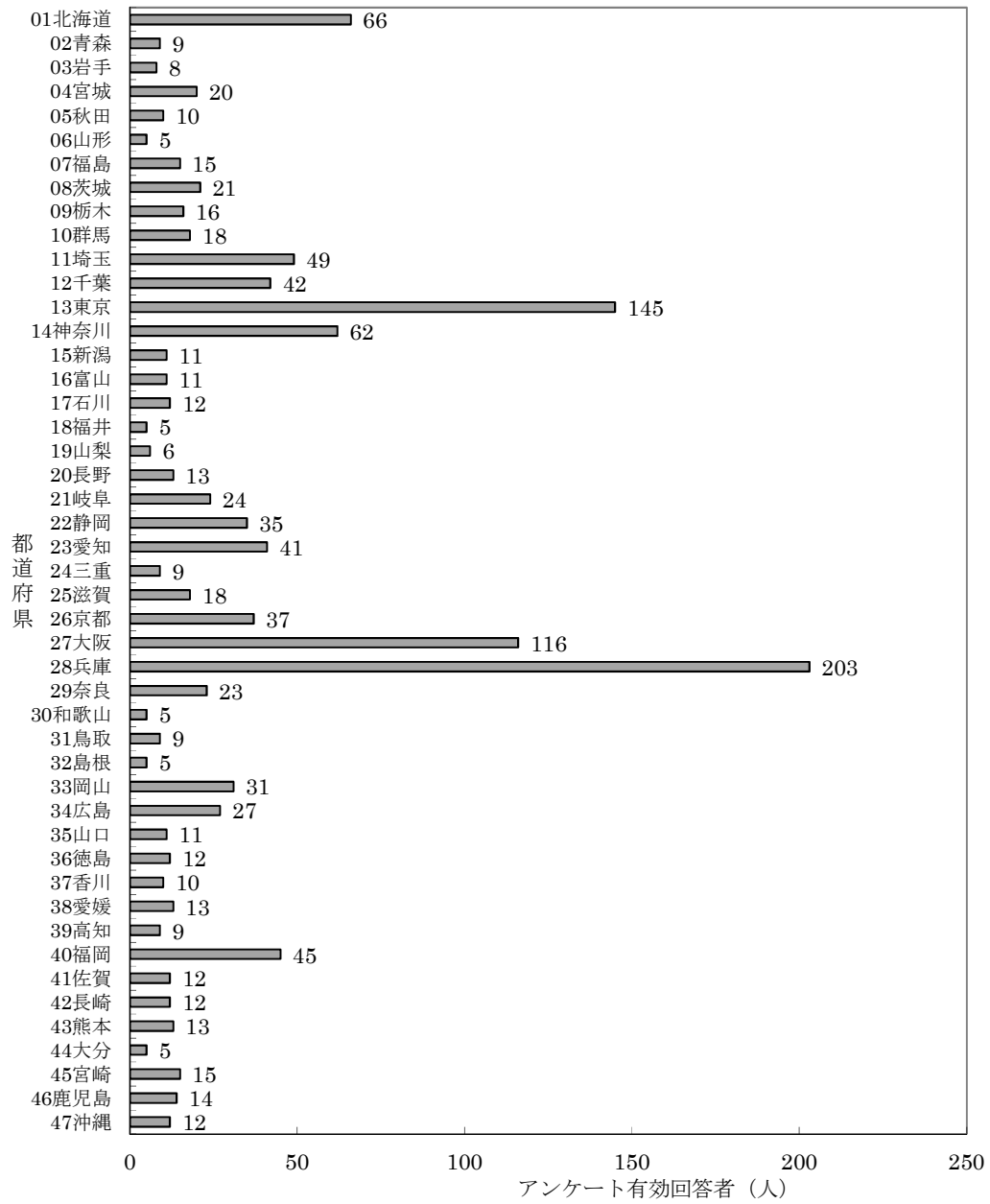


表Ⅱ-7-6. 累計政令指定都市の最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

政令指定都市	区名	中皮腫						肺がん			右縦肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計				
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
大阪市	都島区	4		4			4											4
	福島区	1		1		1	1				1		1					3
	西区	1	4	5		1	1	6										6
	港区	4	1	5				5										5
	天王寺区	1		1	1	1	2	3										3
	浪速区	2	1	3		1	1	4										4
	西淀川区	5	3	8	1	1	2	10										10
	東淀川区	4	2	6	1	2	3	9	1		1							10
	東成区	1		1	2		2	3										3
	生野区	5	1	6	1		1	7										7
	旭区		1	1	1		1	2										2
	城東区	3		3				3										3
	阿倍野区	2		2		1	1	3	1		1			1		1		5
	住吉区	3	2	5		1	1	6	2		2							8
	東住吉区	4	3	7				7	1		1							8
	西成区	3	5	8	1	2	3	11	1		1							12
	淀川区	3	2	5	2		2	7										7
	鶴見区				1		1	1	1		1							2
	住之江区	2		2				2										2
	平野区	8	2	10	2		2	12	2		2	1		1				15
	北区	5	1	6	2		2	8	1		1							9
中央区	1		1	1	1	2	3										3	
その他及び不明	2	1	3				3										3	
計	64	29	93	16	12	28	121	10		10	2		2	1		1	134	
堺市	堺区	2	4	6	1	2	3	9	1		1							10
	中区	2		2				2										2
	東区	1		1	1		1	2										2
	西区	2	1	3		1	1	4										4
	その他及び不明	6		6	2		2	8										8
計	13	5	18	4	3	7	25	1		1							26	
神戸市	東灘区	3	2	5	2	1	3	8										8
	灘区	6		6	1		1	7										7
	兵庫区	4	5	9	1	2	3	12										12
	長田区	5	2	7	2	4	6	13										13
	須磨区	2	2	4	2	1	3	7										7
	垂水区	4	1	5	1	1	2	7										7
	北区	2		2		2	2	4										4
	中央区	5		5	1		1	6										6
	西区	1	1	2	1	1	2	4										4
	その他及び不明	2		2				2										2
計	34	13	47	11	12	23	70										70	
岡山市	北区	3	1	4	1		1	5										5
	中区	1		1	1		1	2										2
	東区	2		2				2										2
	南区	3	1	4	1		1	5										5
	その他及び不明	1	1	2				2										2
計	10	3	13	3		3	16										16	
広島市	中区	2	2	4			4	1		1								5
	東区	2		2			2											2
	西区	1	1	2				2										2
	安佐北区	1	1	2				2										2
	安芸区		2	2				2										2
	その他及び不明	2		2				2										2
計	8	6	14				14	1		1							15	
北九州市	門司区	1		1	2	2	4	5	1	1	2							7
	小倉北区	2		2				2	1		1							3
	八幡東区	4	1	5				5										5
	八幡西区	5	2	7		1	1	8										8
	その他及び不明	2		2	1		1	3										3
計	14	3	17	3	3	6	23	2	1	3							26	
福岡市	東区		2	2	1		1	3										3
	博多区	3		3		1	1	4										4
	中央区	3	1	4				4										4
	南区	2	1	3				3	1		1							4
	城南区	1	1	2	1		1	3										3
	その他及び不明	1		1				1										1
計	10	5	15	2	1	3	18	1		1							19	
熊本市	中央区				1	3	4	4										4
	北区	2		2				2										2
	その他及び不明	2	1	3				3										3
計	4	1	5	1	3	4	9										9	
合計	273	142	415	77	77	154	569	29	1	30	5		5	2		2	606	

図Ⅱ-7-4. 累計最長居住歴（都道府県）分布（施行前弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）







表Ⅱ-7-7. 累計最長居住歴 (施行前弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類)

(人)

都道府県名	中皮腫							肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男			女				計	男	女	計	男	女	計			
	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
市町村名	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計	計	男	女	計	男	女	計				
12千葉																	
千葉市	3	2	5	2	3	5	10							10			
市川市	3		3	1	1	2	5							5			
船橋市		1	1	1	1	2	3							3			
松戸市	3		3	1		1	4							4			
成田市	1		1	1		1	2							2			
柏市	1		1	1		1	2							2			
勝浦市	1		1	1		1	2							2			
市原市		2	2		2	2	4							4			
八千代市	2		2				2							2			
香取市	2		2				2							2			
その他の市町村	1	2	3	2	1	3	6							6			
合計	17	7	24	10	8	18	42							42			
13東京																	
千代田区	3	1	4	1		1	5							5			
港区	2	1	3	2	1	3	6							6			
新宿区	4		4	2		2	6							6			
文京区	3		3	1		1	4							4			
台東区		2	2	1	3	4	6							6			
品川区	1		1	2	1	3	4							4			
目黒区	1		1	2	1	3	4							4			
大田区	7		7	6	6	12	19							19			
世田谷区	2	1	3	4		4	7							7			
渋谷区	2		2				2							2			
中野区	2	1	3	1	1	2	5							5			
杉並区	5		5	1	2	3	8							8			
豊島区		1	1		2	2	3							3			
北区	2		2		2	2	4							4			
荒川区	2	1	3	2		2	5							5			
板橋区				1	1	2	2							2			
練馬区	3	4	7				7							7			
足立区	3	1	4	3	2	5	9							9			
葛飾区		2	2	2	1	3	5							5			
江戸川区	1	2	3		1	1	4							4			
立川市	1	1	2			1	3							3			
昭島市		1	1		1	1	2							2			
町田市	3	1	4	1	1	2	6							6			
小平市	1	1	2				2							2			
西東京市	1	1	2				2							2			
その他の市町村	5	2	7	4	4	8	15							15			
合計	54	24	78	36	31	67	145							145			
14神奈川																	
横浜市	9	6	15	10	1	11	26							26			
川崎市	4	2	6	3	1	4	10							10			
相模原市	2	1	3	1		1	4							4			
横須賀市	1		1	1		1	2							2			
藤沢市	1	1	2		1	1	3							3			
小田原市				2		2	2							2			
茅ヶ崎市				1	1	2	2							2			
三浦市				1	1	2	2							2			
伊勢原市	1		1		1	1	2							2			
座間市		1	1	1		1	2							2			
その他の市町村	2	1	3	4		4	7							7			
合計	20	12	32	24	6	30	62							62			
15新潟																	
新潟市		1	1		1	1	2							2			
三条市		1	1	1		1	2							2			
柏崎市		1	1	1		1	2							2			
小千谷市	1		1				2							2			
その他の市町村	1		1	1	1	2	3							3			
合計	2	4	6	3	2	5	11							11			
16富山																	
富山市		2	2		2	2	4							4			
高岡市				1		1	2							2			
魚津市	1		1		1	1	2							2			
その他の市町村	1	1	2		1	1	3							3			
合計	2	3	5	1	5	6	11							11			
17石川																	
金沢市	2	1	3		2	2	5							5			
珠洲市					2	2	2							2			
加賀市	1		1	1		1	2							2			
その他の市町村	1	1	2		1	1	3							3			
合計	4	2	6	1	5	6	12							12			
18福井																	
福井市	1	1	2				2							2			
小浜市	1		1	1		1	2							2			
その他の市町村					1	1	1							1			
合計	2	1	3	1	1	2	5							5			
19山梨																	
笛吹市	1		1		1	1	2							2			
その他の市町村	1	1	2	2		2	4							4			
合計	2	1	3	2	1	3	6							6			
20長野																	
長野市	1		1		2	2	3							3			
上田市	2		2				2							2			
その他の市町村	1	3	4	3	1	4	8							8			
合計	4	3	7	3	3	6	13							13			





表Ⅱ-7-7. 累計最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート有効回答者、エ分類）

(人)

都道府県名	中皮腫							肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計
	男			女				男	女	計	男	女	計	男	女	計	
市町村名	胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計	計										
45宮崎																	
都城市		1	1		1	1	2									2	
延岡市					1	2	3									3	
西臼杵郡高千穂町					2	1	3									3	
その他の市町村	1	1	2	1	4	5	7									7	
合計	1	2	3	4	8	12	15									15	
46鹿児島																	
鹿児島市		1	1	2	1	3	4									4	
指宿市					2	2	2									2	
霧島市	1		1	1		1	2									2	
その他の市町村	1		1	1	4	5	6									6	
合計	2	1	3	4	7	11	14									14	
47沖縄																	
南城市	1	1	2				2									2	
その他の市町村	1	1	2	4	3	7	9				1		1			10	
合計	2	2	4	4	3	7	11				1		1			12	
99その他																	
その他の市町村	1		1				1									1	
合計	1		1				1									1	
総計	440	248	688	335	280	615	1,303	5	1	6	1		1		1	1,311	



表Ⅱ-7-8. 累計政令指定都市の最長居住歴（施行前弔慰金、アンケート回答者、エ分類）

(人)

政令指定都市	区名	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計				
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
広島市	中区	2	1	3				3										3
	その他及び不明	1	1	2				2										2
	計	3	2	5				5										5
北九州市	門司区				1	1	2	2		1	1							3
	八幡西区		1	1		1	1	2										2
	その他及び不明	2		2	1		1	3										3
	計	2	1	3	2	2	4	7		1	1							8
福岡市	東区		2	2				2										2
	博多区	1		1		1	1	2										2
	その他及び不明	2		2				2										2
	計	3	2	5		1	1	6										6
熊本市	中央区				1	3	4	4										4
	その他及び不明	1		1				1										1
	計	1		1	1	3	4	5										5
合計		87	66	153	55	50	105	258		1	1							259

## (8) 尼崎市の詳細集計（ばく露(エ)分類）

### 集計方法

累計アンケート有効回答者のうち、(3) で用いたばく露分類が(エ) 分類であり、対象期間である昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）間に尼崎市に居住歴がある者について、行政地区、時点（昭和 30 年、40 年、50 年、60 年）によるクロス集計を行った。

行政地区は中央地区、小田地区、大庄地区、立花地区、武庫地区、園田地区の 6 地区とし、記述不十分等により分類できない場合は地区不明とした。

地区の分類に当たっては、尼崎市史第 10 巻付図「尼崎市小字図」等を参考とした。

また、集計は下記の 2 通りの居住歴により行った。

#### ① 最長居住歴による集計

「(7) 住所別集計」において尼崎市に最長居住歴のある者（医療費・未申請弔慰金 176 人、施行前弔慰金 117 人）について、対象期間内に尼崎市内で最も長く居住した行政地区（以下「最長居住地区」という。）により集計した。

対象期間中に複数の行政地区に居住歴がある場合には、年単位で計算して最長居住地区を各人 1 つ選択した。対象期間中に最長居住地区が複数あった場合は、その中で最も古い住所を 1 つ選択した。

#### ② 対象期間居住歴による集計

対象期間中に尼崎市に一度でも居住歴がある者について、対象期間中に一度でも居住した行政地区により集計した。対象期間中に複数の行政地区に居住歴がある場合は、重複して集計した。なお、同じ行政地区内の異なる居住歴については 1 つの居住歴として扱い重複集計しなかった。

さらに、尼崎市に最長居住歴のある者から、地区不明の者を除き、医療費・未申請弔慰金 167 人、施行前弔慰金 107 人の「最長居住地」を地図上にプロットした。

### 結果

#### 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

##### ① 最長居住歴による集計（表Ⅱ－8－1、表Ⅱ－8－2）

最長居住歴による集計において、それぞれの地区に最も長く居住していた者は、中央地区 28 人（男 21、女 7）、小田地区 110 人（男 52、女 58）、大庄地区 3 人（男 2、女 1）、立花地区 7 人（男 3、女 4）、武庫地区 0 人（男 0、女 0）、園田地区 19 人（男 10、女 9）、地区不明 9 人（男 3、女 6）であった。

最も多い最長居住地区は小田地区であり、小田地区の者 110 人のうち、昭和 30 年時点で最長居住歴のある者は 63 人、昭和 40 年時点は 90 人、昭和 50 年時点は 66 人、昭



和 60 年時点は 35 人であった。

② 対象期間居住歴による集計（表Ⅱ－8－1、表Ⅱ－8－3）

対象期間居住歴による集計において、各地区に居住歴のある者は、中央地区 49 人（男 28、女 21）、小田地区 149 人（男 71、女 78）、大庄地区 16 人（男 10、女 6）、立花地区 22 人（男 9、女 13）、武庫地区 9 人（男 2、女 7）、園田地区 34 人（男 17、女 17）、地区不明 23 人（男 10、女 13）であり、合計で延べ 302 人であった。

最も多い居住地区は小田地区であり、小田地区の者 149 人のうち、昭和 30 年時点に居住歴のある者は 91 人、昭和 40 年時点は 126 人、昭和 50 年時点は 76 人、昭和 60 年時点は 56 人であった。

施行前弔慰金アンケート有効回答者

① 最長居住歴による集計（表Ⅱ－8－1、表Ⅱ－8－2）

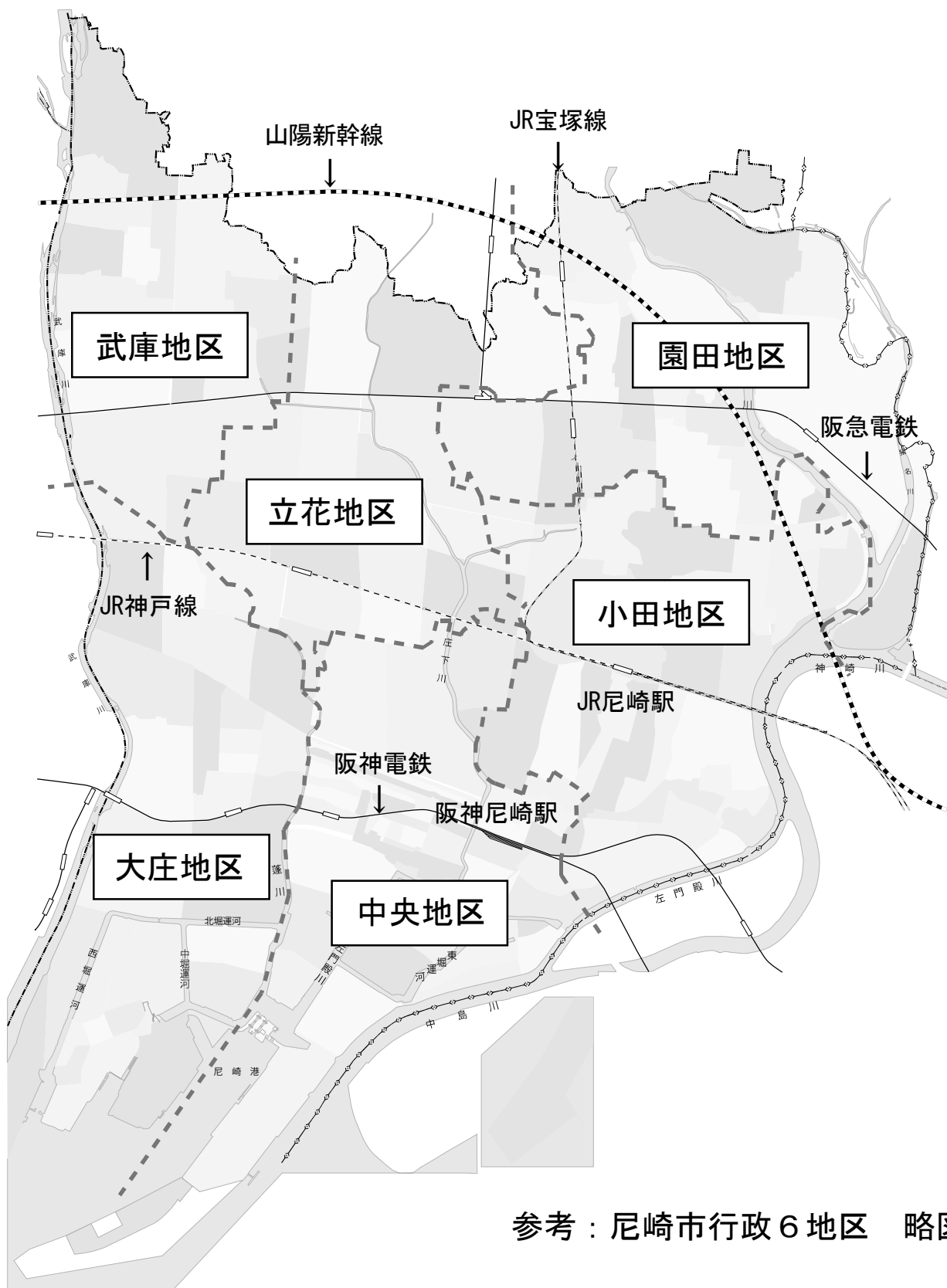
最長居住歴による集計において、それぞれの地区に最も長く居住していた者は中央地区 14 人（男 5、女 9）、小田地区 68 人（男 32、女 36）、大庄地区 4 人（男 1、女 3）、立花地区 8 人（男 4、女 4）、武庫地区 4 人（男 3、女 1）、園田地区 9 人（男 4、女 5）、地区不明 10 人（男 3、女 7）であった。

最も多い最長居住地区は小田地区であり、小田地区の者 68 人のうち、昭和 30 年時点に最長居住歴のある者は 41 人、昭和 40 年時点は 59 人、昭和 50 年時点は 42 人、昭和 60 年時点は 32 人であった。

② 対象期間居住歴による集計（表Ⅱ－8－1、表Ⅱ－8－3）

対象期間居住歴による集計において、各地区に居住歴のある者は、中央地区 21 人（男 9、女 12）、小田地区 107 人（男 51、女 56）、大庄地区 8 人（男 3、女 5）、立花地区 24 人（男 13、女 11）、武庫地区 9 人（男 7、女 2）、園田地区 19 人（男 10、女 9）地区不明 23 人（男 9、女 14）であり、合計で延べ 211 人であった。

多い居住地区は小田地区であり、小田地区の者 107 人のうち、昭和 30 年時点に居住歴のある者は 62 人、昭和 40 年時点は 78 人、昭和 50 年時点は 54 人、昭和 60 年時点は 40 人であった。



表Ⅱ－８－１．尼崎市における地区別アンケート有効回答者数（エ分類）

給付	行政区	最長居住歴			対象期間に 居住歴がある者		
		男	女	合計	男	女	合計
医療費・ 未申請弔慰金	中央地区	21	7	28	28	21	49
	小田地区	52	58	110	71	78	149
	大庄地区	2	1	3	10	6	16
	立花地区	3	4	7	9	13	22
	武庫地区	0	0	0	2	7	9
	園田地区	10	9	19	17	17	34
	地区不明	3	6	9	10	13	23
	合計	91	85	176	147	155	302
施行前弔慰金	中央地区	5	9	14	9	12	21
	小田地区	32	36	68	51	56	107
	大庄地区	1	3	4	3	5	8
	立花地区	4	4	8	13	11	24
	武庫地区	3	1	4	7	2	9
	園田地区	4	5	9	10	9	19
	地区不明	3	7	10	9	14	23
	合計	52	65	117	102	109	211

(人)

表Ⅱ－８－２．尼崎市における最長居住地区別アンケート有効回答者数（エ分類）（人）

給付	行政区	最長居住歴	うち、昭和30	うち、昭和40	うち、昭和50	うち、昭和60
			年時点に居住歴のある者	年時点に居住歴のある者	年時点に居住歴のある者	年時点に居住歴のある者
医療費・未申請弔慰金	中央地区	28	17	24	20	13
	小田地区	110	63	90	66	35
	大庄地区	3	2	2	2	2
	立花地区	7	3	3	5	3
	武庫地区	0	0	0	0	0
	園田地区	19	10	12	11	9
	地区不明	9	7	7	4	2
	尼崎市合計	176	102	138	108	64
施行前弔慰金	中央地区	14	9	11	8	4
	小田地区	68	41	59	42	32
	大庄地区	4	1	2	3	3
	立花地区	8	2	2	6	6
	武庫地区	4	1	2	4	3
	園田地区	9	4	6	5	2
	地区不明	10	7	8	6	2
	尼崎市合計	117	65	90	74	52

<参考>

尼崎市地区別人口（男女計）（人） 年10月1日時点

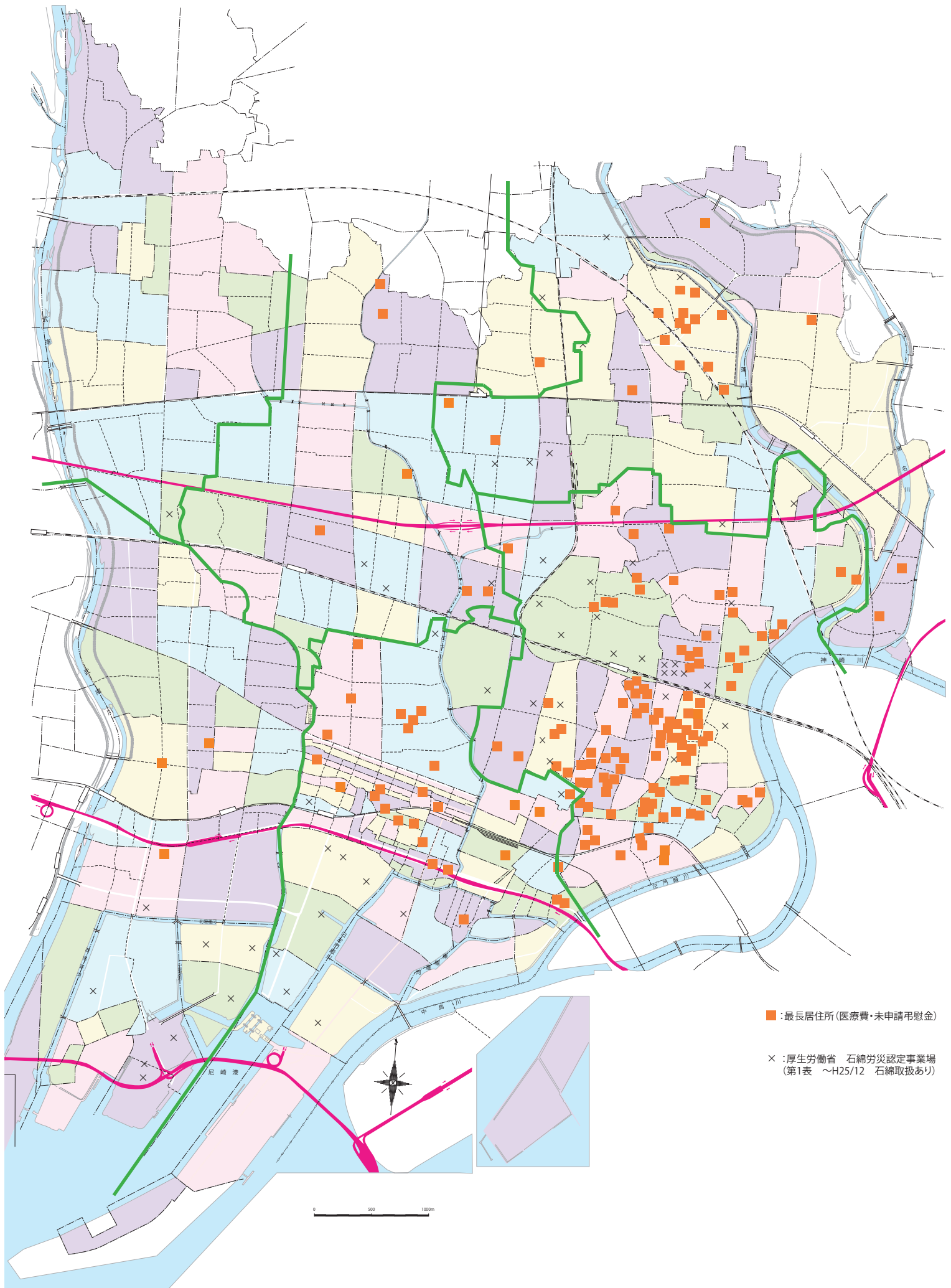
行政区		昭和30年	昭和40年	昭和50年	昭和60年
人口	中央地区	90,984	99,331	77,010	63,499
	小田地区	84,986	110,732	100,005	86,524
	大庄地区	68,192	98,706	85,833	70,205
	立花地区	47,822	93,248	124,252	119,454
	武庫地区	13,340	34,604	66,141	76,159
	園田地区	30,183	64,369	92,542	93,274
	尼崎市合計	335,507	500,990	545,783	509,115

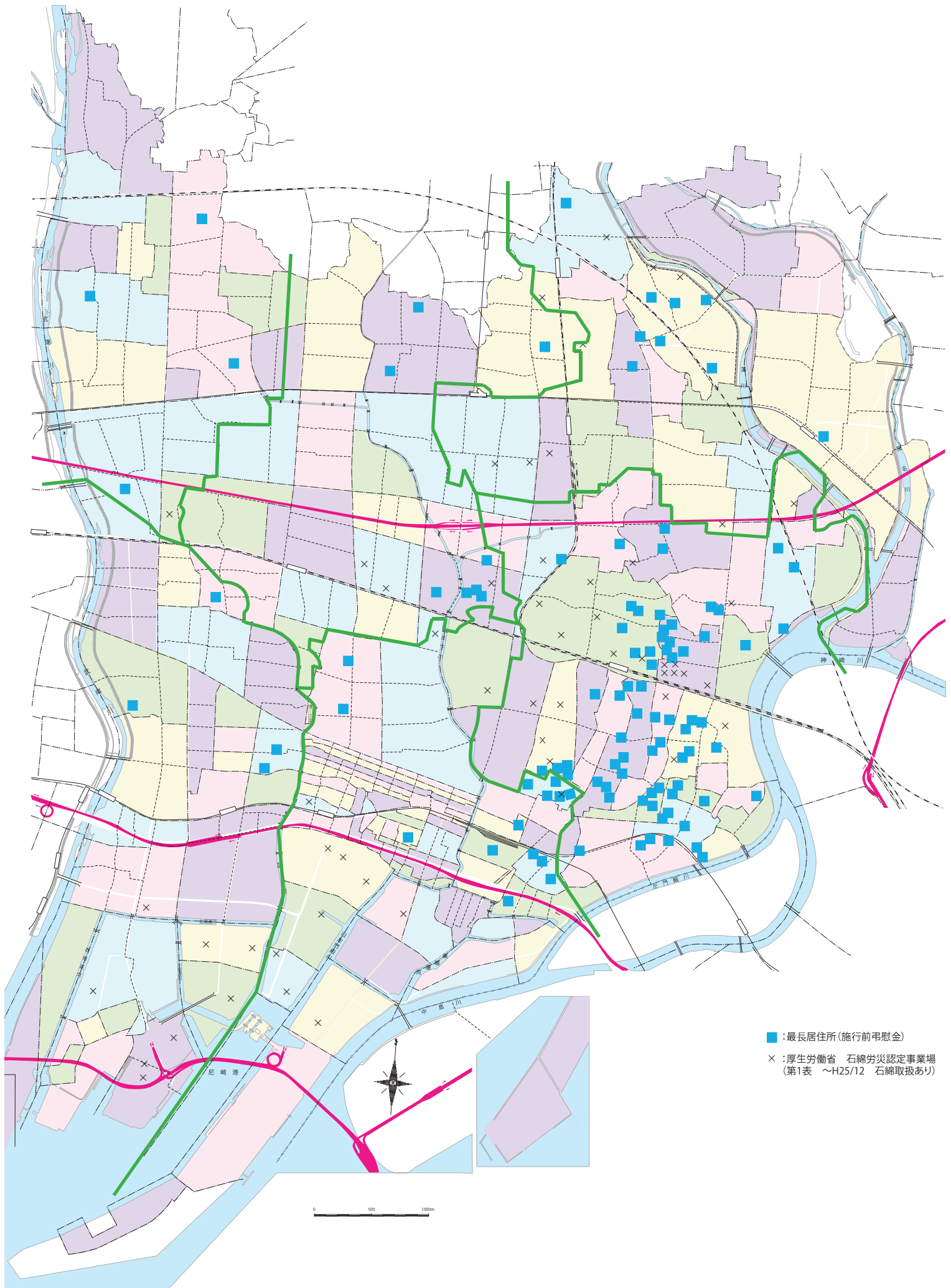
出典：尼崎市統計書（昭和44年、昭和56年、昭和60年）など

表Ⅱ－８－３．尼崎市における居住歴別アンケート有効回答者数（エ分類）

(人)

給付	行政区	対象期間に 居住歴がある 者	うち、昭和30 年時点に居住 歴のある者	うち、昭和40 年時点に居住 歴のある者	うち、昭和50 年時点に居住 歴のある者	うち、昭和60 年時点に居住 歴のある者
医療費・ 未申請弔慰金	中央地区	49	28	33	22	17
	小田地区	149	91	126	76	56
	大庄地区	16	4	5	4	5
	立花地区	22	5	5	12	11
	武庫地区	9	0	0	3	3
	園田地区	34	11	17	17	16
	地区不明	23	13	11	6	5
	尼崎市合計	302	152	197	140	113
施行前弔慰金	中央地区	21	15	13	9	5
	小田地区	107	62	78	54	40
	大庄地区	8	3	6	3	4
	立花地区	24	4	6	10	10
	武庫地区	9	1	3	4	5
	園田地区	19	6	9	9	7
	地区不明	23	7	13	7	3
	尼崎市合計	211	98	128	96	74





## (9) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計

### 集計方法

累計アンケート有効回答者のうち、昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）の期間に環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者について、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）及び（3）で用いたばく露分類別に集計を行った。

環境省石綿健康リスク調査関連地域とは、横浜市鶴見区、岐阜県羽島市、大阪府泉南地域等、兵庫県尼崎市、奈良県王寺町及び斑鳩町、北九州市門司区、佐賀県鳥栖市の 7 地域である。

大阪府泉南地域等とは、岸和田市・貝塚市・泉佐野市・泉南市・阪南市・河内長野市・熊取町・田尻町・岬町の 9 市町村を指す。

期間中に複数の地域に居住歴がある場合には、全ての地域を重複して集計した。

### 結果

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（表Ⅱ-9-1）

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 3,213 人（医療費 2,889 人、未申請弔慰金 324 人）であった。そのうち、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 539 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 43 人、羽島市 13 人、大阪府泉南地域等 56 人、尼崎市 330 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 20 人、北九州市門司区 72 人、鳥栖市 5 人であった。

全地域のばく露分類 539 人の内訳は（ア）201 人（37.3%）、（イ）20 人（3.7%）、（ウ）10 人（1.9%）、（エ）308 人（57.1%）であった。延べ居住者数が最も多かった兵庫県尼崎市 330 人のばく露分類の内訳は、（ア）88 人（26.7%）、（イ）13 人（3.9%）、（ウ）4 人（1.2%）、（エ）225 人（68.2%）であった。

#### ② 施行前弔慰金調査対象者（表Ⅱ-9-2）

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 3,029 人であった。そのうち、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 335 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 31 人、岐阜県羽島市 7 人、大阪府泉南地域等 40 人、兵庫県尼崎市 203 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 13 人、北九州市門司区 37 人、佐賀県鳥栖市 4 人であった。

全地域のばく露分類 335 人の内訳は（ア）107 人（31.9%）、（イ）8 人（2.4%）、（ウ）2 人（0.6%）、（エ）218 人（65.1%）であった。延べ居住者数が最も多かった尼崎市 203 人のばく露分類の内訳は、（ア）39 人（19.2%）、（イ）3 人（1.5%）、（ウ）0 人、（エ）161 人（79.3%）であった。



表Ⅱ-9-1. 累計石綿の健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計（医療費・未申請弔慰金、アンケート有効回答者） (人)

地域名	疾病 分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計	男	女		計
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
横浜市 鶴見区	(ア)	14	2	16				16	10	1	11				1		1	28
	(イ)																	
	(ウ)								1		1							1
	(エ)	4	1	5	7	2	9	14										14
	計	18	3	21	7	2	9	30	11	1	12	0	0	0	1	0	1	43
羽島市	(ア)	1		1		1	1	2	1		1							3
	(イ)				1		1	1										1
	(ウ)																	
	(エ)	4		4	4		4	8	1		1							9
	計	5	0	5	5	1	6	11	2	0	2	0	0	0	0	0	0	13
大阪府 泉南地域	(ア)	13	1	14	4		4	18	10		10	1		1				29
	(イ)		1	1	2		2	3										3
	(ウ)								1		1							1
	(エ)	6	2	8	11	1	12	20	3		3							23
	計	19	4	23	17	1	18	41	14	0	14	1	0	1	0	0	0	56
尼崎市	(ア)	57	5	62	3	1	4	66	16	3	19	1		1	2		2	88
	(イ)	2	1	3	6	1	7	10	1	2	3							13
	(ウ)				4		4	4										4
	(エ)	102	5	107	102	4	106	213	6	5	11	1		1				225
	計	161	11	172	115	6	121	293	23	10	33	2	0	2	2	0	2	330
王寺町・ 斑鳩町	(ア)	3		3				3	1		1			1				5
	(イ)				1		1	1										1
	(ウ)																	
	(エ)	4		4	5	1	6	10	2	1	3	1		1				14
	計	7	0	7	6	1	7	14	3	1	4	1	1	2	0	0	0	20
北九州市 門司区	(ア)	25	3	28	3		3	31	12	1	13				2		2	46
	(イ)				2		2	2										2
	(ウ)	1		1	2		2	3										3
	(エ)	9	1	10	8	1	9	19	2		2							21
	計	35	4	39	15	1	16	55	14	1	15	0	0	0	2	0	2	72
鳥栖市	(ア)				2		2	2										2
	(イ)																	
	(ウ)	1		1				1										1
	(エ)	1		1	1		1	2										2
	計	2	0	2	3	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
合計	(ア)	113	11	124	12	2	14	138	50	5	55	2	1	3	5		5	201
	(イ)	2	2	4	12	1	13	17	1	2	3			0			0	20
	(ウ)	2		2	6		6	8	2		2			0			0	10
	(エ)	130	9	139	138	9	147	286	14	6	20	2		2			0	308
	合計	247	22	269	168	12	180	449	67	13	80	4	1	5	5	0	5	539

表Ⅱ-9-2. 累計石綿の健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計（施行前弔慰金、アンケート有効回答者）

(人)

地域名	疾病 分類	中皮腫						肺がん			石綿肺			びまん性胸膜肥厚			合計	
		男			女			計	男	女	計	男	女	計				
		胸膜	その他	小計	胸膜	その他	小計											
横浜市 鶴見区	(ア)	9	8	17				17	3		3	1		1				21
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)	2	1	3	6	1	7	10										10
	計	11	9	20	6	1	7	27	3	0	3	1	0	1	0	0	0	31
羽島市	(ア)	2		2				2										2
	(イ)																	
	(ウ)																	
	(エ)	1	1	2	2	1	3	5										5
	計	3	1	4	2	1	3	7	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7
大阪府 泉南地域	(ア)	11	4	15	1		1	16	2		2	1	1	2				20
	(イ)				1		1	1							1		1	2
	(ウ)		1	1	1		1	2										2
	(エ)	6	1	7	4	4	8	15	1		1							16
	計	17	6	23	7	4	11	34	3	0	3	1	1	2	1	0	1	40
尼崎市	(ア)	25	8	33	1	1	2	35	3		3		1	1				39
	(イ)					2	2	2		1	1							3
	(ウ)																	
	(エ)	60	16	76	64	19	83	159	2		2							161
	計	85	24	109	65	22	87	196	5	1	6	0	1	1	0	0	0	203
王寺町・ 斑鳩町	(ア)								1		1							1
	(イ)				1		1	1										1
	(ウ)																	
	(エ)	2	1	3	8		8	11										11
	計	2	1	3	9	0	9	12	1	0	1	0	0	0	0	0	0	13
北九州市 門司区	(ア)	12	4	16	2	2	4	20	2		2							22
	(イ)					1	1	1										1
	(ウ)																	
	(エ)	3	3	6	2	5	7	13		1	1							14
	計	15	7	22	4	8	12	34	2	1	3	0	0	0	0	0	0	37
鳥栖市	(ア)	1		1				1				1		1				2
	(イ)					1	1	1										1
	(ウ)																	
	(エ)				1		1	1										1
	計	1	0	1	1	1	2	3	0	0	0	1	0	1	0	0	0	4
合計	(ア)	60	24	84	4	3	7	91	11		11	3	2	5			0	107
	(イ)			0	2	4	6	6		1	1			0	1		1	8
	(ウ)		1	1	1		1	2			0			0			0	2
	(エ)	74	23	97	87	30	117	214	3	1	4			0			0	218
	合計	134	48	182	94	37	131	313	14	2	16	3	2	5	1	0	1	335

## (10) 生年別集計

### 集計方法

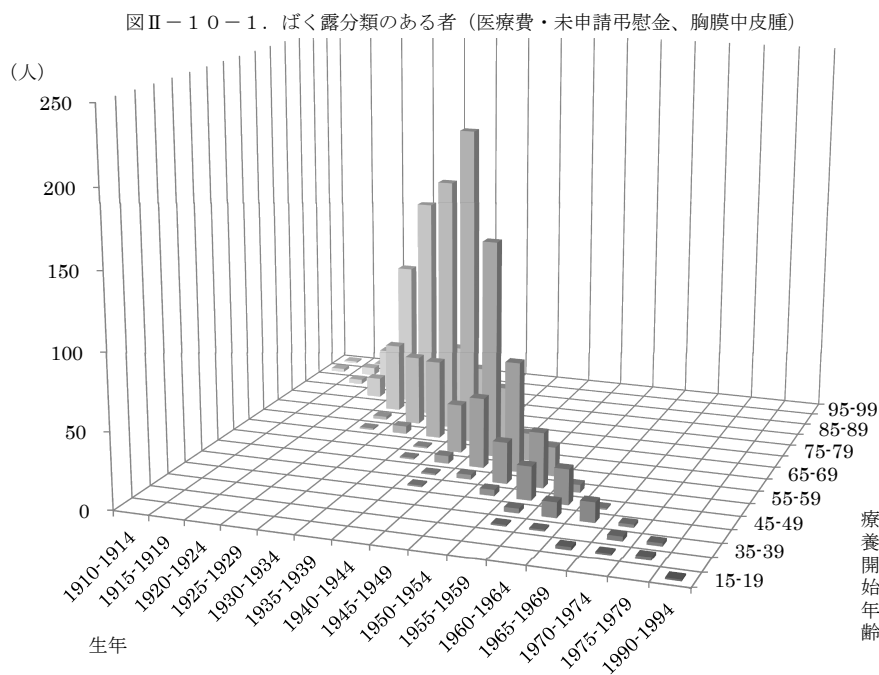
医療費・未申請弔慰金の累計アンケート有効回答者のうち、(3) で用いたばく露分類で分類された胸膜中皮腫の者について、医療費アンケート有効回答者は療養開始年齢を、未申請弔慰金アンケート有効回答者は死亡時年齢を用いて生年別に集計した。

### 結果

#### ① ばく露分類のあるアンケート有効回答者 (図Ⅱ-10-1、表Ⅱ-10-1)

ばく露分類のある胸膜中皮腫の者は 1,484 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 209 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 169 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

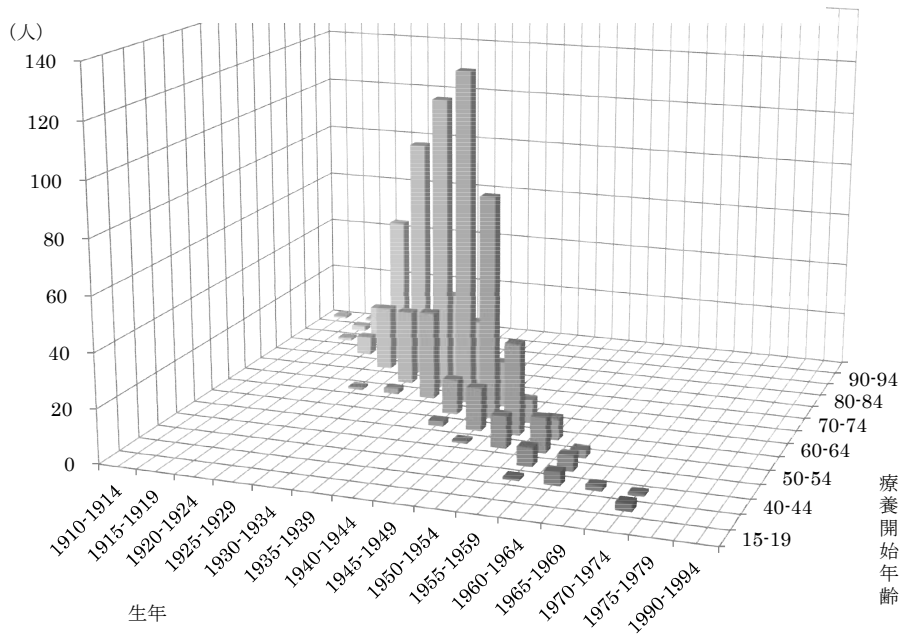


#### ② ばく露分類 (ア) のアンケート有効回答者 (図Ⅱ-10-2、表Ⅱ-10-2)

ばく露分類 (ア) で胸膜中皮腫の者は 806 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 125 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 111 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

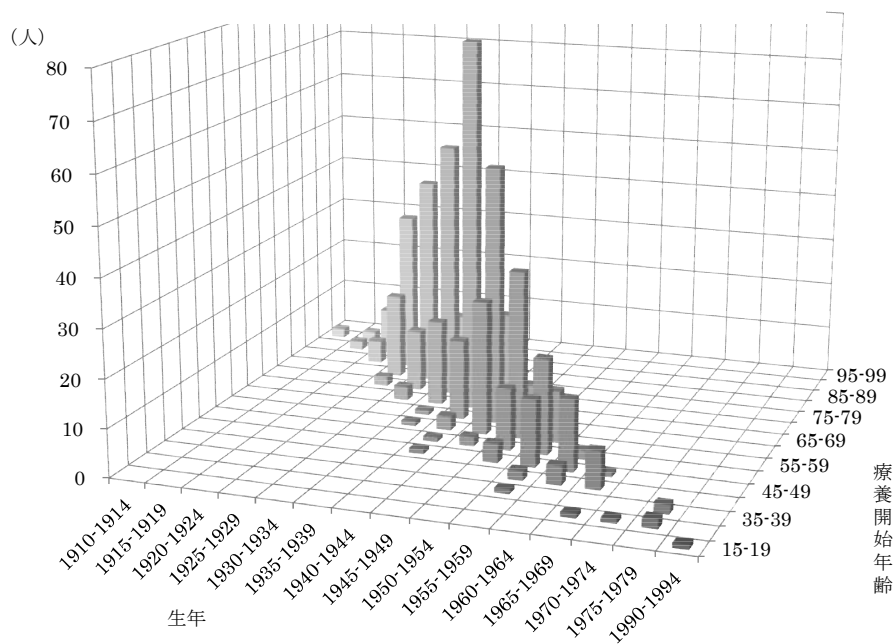
図Ⅱ-10-2. ばく露分類(ア)の者(医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫)



③ ばく露分類(エ)のアンケート有効回答者(図Ⅱ-10-3、表Ⅱ-10-3)

ばく露分類(エ)で胸膜中皮腫の者は601人であった。最も多かったのは生年1940～1944年で療養開始年齢65～69歳が78人で、次いで生年1935～1939年で療養開始年齢70～74歳、及び生年1945～1949年で療養開始年齢60～64歳が54人であった。なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

図Ⅱ-10-3. ばく露分類(エ)の者(医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫)



表Ⅱ-10-1. 累計アンケート有効回答者生年別集計（医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫）

(人)

療養開始 年齢	生年															合計	割合
	1910- 1914	1915- 1919	1920- 1924	1925- 1929	1930- 1934	1935- 1939	1940- 1944	1945- 1949	1950- 1954	1955- 1959	1960- 1964	1965- 1969	1970- 1974	1975- 1979	1990- 1994		
15-19															1	1	0.1%
30-34												2	1	2		5	0.3%
35-39									1	1			3	2		7	0.5%
40-44									3	10	13	2				28	1.9%
45-49							1		4	22	23	1				51	3.4%
50-54							1	3	27	36	5					72	4.9%
55-59						1	5	46	72	19						143	9.6%
60-64						1	32	143	18							194	13.1%
65-69				1	5	52	209	39								306	20.6%
70-74				2	46	169	43									260	17.5%
75-79				46	147	49										242	16.3%
80-84			13	95	18											126	8.5%
85-89		3	27	7												37	2.5%
90-94	2	5	3													10	0.7%
95-99	1	1														2	0.1%
合計	3	9	43	151	216	272	291	231	121	81	39	16	6	4	1	1,484	
割合	0.2%	0.6%	2.9%	10.2%	14.6%	18.3%	19.6%	15.6%	8.2%	5.5%	2.6%	1.1%	0.4%	0.3%	0.1%		

表Ⅱ-10-2. 累計アンケート有効回答者生年別集計（医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫、ア分類）

(人)

療養開始 年齢	生年															合計	割合
	1910- 1914	1915- 1919	1920- 1924	1925- 1929	1930- 1934	1935- 1939	1940- 1944	1945- 1949	1950- 1954	1955- 1959	1960- 1964	1965- 1969	1970- 1974	1975- 1979	1990- 1994		
15-19																0	
35-39													3			3	0.4%
40-44										1	5	2	1			9	1.1%
45-49									7	6						13	1.6%
50-54								1	12	13	3					29	3.6%
55-59							2	16	34	8						60	7.4%
60-64							13	83	9							105	13.0%
65-69				1	2	33	125	17								178	22.1%
70-74					28	111	27									166	20.6%
75-79				24	90	32										146	18.1%
80-84			7	55	10											72	8.9%
85-89		1	15	2												18	2.2%
90-94		2	3													5	0.6%
95-99	1	1														2	0.2%
合計	1	4	25	82	130	176	167	117	55	29	14	2	4	0	0	806	
割合	0.1%	0.5%	3.1%	10.2%	16.1%	21.8%	20.7%	14.5%	6.8%	3.6%	1.7%	0.2%	0.5%				

表Ⅱ-10-3. 累計アンケート有効回答者生年別集計（医療費・未申請弔慰金、胸膜中皮腫、エ分類）

(人)

療養開始 年齢	生年															合計	割合
	1910- 1914	1915- 1919	1920- 1924	1925- 1929	1930- 1934	1935- 1939	1940- 1944	1945- 1949	1950- 1954	1955- 1959	1960- 1964	1965- 1969	1970- 1974	1975- 1979	1990- 1994		
15-19															1	1	0.2%
30-34												1	1	2		4	0.7%
35-39									1					2		3	0.5%
40-44									2	4	8					14	2.3%
45-49							1		4	14	15	1				35	5.8%
50-54							1	2	13	20	2					38	6.3%
55-59						1	3	28	35	11						78	13.0%
60-64						1	17	54	9							81	13.5%
65-69					3	18	78	21								120	20.0%
70-74				2	13	54	15									84	14.0%
75-79				18	44	15										77	12.8%
80-84			5	34	6											45	7.5%
85-89		2	10	5												17	2.8%
90-94	2	2														4	0.7%
95-99																0	
合計	2	4	15	59	66	89	115	105	61	48	21	10	1	4	1	601	
割合	0.3%	0.7%	2.5%	9.8%	11.0%	14.8%	19.1%	17.5%	10.1%	8.0%	3.5%	1.7%	0.2%	0.7%	0.2%		

### 3. まとめ

#### 3-1. 平成 24 年度

##### (1) 被認定者と調査対象者

平成 24 年度に認定を受けた被認定者は、医療費被認定者 703 人、未申請弔慰金被認定者 118 人、施行前弔慰金被認定者 317 人で合計 1,138 人であった。

被認定者のうち、他法令による給付に係る認定を受けたと確認できない者（以降、「調査対象者」という。）の総数は 973 人であり、本調査ではこの調査対象者を集計対象とした。支給種別にみると、医療費調査対象者 555 人、未申請弔慰金調査対象者 108 人、施行前弔慰金調査対象者 310 人であった。

調査対象者 973 人中、アンケート回答者は 768 人であり、回答率は 78.9%であった。支給別に見ると、医療費調査対象者は 555 人中 435 人（回答率 78.4%）、未申請弔慰金調査対象者は 108 人中 79 人（回答率 73.1%）、施行前弔慰金調査対象者は 310 人中 254 人（回答率 81.9%）から回答があった。

##### (2) 年齢別集計

###### ① 医療費調査対象者の申請時年齢

医療費調査対象者の平均申請時年齢は 69.9 歳（中央値 70 歳）であった。疾病別では、中皮腫平均は 69.3 歳（中央値 70 歳）、肺がん平均は 72.9 歳（中央値 73 歳）、石綿肺平均は 72.6 歳（中央値 71 歳）、びまん性胸膜肥厚平均は 71.4 歳（中央値 74 歳）であった。

###### ② 未申請弔慰金調査対象者の死亡時年齢

未申請弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は 76.0 歳（中央値 76 歳）であった。疾病別では、中皮腫平均は 76.0 歳（中央値 76 歳）、肺がん平均は 76.1 歳（中央値 77 歳）、石綿肺平均は 83.0 歳（中央値 83 歳）、びまん性胸膜肥厚平均は 65.0 歳（中央値 65 歳）であった。

###### ③ 施行前弔慰金調査対象者の死亡時年齢

施行前弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は 67.6 歳（中央値 69 歳）であった。疾病別では、中皮腫平均は 67.4 歳（中央値 69 歳）、肺がん平均は 60.5 歳（中央値 60 歳）、石綿肺平均は 81.7 歳（中央値 84 歳）、びまん性胸膜肥厚平均は 81.0 歳（中央値 81 歳）であった。

##### (3) ばく露分類別集計

平成 24 年度アンケート有効回答者について、(ア)～(エ)にばく露分類を行い、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。複数に分類できる場合は、(ア) (イ) (ウ) の順で優先してばく露分類を 1 つに決定した。

医療費・未申請弔慰金調査対象者 663 人（医療費 555 人、未申請弔慰金 108 人）のうち、ばく露分類についての有効回答者は 514 人であった。ばく露分類の内訳は、(ア) 309 人 (60.1%)、(イ) 9 人 (1.8%)、(ウ) 7 人 (1.4%)、(エ) 189 人 (36.8%) であった。

施行前弔慰金調査対象者 310 人のうち、ばく露分類についての有効回答者は 254 人であった。ばく露分類の内訳は、(ア) 117 人 (46.1%)、(イ) 2 人 (0.8%)、(ウ) 2 人 (0.8%)、(エ) 133 人 (52.4%) であった。

#### (4) 職業分類別集計

平成 24 年度調査対象者について、アンケート票の職種に関する回答内容から従事した職業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。職業分類は平成 9 年度 12 月改訂版の日本標準職業分類に基づき分類を行った。

##### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者 514 人（医療費 435 人、未申請弔慰金 79 人）中、職業分類について有効回答を得られたのは 469 人であった。職業従事者は延べ 879 人であり、1 人あたり平均 1.9 回の職歴があった。

大分類で最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」271 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」203 人、「C 事務従事者」118 人であった。

##### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者

施行前弔慰金調査対象者のうち、アンケートに回答のあった者 254 人中、職業分類について有効回答を得られたのは 209 人であった。職業従事者は延べ 349 人であり、1 人あたり平均 1.7 回の職歴があった。

大分類で最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」87 人であり、次いで「C 事務従事者」65 人、「I-3 採掘・建設・労務作業者」が 47 人であった。

#### (5) 産業分類別集計

平成 24 年度調査対象者について、アンケートの所属した事業所（企業）名を産業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。産業分類は平成 14 年度 3 月改訂版の日本標準産業分類に基づき分類を行った。

##### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケートに回答のあった者 514 人（医療費 435 人、未申請弔慰金 79 人）中、産業分類について有効回答を得られたのは 470 人であった。産業分類別従事者は延べ 930 人であり、1 人あたり平均 2.0 個の産業に分類された。

大分類で最も従事者の多い産業は「F 製造業」326 人であり、次いで「E 建設業」209 人、「J 卸売・小売業」86 人であった。

##### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者

施行前弔慰金調査対象者のうち、アンケートに回答のあった者 254 人中、産業分類につ

いて有効回答を得られたのは 208 人であった。産業分類別従事者は延べ 353 人であり、1 人あたり平均 1.7 個の産業に分類された。

大分類で最も従事者の多い産業は「F 製造業」101 人であり、次いで「E 建設業」51 人であった。

## (6) 住所別集計

平成 24 年度調査対象者のうち、アンケートに記入のある昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）間の居住歴中、最も長く居住した住所を 1 つ選んで集計した。また、(エ) 分類についても同様の集計を行った。

### <医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者>

#### ① 全体

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 514 人（医療費 435 人、未申請弔慰金 79 人）で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは 493 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 72 人、次いで大阪府 44 人、東京都 40 人、神奈川県 31 人、福岡県 30 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 40 人、次いで大阪市 20 人、横浜市 16 人、名古屋市 14 人、神戸市 13 人であった。

#### ② (エ) 分類

(エ) 分類の医療費・未申請弔慰金アンケート回答者は 189 人（医療費 160 人、未申請弔慰金 29 人）で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは 183 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 33 人、次いで東京都及び大阪府 20 人、愛知県 12 人、埼玉県 11 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 27 人、次いで横浜市及び大阪市 9 人、名古屋市 6 人であった。

### <施行前弔慰金アンケート有効回答者>

#### ① 全体

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 254 人で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは 244 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは東京都 33 人、次いで大阪府 24 人であった。市区町村別では、最も多かったのは大阪市 11 人、次いで杉並区及び京都市 4 人であった。

#### ② (エ) 分類

(エ) 分類の施行前弔慰金アンケート回答者は 133 人で、うち居住歴に関する有効回答を得られたのは 125 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは東京都 19 人、次いで北海道及び大阪府 8 人であった。市区町村別では、最も多かったのは杉並区、京都市及び大阪市 3 人であった。



## (7) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計

平成 24 年度アンケート有効回答者のうち、昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）の期間に、環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者について、支給種別及びばく露分類別に集計を行った。環境省石綿健康リスク調査関連地域とは、横浜市鶴見区、岐阜県羽島市、大阪府泉南地域等、兵庫県尼崎市、奈良県王寺町及び斑鳩町、北九州市門司区、佐賀県鳥栖市の 7 地域である。

### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

ばく露分類のある医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 514 人（医療費 435 人、未申請弔慰金 79 人）であった。環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 87 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 11 人、岐阜県羽島市 3 人、大阪府泉南地域等 5 人、兵庫県尼崎市 51 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 1 人、北九州市門司区 14 人、佐賀県鳥栖市 2 人であった。

全地域のばく露分類 87 人の内訳は（ア）37 人、（イ）2 人、（ウ）1 人、（エ）47 人であった。

### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者

ばく露分類のある施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 254 人であった。環境省石綿健康リスク調査関連地域等に居住歴がある者は延べ 13 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 2 人、大阪府泉南地域等 2 人、兵庫県尼崎市 3 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 1 人、北九州市門司区 5 人であった。

全地域のばく露分類 13 人の内訳は（ア）7 人、（イ）0 人、（ウ）0 人、（エ）6 人であった。

### 3-2. 累計（平成18年度～平成24年度）

#### （1）被認定者と調査対象者

平成18年度～平成24年度に認定を受けた被認定者は、医療費被認定者4,679人、未申請弔慰金被認定者448人、施行前弔慰金被認定者3,520人で合計8,647人であった。

被認定者のうち他法令による給付に係る認定を受けたと確認できない者（以降、「調査対象者」という。）の総数は7,214人であり、本調査ではこの調査対象者を集計対象とした。支給種別にみると、医療費調査対象者3,529人、未申請弔慰金調査対象者404人、施行前弔慰金調査対象者3,281人であった。

調査対象者7,214人中、アンケート回答者は6,242人であり、回答率は86.5%であった。支給別に見ると、医療費アンケート回答者は3,529人中2,889人（回答率81.9%）、未申請弔慰金アンケート回答者は404人中324人（回答率80.2%）、施行前弔慰金アンケート回答者は3,281人中3,029人（回答率92.3%）であった。

#### （2）年齢別集計

累計調査対象者について、対象者の年齢別集計を支給種別（医療費、未申請弔慰金、施行前弔慰金）に行った。医療費調査対象者は申請時の年齢を、弔慰金調査対象者は死亡時の年齢を用いて集計した。

##### ① 医療費調査対象者の申請時年齢

医療費調査対象者の平均申請時年齢は68.8歳（中央値70歳）であった。疾病別では、中皮腫平均は68.0歳（中央値69歳）、肺癌平均は72.3歳（中央値73歳）、石綿肺平均は74.9歳（中央値75歳）、びまん性胸膜肥厚平均は72.7歳（中央値74歳）であった。

##### ② 未申請弔慰金調査対象者の死亡時年齢

未申請弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は74.5歳（中央値76歳）であった。疾病別では、中皮腫平均は74.2歳（中央値76歳）、肺癌平均は75.9歳（中央値77歳）、石綿肺平均は83.0歳（中央値83歳）、びまん性胸膜肥厚平均は65.0歳（中央値65歳）であった。

##### ③ 施行前弔慰金調査対象者の死亡時年齢

施行前弔慰金調査対象者の平均死亡時年齢は68.5歳（中央値70歳）であった。疾病別では、中皮腫平均は68.3歳（中央値70歳）、肺癌平均は70.1歳（中央値71歳）、石綿肺平均は75.7歳（中央値74歳）、びまん性胸膜肥厚平均は80.1歳（中央値82歳）であった。

#### （3）ばく露分類別集計

累計アンケート有効回答者について、(ア)～(エ)にばく露分類を行い、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。複数に分類できる場合は、(ア)(イ)

(ウ)の順で優先してばく露分類を1つに決定した。

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者 3,933 人（医療費 3,529 人、未申請弔慰金 404 人）のうち、ばく露分類についての有効回答者は 3,213 人であった。ばく露分類の内訳は、(ア) 1,920 人 (59.8%)、(イ) 93 人 (2.9%)、(ウ) 77 人 (2.4%)、(エ) 1,123 人 (34.9%) であった。

#### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者

施行前弔慰金調査対象者 3,281 人のうち、ばく露分類についての有効回答者は 3,029 人であった。ばく露分類の内訳は、(ア) 1,535 人 (50.7%)、(イ) 51 人 (1.7%)、(ウ) 60 人 (2.0%)、(エ) 1,383 人 (45.7%) であった。

### (4) 職業分類別集計

累計調査対象者について、アンケート票の職種に関する回答内容から従事した職業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。職業分類は平成 9 年度 12 月改訂版の日本標準職業分類に基づき分類を行った。

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうち、アンケート回答者 3,213 人（医療費 2,889 人、未申請弔慰金 324 人）中、職業分類について有効回答を得られたのは 2,821 人であった。職業従事者は延べ 5,101 人であり、1 人あたり平均 1.8 回の職歴があった。

大分類で最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」1,525 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」1,108 人、「C 事務従事者」752 人であった。

#### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者

施行前弔慰金調査対象者のうち、アンケート回答者 3,029 人中、職業分類について有効回答を得られたのは 2,349 人であった。職業従事者は延べ 3,853 人であり、1 人あたり平均 1.6 回の職歴があった。

大分類で最も従事者の多い職業は「I-1 製造・制作作業者」1,023 人であり、次いで「I-3 採掘・建設・労務作業者」725 人、「C 事務従事者」558 人であった。

### (5) 産業分類別集計

累計調査対象者について、アンケートの所属した事業所（企業）名を産業別に分類し、支給種別（医療費・未申請弔慰金、施行前弔慰金）に集計を行った。産業分類は平成 14 年度 3 月改訂版の日本標準産業分類に基づき分類を行った。

#### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうち、アンケート回答者 3,213 人（医療費 2,889 人、未申請弔慰金 324 人）中、産業分類について有効回答を得られたのは 2,820 人であった。産業分類別従事者は延べ 5,347 人であり、1 人あたり平均 1.9 個の産業に分類された。

大分類で最も従事者の多い産業は「F 製造業」2,018 人であり、次いで「E 建設業」1,118 人、「J 卸売・小売業」446 人であった。

## ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者

施行前弔慰金調査対象者のうち、アンケート回答者 3,029 人中、産業分類について有効回答を得られたのは 2,389 人であった。産業分類別従事者は延べ 4,090 人であり、1 人あたり平均 1.7 個の産業に分類された。

大分類で最も従事者の多い産業は「F 製造業」1,430 人であり、次いで「E 建設業」671 人、「J 卸売・小売業」369 人であった。

## (6) 建設業における特定の職歴がある者についての集計

累計アンケート有効回答者で、産業分類別集計において「E.建設業」に従事歴のある者 1,789 人（医療費・未申請弔慰金 1,118 人、施行前弔慰金 671 人）のうち、より詳細に、特定の職種に従事歴のある者を抽出、集計を行った。

### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者（産業分類「E.建設業」1,118 人）については、はつり・解体 57 人、左官 60 人、築炉 4 人、電気工 72 人、塗装 37 人、内装 64 人、保温・断熱 29 人、大工 152 人、吹き付け 26 人、事務 34 人、配管 76 人、型枠工 10 人の計 621 人であった。

### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者

施行前弔慰金アンケート有効回答者（産業分類「E.建設業」671 人）については、はつり・解体 44 人、左官 35 人、築炉 1 人、電気工 21 人、塗装 17 人、内装 25 人、保温・断熱 20 人、大工 93 人、吹き付け 11 人、事務 26 人、配管 41 人、型枠工 3 人の計 337 人であった。

## (7) 住所別集計

累計調査対象者のうち、アンケートに記入のある昭和 20 年～平成元年(1945～1989 年)間の居住歴で最も長く居住した住所を 1 つ選んで集計した。また、(エ) 分類についても同様の集計を行った。

### <医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者>

#### ① 全体

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケートに回答のあった 3,213 人（医療費 2,889 人、未申請弔慰金 324 人）中、居住歴に関する有効回答を得られたのは 3,077 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 403 人、次いで大阪府 347 人、東京都 307 人、神奈川県 171 人、福岡県 158 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 243 人、次いで大阪市 139 人、横浜市 86 人、名古屋市及び神戸市 58 人であった。

## ② (エ) 分類

(エ) 分類の医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケートに回答のあった 1,123 人（医療費 1,019 人、未申請弔慰金 104 人）のうち、最長居住歴に関する有効回答を得られたのは 1,080 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 226 人、次いで大阪府の 143 人、東京都 123 人、神奈川県 59 人、福岡県 40 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 176 人、次いで大阪市 53 人、横浜市 32 人、神戸市 16 人、名古屋市 15 人であった。

### < 施行前弔慰金アンケート有効回答 >

#### ① 全体

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケートの回答のあった 3,029 人中、居住歴に関する有効回答を得られたのは 2,888 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 310 人、次いで大阪府 279 人、東京都 269 人、神奈川県 168 人、北海道 135 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 141 人、次いで大阪市 134 人、横浜市 81 人、神戸市 70 人、名古屋市 36 人であった。

## ② (エ) 分類

(エ) 施行前弔慰金調査対象者のうちアンケートの回答のあった 1,383 人中、最長居住歴に関する有効回答を得られたのは 1,311 人であった。

都道府県別では、最も多かったのは兵庫県 203 人、次いで東京都 145 人、大阪府 116 人、北海道 66 人、神奈川県 62 人であった。市区町村別では、最も多かったのは尼崎市 117 人、次いで大阪市 55 人、神戸市 35 人、横浜市 26 人、京都市 20 人であった。

## (8) 尼崎市の詳細集計（ばく露（エ）分類）

累計アンケート有効回答者のうち、ばく露分類が（エ）であり、対象期間である昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）間に尼崎市に居住歴がある者について、行政地区、時点（昭和 30 年、40 年、50 年、60 年）によるクロス集計を行った。

行政地区は中央地区、小田地区、大庄地区、立花地区、武庫地区、園田地区の 6 地区とし、記述不十分等により分類できない場合は地区不明とした。

### < 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者 >

#### ① 最長居住歴による集計

最長居住歴による集計において、それぞれの地区に最も長く居住していた者は、中央地区 28 人、小田地区 110 人、大庄地区 3 人、立花地区 7 人、武庫地区 0 人、園田地区 19 人、地区不明 9 人であった。

#### ② 対象期間居住歴による集計

対象期間居住歴による集計において、各地区に居住歴のある者は、中央地区 49 人、

小田地区 149 人、大庄地区 16 人、立花地区 22 人、武庫地区 9 人、園田地区 34 人、地区不明 23 人であり、合計で延べ 302 人であった。

#### <施行前弔慰金アンケート有効回答者>

##### ① 最長居住歴による集計

最長居住歴による集計において、それぞれの地区に最も長く居住していた者は中央地区 14 人、小田地区 68 人、大庄地区 4 人、立花地区 8 人、武庫地区 4 人、園田地区 9 人、地区不明 10 人であった。

##### ② 対象期間居住歴による集計

対象期間居住歴による集計において、各地区に居住歴のある者は、中央地区 21 人、小田地区 107 人、大庄地区 8 人、立花地区 24 人、武庫地区 9 人、園田地区 19 人、地区不明 23 人であり、合計で延べ 211 人であった。

#### (9) 環境省石綿健康リスク調査関連地域におけるばく露分類別集計

累計アンケート有効回答者のうち、昭和 20 年～平成元年（1945 年～1989 年）の期間に環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者について、支給種別及びばく露分類別に集計を行った。環境省石綿健康リスク調査関連地域とは、横浜市鶴見区、岐阜県羽島市、大阪府泉南地域等、兵庫県尼崎市、奈良県王寺町及び斑鳩町、北九州市門司区、佐賀県鳥栖市の 7 地域である。

##### ① 医療費・未申請弔慰金アンケート有効回答者

医療費・未申請弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 3,213 人（医療費 2,889 人、未申請弔慰金 324 人）であった。環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 539 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 43 人、羽島市 13 人、大阪府泉南地域等 56 人、尼崎市 330 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 20 人、北九州市門司区 72 人、鳥栖市 5 人であった。

ばく露分類の内訳は（ア）201 人（37.3%）、（イ）20 人（3.7%）、（ウ）10 人（1.9%）、（エ）308 人（57.1%）であった。

##### ② 施行前弔慰金アンケート有効回答者

施行前弔慰金調査対象者のうちアンケート回答者は 3,029 人であった。環境省石綿健康リスク調査関連地域に居住歴がある者は延べ 335 人であった。地域ごとに見ると横浜市鶴見区 31 人、岐阜県羽島市 7 人、大阪府泉南地域等 40 人、兵庫県尼崎市 203 人、奈良県王寺町及び斑鳩町 13 人、北九州市門司区 37 人、佐賀県鳥栖市 4 人であった。

ばく露分類の内訳は（ア）107 人（31.9%）、（イ）8 人（2.4%）、（ウ）2 人（0.6%）、（エ）218 人（65.1%）であった。

#### (10) 生年別集計

医療費・未申請弔慰金の累計アンケート有効回答者でばく露分類のある胸膜中皮腫の者

について、医療費アンケート有効回答者は療養開始年齢を、未申請弔慰金アンケート有効回答者は死亡時年齢を行いて生年別に集計した。

**① ばく露分類のあるアンケート有効回答者**

ばく露分類のある胸膜中皮腫の者は 1,484 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 209 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 169 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

**② ばく露分類（ア）のアンケート有効回答者**

ばく露分類（ア）の胸膜中皮腫の者は 806 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 125 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳が 111 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

**③ ばく露分類（エ）のアンケート有効回答者**

ばく露分類（エ）の胸膜中皮腫の者は 601 人であった。最も多かったのは生年 1940～1944 年で療養開始年齢 65～69 歳が 78 人で、次いで生年 1935～1939 年で療養開始年齢 70～74 歳、及び生年 1945～1949 年で療養開始年齢 60～64 歳が 54 人であった。

なお、男女別の集計でも同様の傾向であった。

以下の事項について、今後の参考とするためアンケートにご協力ください。

なお、本アンケートの結果は、個人を特定できないように統計的処理をした上で、環境省及び環境再生保全機構が実施する調査事業等に使用し、公表することがあります。

居住歴、職歴等がこのアンケート用紙で書ききれない場合は、別の用紙に記入して添付してください。

(※ご記入いただいた個人情報は、ご記入いただいた方の同意がある場合若しくは法令等の規定により必要となる場合を除き、第三者に提供又は開示いたしません。)

申請者とのご関係

申請者のお名前 \_\_\_\_\_

記入した方のお名前 \_\_\_\_\_

配偶者・子・父母・兄弟姉妹  
その他( )

① 申請者の出生から現在までの居住歴を記入してください。

居 住 期 間	住 所	近くに石綿 取扱施設
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無

② 申請者の現在までの職歴を記入してください。(学生時代のアルバイトなど短期間の仕事も含めて記入してください。)

在 籍 期 間	職 種	所 属 した 事 業 所 ( 企 業 ) 名 所 在 地	事業所での 石綿の取扱	近くに石綿 取扱施設
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無

③ 申請された方は、今まで下記の作業に従事したことがありますか。

アルバイトなどの短期間の仕事も含めて、当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- |                       |                      |                             |
|-----------------------|----------------------|-----------------------------|
| (1)□石綿製品製造業           | (8)□解体作業             | (15)□化学工場内の作業               |
| (2)□石綿(石綿含有岩綿等)吹きつけ作業 | (9)□港湾での作業           | (16)□清掃工場・廃棄物回収の作業          |
| (3)□配管・断熱・保温・ボイラー関連作業 | (10)□鉄鋼所及び鉄製品製造作業    | (17)□車両(電車等)製造維持補修作業        |
| (4)□石綿のある倉庫内の作業       | (11)□自動車製造業・自動車整備工   | (18)□その他石綿に関連する作業           |
| (5)□石綿原綿・石綿製品運搬業      | (12)□ガラス製品製造に関わる作業   | ( )                         |
| (6)□造船所内の作業           | (13)□セメント製品製造に関わる作業  | (19)□(1)～(18)に該当する作業はしなかった。 |
| (7)□建築・建設関連作業         | (14)□レンガ、陶磁器製造に関わる作業 | (20)□わからない                  |

④ 申請された方は、ご家庭で下記のような経験をしたことがありますか。当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- (1)□申請された方のご家族が石綿を扱う仕事をしており、作業着・マスクや道具を自宅に持ち帰っていた。  
 (2)□石綿に関する作業が、自宅で行われた。  
 (3)□(1)～(2)に該当することはなかった。 (4)□わからない

⑤ 申請された方は、その住居、職場に関連して下記のような経験をしたことがありますか。

当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- (1)□自宅の天井や壁に石綿が吹き付けられていた。 (4)□職場以外の石綿取扱施設に出入りをしていた。  
 (2)□職場の天井や壁に石綿が吹き付けられていた。 (5)□(1)～(4)に該当することはなかった。  
 (3)□(1)、(2)以外の石綿が吹き付けられていた建物に出入りしていた。 (6)□わからない。



以下の事項について、今後の参考とするためアンケートにご協力ください。

なお、本アンケートの結果は、個人を特定できないように統計的処理をした上で、環境省及び環境再生保全機構が実施する調査事業等に使用し、公表することがあります。

居住歴、職歴等がこのアンケート用紙で書ききれない場合は、別の用紙に記入して添付してください。

(※ご記入いただいた個人情報、ご記入いただいた方の同意がある場合若しくは法令等の規定により必要となる場合を除き、第三者に提供又は開示いたしません。)

亡くなった方とのご関係

亡くなった方のお名前

記入した方のお名前

配偶者・子・父母・兄弟姉妹

その他( )

① 亡くなった方の出生から死亡時までの居住歴を記入してください。

居 住 期 間	住 所	近くに石綿 取扱施設
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成		有・無

② 亡くなった方の死亡時までの職歴を記入してください。(学生時代のアルバイトなど短期間の仕事も含めて記入してください。)

在 籍 期 間	職 種	所 属 した 事 業 所 ( 企 業 ) 名 所 在 地	事業所での 石綿の取扱	近くに石綿 取扱施設
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無
明治・大正 年 月～ 年 月 昭和・平成 昭和・平成			有・無	有・無

③ 亡くなった方は、今まで下記の作業に従事したことがありますか。

アルバイトなどの短期間の仕事も含めて、当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- |                       |                      |                             |
|-----------------------|----------------------|-----------------------------|
| (1)□石綿製品製造業           | (8)□解体作業             | (15)□化学工場内の作業               |
| (2)□石綿(石綿含有岩綿等)吹きつけ作業 | (9)□港湾での作業           | (16)□清掃工場・廃棄物回収の作業          |
| (3)□配管・断熱・保温・ボイラー関連作業 | (10)□鉄鋼所及び鉄製品製造作業    | (17)□車両(電車等)製造維持補修作業        |
| (4)□石綿のある倉庫内の作業       | (11)□自動車製造業・自動車整備工   | (18)□その他石綿に関連する作業           |
| (5)□石綿原綿・石綿製品運搬業      | (12)□ガラス製品製造に関わる作業   | ( )                         |
| (6)□造船所内の作業           | (13)□セメント製品製造に関わる作業  | (19)□(1)～(18)に該当する作業はしなかった。 |
| (7)□建築・建設関連作業         | (14)□レンガ、陶磁器製造に関わる作業 | (20)□わからない                  |

④ 亡くなった方は、ご家庭で下記のような経験をされたことがありますか。当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- (1)□亡くなった方のご家族が石綿を扱う仕事をしており、作業着・マスクや道具を自宅に持ち帰っていた。  
 (2)□石綿に関する作業が、自宅で行われた。  
 (3)□(1)～(2)に該当することはなかった。 (4)□わからない

⑤ 亡くなった方は、その住居、職場に関連して、下記のような経験をされていましたか。

当てはまるものすべての□にレ印をつけてください。

- (1)□自宅の天井や壁に石綿が吹き付けられていた。 (4)□職場以外の石綿取扱施設に出入りをしていた。  
 (2)□職場の天井や壁に石綿が吹き付けられていた。 (5)□(1)～(4)に該当することはなかった。  
 (3)□(1)、(2)以外の石綿が吹き付けられていた建物に出入りしていた。 (6)□わからない。

お問い合わせ先

---

独立行政法人環境再生保全機構 石綿健康被害救済部

〒212-8554

神奈川県川崎市幸区大宮町 1310 番 ミューザ川崎セントラルタワー9 階

TEL : 044-520-9508

FAX : 044-520-2193

Web : <http://www.erca.go.jp/asbestos/>

---

平成 26 年 6 月発行